

投資信託に関するアンケート調査

報告書

2018年3月



一般社団法人
投資信託協会

<目 次>

1. 調査計画の概要	3
2. 調査結果の要約	6
3. 回答者のプロフィール	17
(1)性別・年代〔Q28〕〔Q29〕	18
(2)職業〔Q30〕	20
(3)金融資産の保有経験〔Q1〕	22
(4)投資信託の保有状況〔Q2〕	23
(5)世帯年収〔Q31①〕	24
(6)個人年収〔Q31②〕	26
4. 投資信託保有状況（現在保有層）	27
(1)投資信託の保有種類〔Q5〕	28
(2)投資信託の購入額〔Q6〕	29
(3)現在保有している投資信託の本数〔Q3〕	30
(4)投資信託商品の直近購入時期〔Q4〕	31
(5)投資信託の積立投資の利用状況〔Q15〕	32
(6)毎月分配型投資信託の保有状況〔Q18〕	33
(7)トータルリターン通知制度の認知状況〔Q22〕	36

<目 次>

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）	37
(1)投資信託購入の際の重視点／今後の重視点〔Q7①②〕	38
(2)分配金の特徴認知状況〔Q9〕	42
(3)償還・売却資金の流出先〔Q10〕	44
(4)投資信託の優れていると感じる点／特に魅力を感じる点〔Q11①②〕	46
(5)投資信託で不満を感じる点／特に不満を感じる点〔Q12①②〕	50
6. 投資信託保有未経験者の状況	54
(1)投資信託の非購入理由〔Q24〕	55
(2)投資信託購入検討のきっかけ〔Q25〕	57
7. 投資信託全般に関する状況（全体）	59
(1)投資信託の商品特徴認知状況〔Q8〕	60
(2)毎月分配型投資信託への魅力有無〔Q19〕	63
(3)毎月分配型投資信託商品の魅力点〔Q20〕	65
(4)毎月分配型投資信託商品の非魅力点〔Q21〕	67
(5)ドル・コスト平均法の内容認知〔Q16〕	69
(6)積立投資プランの内容認知〔Q17〕	70
(7)投資信託運用会社に対する考え〔Q13〕	71
(8)投資信託購入の際の、運用会社の重視点〔Q14〕	72
(7)投資信託の手数料特徴認知状況〔Q23〕	73
(8)NISAの認知状況〔Q26〕	75
(9)ジュニアNISAの認知状況〔Q26〕	76
(10)つみたてNISAの認知状況〔Q26〕	77
(11)iDeCoの認知状況〔Q26〕	78

* 末尾添付資料 : 調査票

1. 調査計画の概要



1. 調査計画の概要

調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、投資信託の保有状況や特徴認知、満足度、積立投資の認知などを把握すると同時に、投資信託保有未経験層に対しては、非購入理由や購入検討のきっかけを確認することで、「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進するための課題を探り、今後の投資信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。																																																																																			
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：インテージネットモニター） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。																																																																																			
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）																																																																																			
調査対象	20～79歳の男女																																																																																			
サンプル数	<p>総計20,000サンプル</p> <p>* 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成28年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。 * 職業条件による除外は実施していない。</p> <p><性・年代・エリアごとの回収数詳細></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>20-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男性</td> <td>首都圏</td> <td>431</td> <td>556</td> <td>634</td> <td>458</td> <td>479</td> <td>361</td> <td>2919</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>201</td> <td>241</td> <td>290</td> <td>220</td> <td>259</td> <td>200</td> <td>1411</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>774</td> <td>954</td> <td>1051</td> <td>940</td> <td>1101</td> <td>767</td> <td>5587</td> </tr> <tr> <td>男性計</td> <td>1406</td> <td>1751</td> <td>1975</td> <td>1618</td> <td>1839</td> <td>1328</td> <td>9917</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td>首都圏</td> <td>406</td> <td>521</td> <td>592</td> <td>431</td> <td>493</td> <td>418</td> <td>2861</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>200</td> <td>246</td> <td>295</td> <td>227</td> <td>281</td> <td>240</td> <td>1489</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>735</td> <td>921</td> <td>1036</td> <td>954</td> <td>1151</td> <td>936</td> <td>5733</td> </tr> <tr> <td>女性計</td> <td>1341</td> <td>1688</td> <td>1923</td> <td>1612</td> <td>1925</td> <td>1594</td> <td>10083</td> </tr> <tr> <td>TOTAL</td> <td>2747</td> <td>3439</td> <td>3898</td> <td>3230</td> <td>3764</td> <td>2922</td> <td>20000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。 首都圏： 東京、神奈川、埼玉、千葉／計5780サンプル 阪神圏： 大阪、京都、兵庫、奈良／計2900サンプル その他地域： 上記以外の都道府県／計11320サンプル</p>			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計	男性	首都圏	431	556	634	458	479	361	2919	阪神圏	201	241	290	220	259	200	1411	その他地域	774	954	1051	940	1101	767	5587	男性計	1406	1751	1975	1618	1839	1328	9917	女性	首都圏	406	521	592	431	493	418	2861	阪神圏	200	246	295	227	281	240	1489	その他地域	735	921	1036	954	1151	936	5733	女性計	1341	1688	1923	1612	1925	1594	10083	TOTAL	2747	3439	3898	3230	3764	2922	20000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計																																																																												
男性	首都圏	431	556	634	458	479	361	2919																																																																												
	阪神圏	201	241	290	220	259	200	1411																																																																												
	その他地域	774	954	1051	940	1101	767	5587																																																																												
	男性計	1406	1751	1975	1618	1839	1328	9917																																																																												
女性	首都圏	406	521	592	431	493	418	2861																																																																												
	阪神圏	200	246	295	227	281	240	1489																																																																												
	その他地域	735	921	1036	954	1151	936	5733																																																																												
	女性計	1341	1688	1923	1612	1925	1594	10083																																																																												
TOTAL	2747	3439	3898	3230	3764	2922	20000																																																																													
調査時期	2017年9月15日（金）～ 9月27日（水）																																																																																			
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																			
調査実施機関	株式会社インテージ																																																																																			

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー	備考	
基本軸1	性別	1 男性	Q28の調査結果から作成	
		2 女性		
	年代別	1 20代	Q29の調査結果から作成	
		2 30代		
		3 40代		
		4 50代		
		5 60代		
		6 70代		
	世帯年収別	1 100万円未満	Q31①の調査結果から作成	
		2 ~300万円		
		3 ~500万円		
		4 ~1000万円		
		5 ~1000万円以上		
	基本軸2	投資信託 保有状況別	1 現在保有層	Q2で投資信託を「1.現在保有している」回答者
			2 保有経験層（現在非保有）	Q2で投資信託を「2.以前保有していたが、現在は保有していない」回答者
3 保有未経験層（金融資産保有経験有）			Q2で投資信託を「3.今まで保有したことはない」且つQ1で金融資産を「1.保有したことがある」回答者	
4 保有未経験層（金融資産保有経験無）			Q2で投資信託を「3.今まで保有したことはない」且つQ1で金融資産を「2.保有したことはない」回答者	
投資信託 現在保有種類別		1 株式投資信託保有層	Q5現在保有投資信託商品で「1.国内株式に投資する投資信託」か「2.外国株式に投資する投資信託」の回答者	
		2 その他投資信託保有層	Q5現在保有投資信託商品で「3.外国債券（国債、ハイールド債等）に投資する投資信託」から「8.株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託」までのいずれかの回答者 ※但し、上記の「株式投資信託保有層」は除く	

2. 調査結果の要約

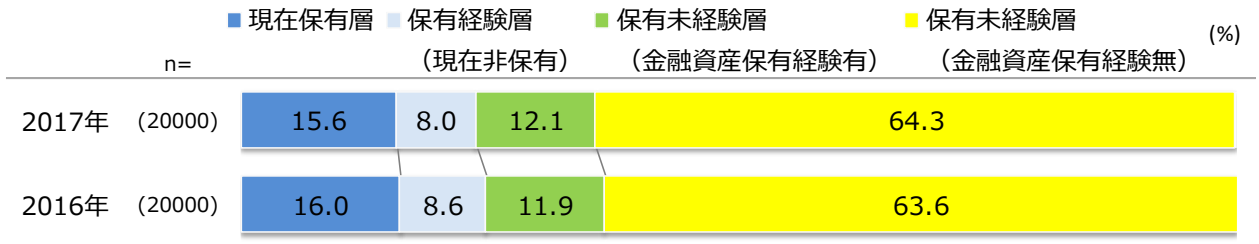


2. 調査結果の要約

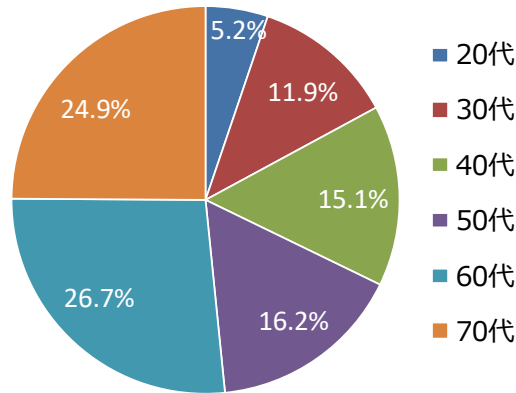
投資信託の保有経験／投資信託現在保有層の「保有種類」

- 投資信託の現在保有率は前回同様16%程度に留まる。
現在保有層は60代以上が約半数と、高齢層が中心。

＜投資信託の保有経験＞【ベース：TOTAL】(P.18)

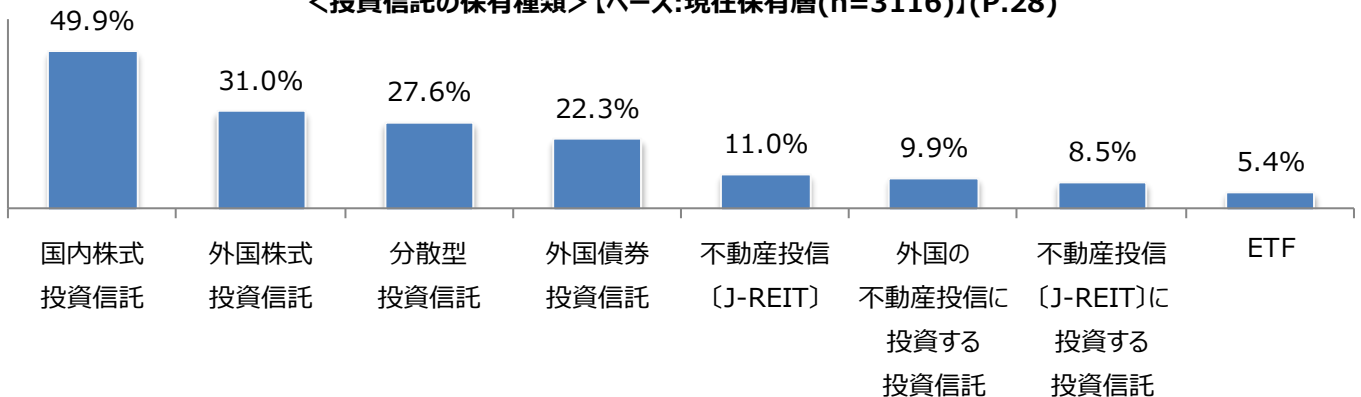


＜投資信託現在保有層の年代構成＞【ベース：現在保有層(n=3116)】(P.18)



- 現在保有層が保有している投信の種類は「国内株式投信」が最多。
保有種類数は平均で「1.92種類」となる。

＜投資信託の保有種類＞【ベース：現在保有層(n=3116)】(P.28)



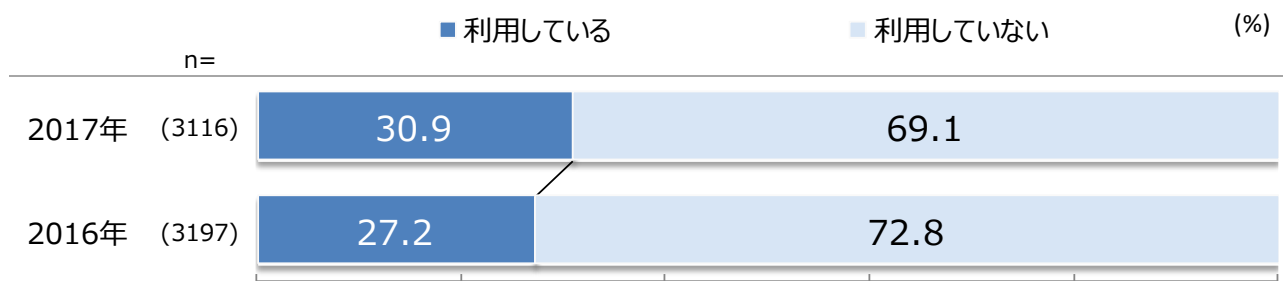
2. 調査結果の要約

投資信託現在保有層の「積立投資」利用状況、「毎月分配型投資信託」の保有状況／「トータルリターン通知制度」の認知状況

- 積立投資の利用は前回よりやや増加し、30%強となる。
毎月分配型投資信託は前回より僅かに減少するものの、半数弱が保有している。
トータルリターンの認知度は、前年と同水準で42%となる。

・ 積立投資は若年層ほど利用が多く、20代では約60%が利用している。一方毎月分配型商品は高齢層ほど利用が多く、60代以上の約半数が保有している。〔P32,33〕

＜積立投資の利用有無＞【ベース:現在保有層】(P.32)



＜毎月分配型投資信託の保有状況＞【ベース:現在投資信託保有層】(P.33)



＜トータルリターンの認知＞【ベース:現在保有層】(P.36)



2. 調査結果の要約

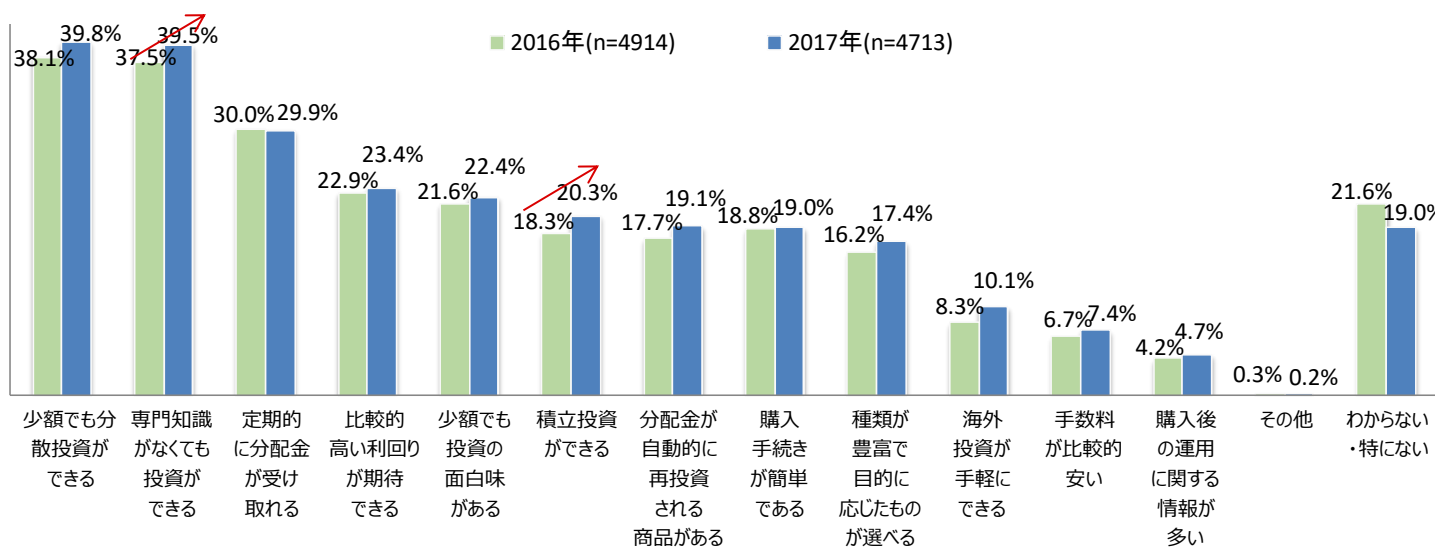
他の金融商品に比べて投資信託商品の「優れている点、不満点」

■ 投資信託の優れている点／不満点は上位項目に変動はなく、「少額でも分散投資できる」「専門知識がなくても投資できる」「定期的に分配金が受け取れる」ことがメリットとなる一方、「元本保証がないこと」「仕組み・実績のわかりくさ」「手数料の高さ」への不満が強い。

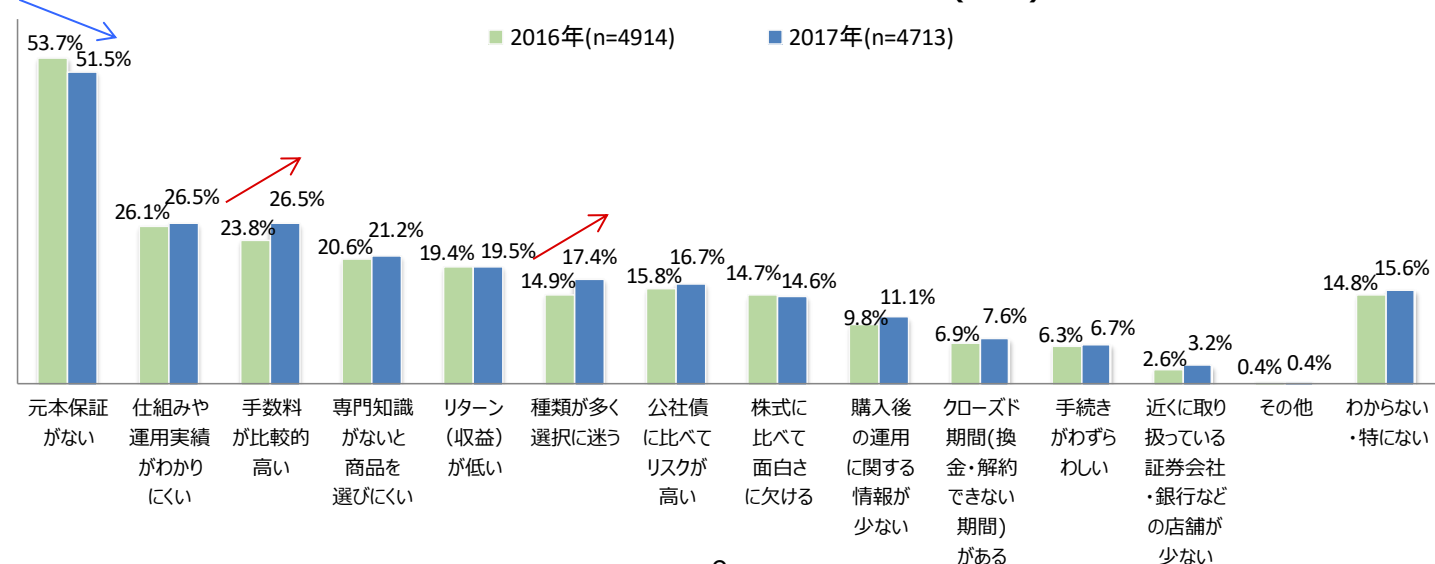
■ 前回からの変動をみると、優れている点は「専門知識がなくても投資できる」「積立投資ができる」が僅かに増加。不満点は「元本保証がない」が僅かに減少し、「手数料が高い」「種類が多くて迷う」が僅かに増加する。

・ 優れている点では、若年層ほど「少額から分散投資できる」「少額でも投資の面白味がある」「積立投資ができる」が高く、高齢層ほど「定期的に分配金が受け取れる」「分配金が自動的に再投資される商品がある」「購入手続きが簡単」が高くなる。〔P46〕

<他の金融商品と比べ、投信の優れている点>【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.46) ※2017年で降順ソート



<他の金融商品と比べ、投信の不満点>【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.50) ※2017年で降順ソート



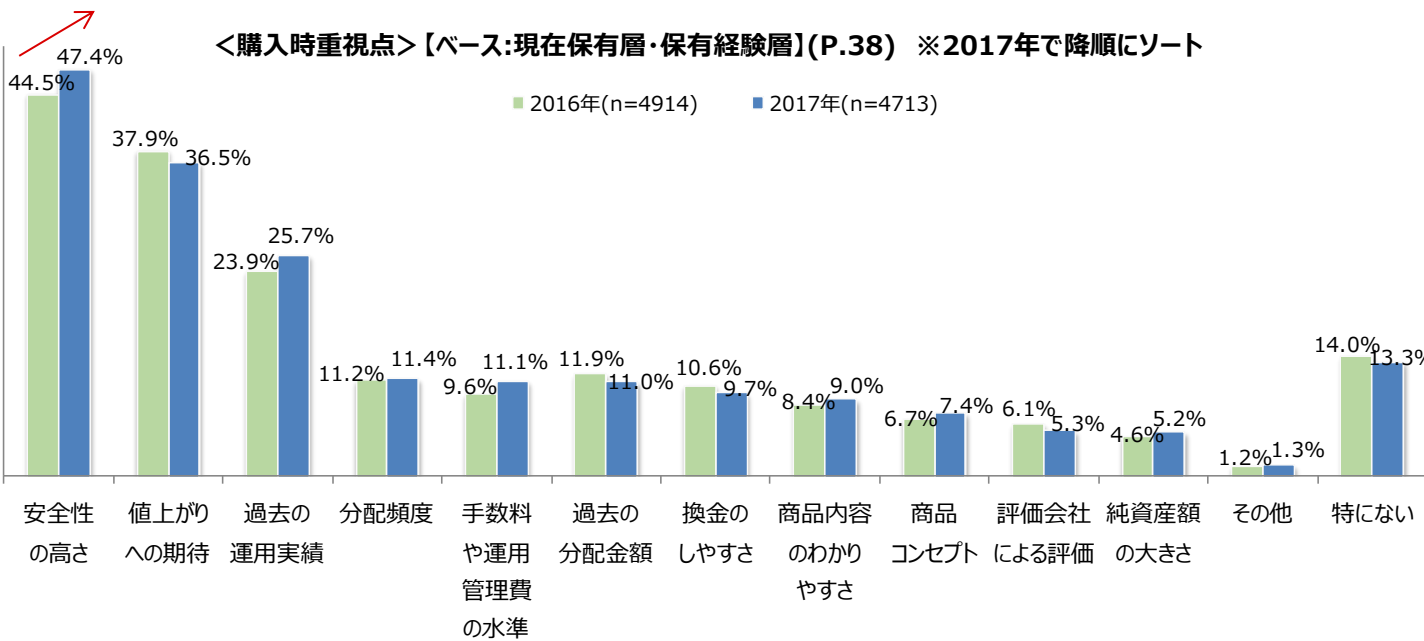
2. 調査結果の要約

投資信託の購入時重視点、今後購入時重視点

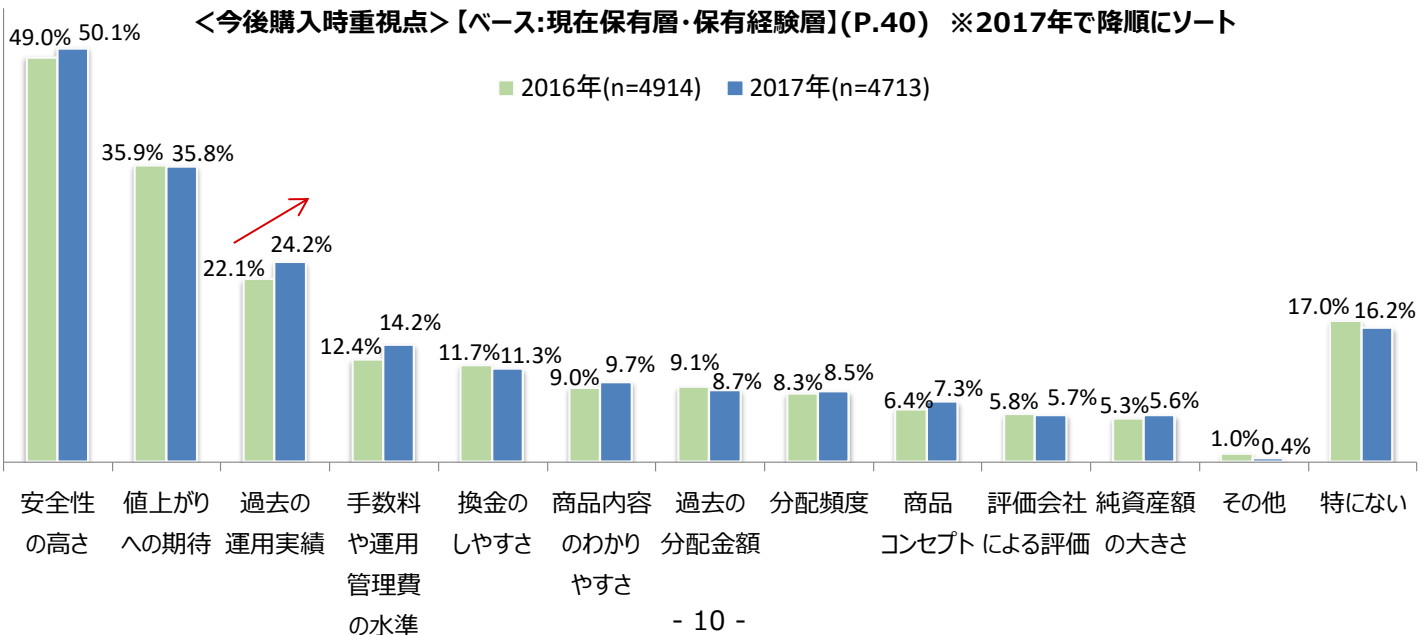
- 投資信託の購入時重視点は、これまでも今後も前回と同様に「安全性の高さ」「値上がりへの期待」「過去の運用実績」が上位に続く。
- 前回からの変動をみると、これまでの購入時重視点で「安全性の高さ」が、今後の購入時重視点で「過去の運用実績」が微増しており、より安全志向が強まっている模様。

- ・ 「安全性の高さ」「過去の分配金額」「分配頻度」は高齢層ほど重視し、「手数料などの水準」「過去の運用実績」は若年層ほど重視する様子。(P38)

＜購入時重視点＞【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.38) ※2017年で降順にソート



＜今後購入時重視点＞【ベース:現在保有層・保有経験層】(P.40) ※2017年で降順にソート



2. 調査結果の要約

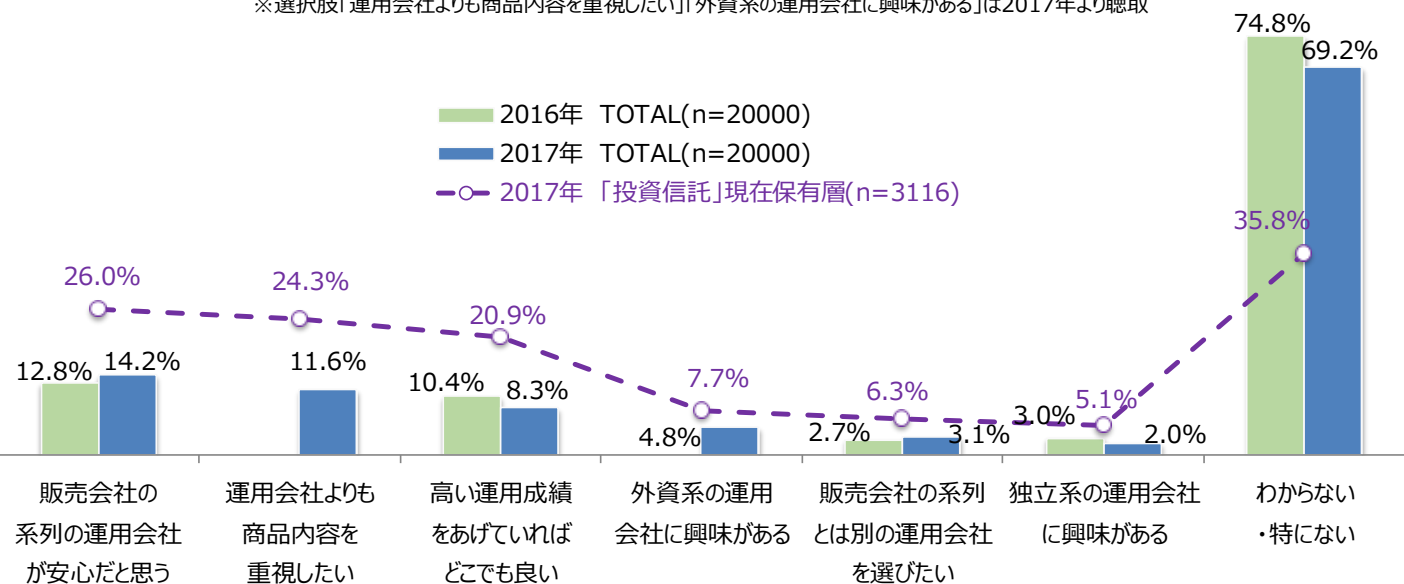
投資信託運用会社に対する考え／投資信託購入の際の運用会社重視点

- 投資信託の運用会社に対する考え(選び方)は、「販売会社系列が安心」「運用会社より商品内容を重視」が上位となる。また「わからない・特にない」は69.2%と非常に高く、前回同様に大半の人が選択基準を想起できていない。
- 運用会社重視点では、「運用力」「資本力」「知名度」が前回より僅かだが増加する。

・ 投資信託現在保有層は「運用力」の重視度が顕著で、約半数にのぼる。〔P72〕

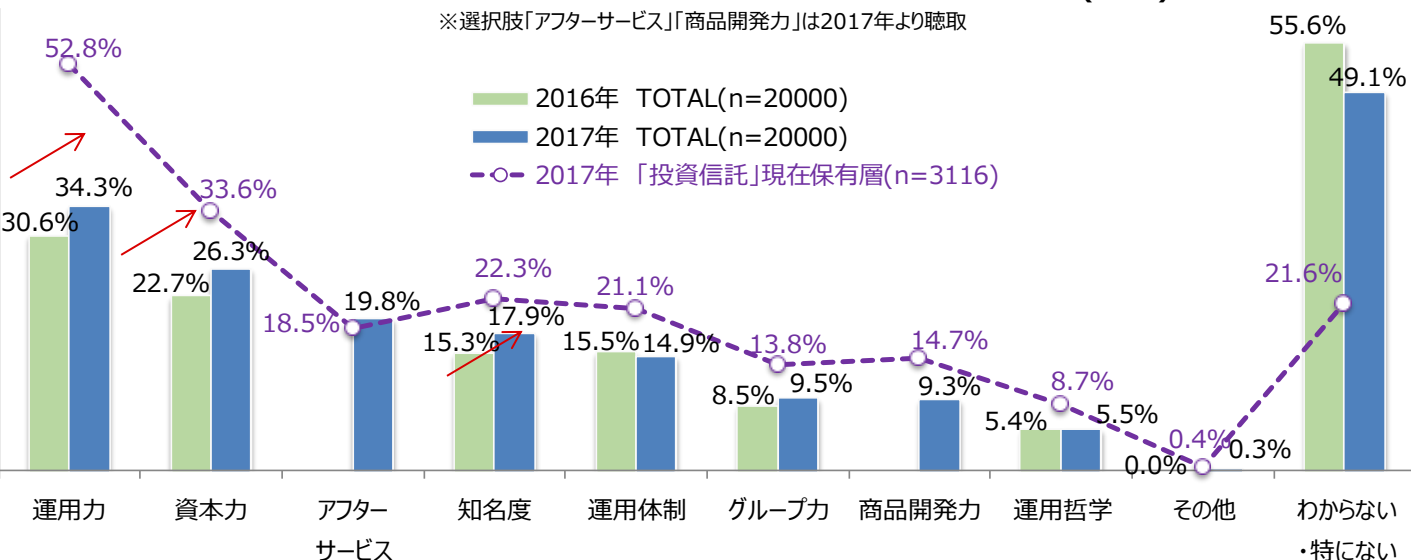
<投資信託の運用会社に対する考え>【ベース：TOTAL／現在保有層】(P.71)

※選択肢「運用会社よりも商品内容を重視したい」「外資系の運用会社に興味がある」は2017年より聴取



<投資信託購入の際の運用会社重視点>【ベース：TOTAL／現在保有層】(P.72)

※選択肢「アフターサービス」「商品開発力」は2017年より聴取

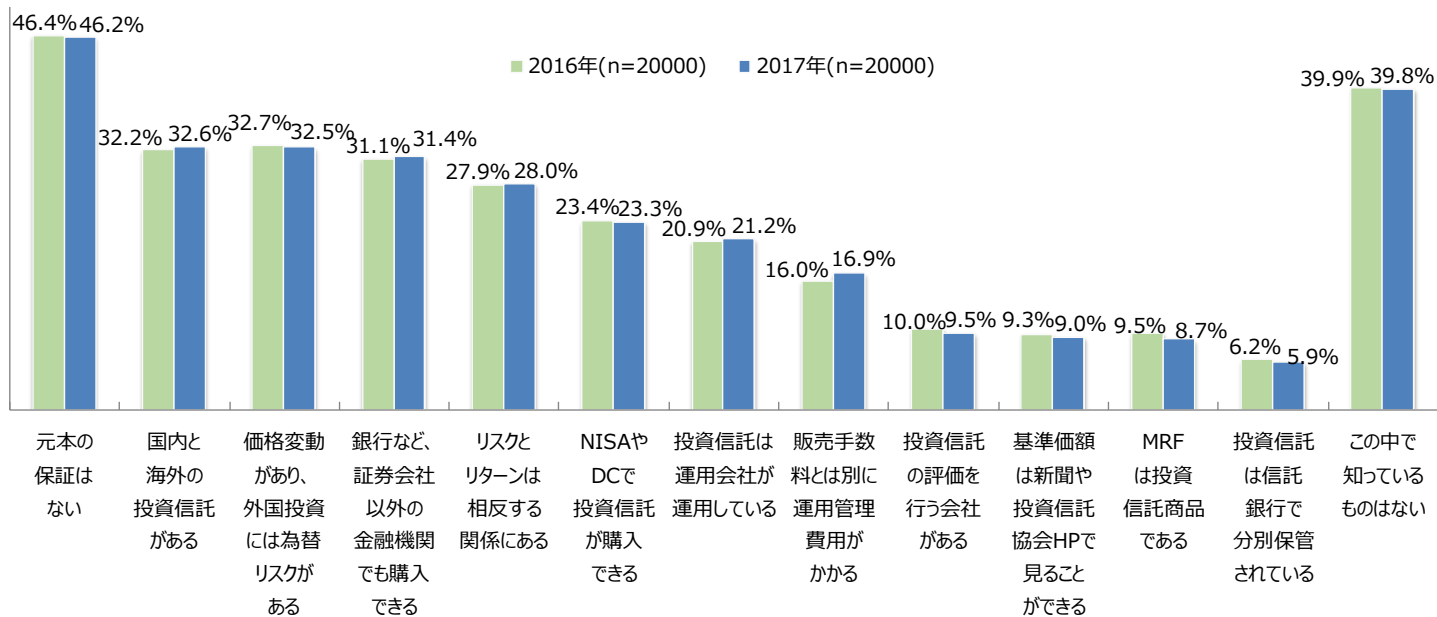


2. 調査結果の要約

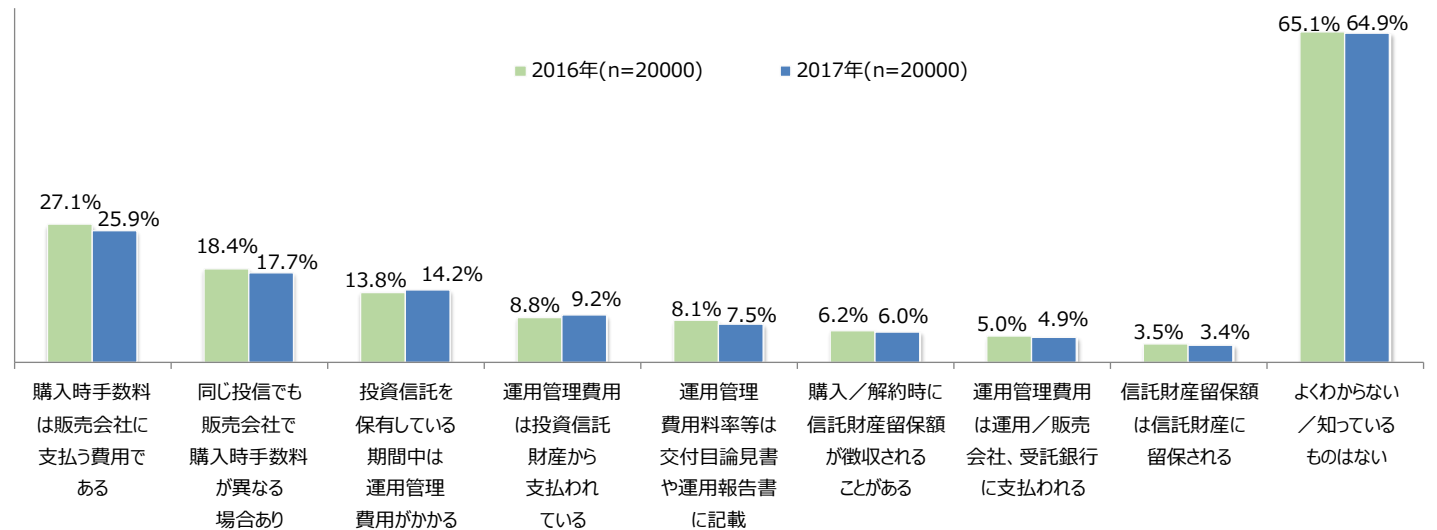
投資信託の商品および手数料特徴の認知状況

- 投信商品の特征認知は前回からほとんど変動はみられず、「元本保証はない」「国内と海外の投信がある」「価格変動と為替リスクがある」「証券会社以外でも購入できる」が上位に続く。
- 手数料認知も前回から大きな変動はみられず、「販売会社に支払う費用」「販売会社で異なる場合がある」「保有中は運用管理費がかかる」が上位にあがる。

<投資信託の特徴認知>【ベース:TOTAL】(P.60)



<手数料の特徴認知>【ベース:TOTAL】(P.73)



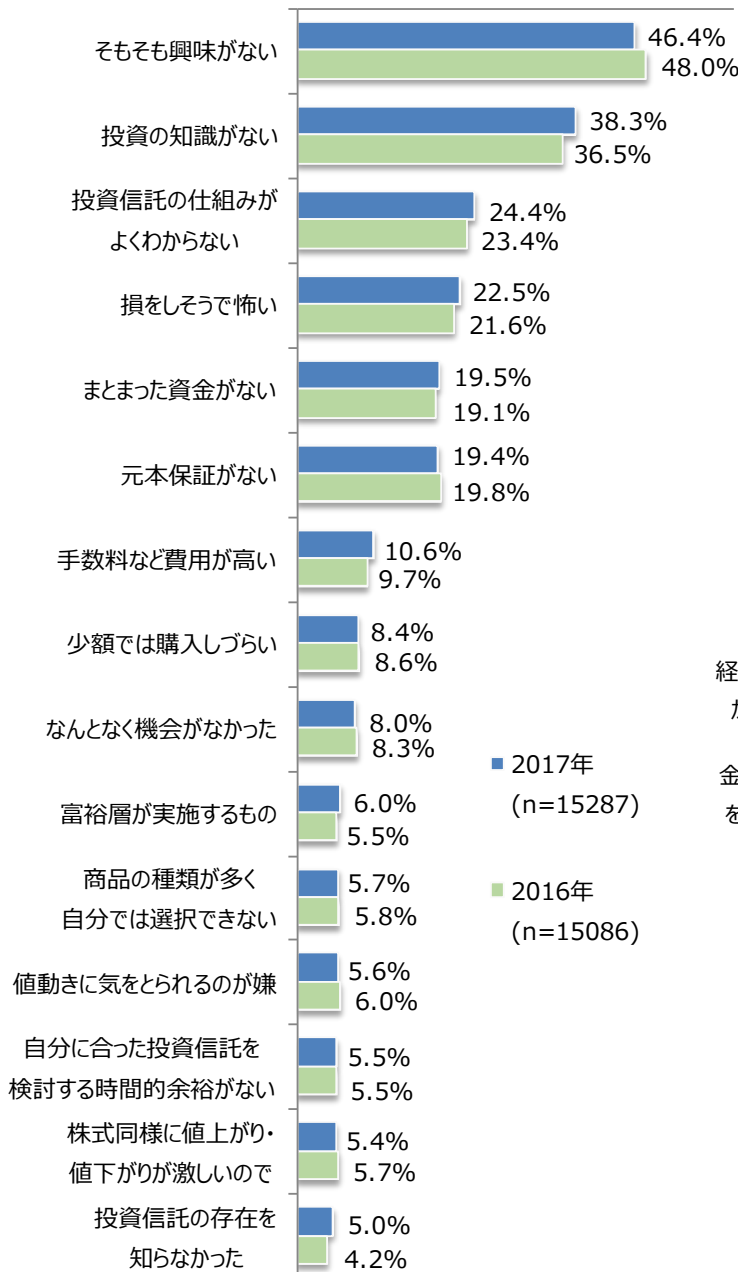
2. 調査結果の要約

投資信託保有未経験層の非購入理由／投資信託購入検討のきっかけ

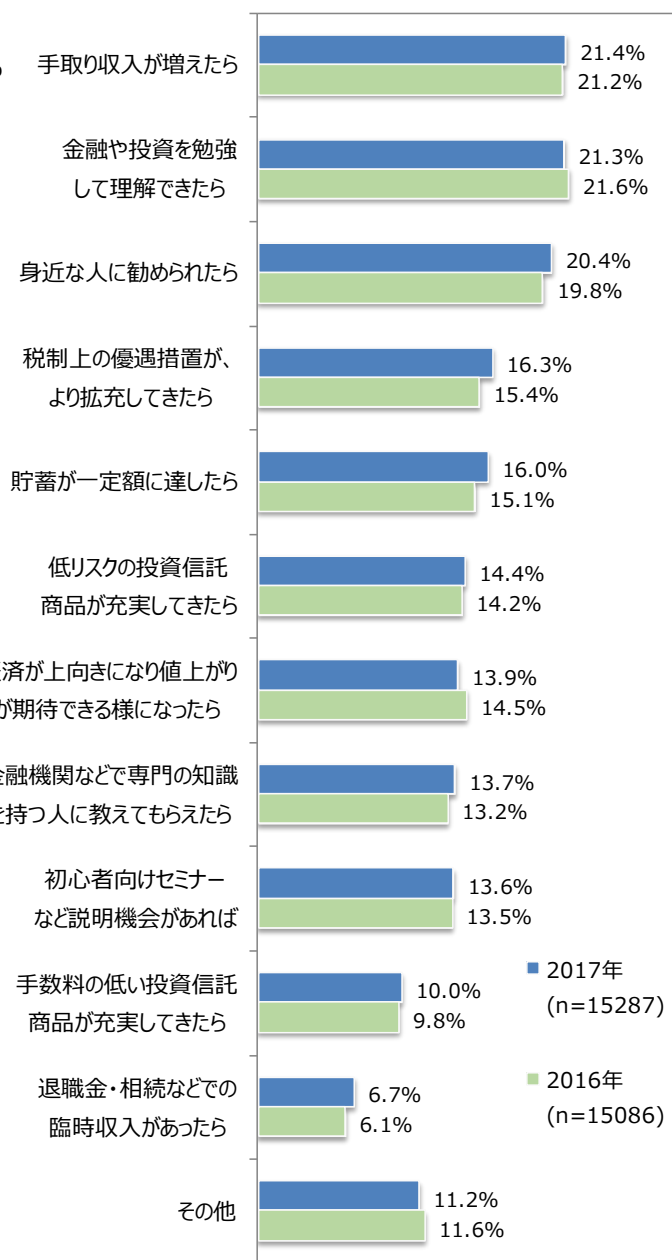
- 前回同様に、投信の非購入理由は「興味の欠如」「投資知識がない」が上位。また投信の購入のきっかけは分散傾向で、「手取り収入が増えたら」「金融や投資を勉強して理解できたら」「身近な人に勧められたら」が上位にあがる。

- ・ 購入検討のきっかけは、40代以下で「手取り収入増加」「金融や投資を理解できたら」「身近な人に勧められたら」が高く、若年層ほど「貯蓄が一定額に達したら」「専門家に教えてもらえたら」「初心者セミナーなどがあれば」が高くなる傾向。〔P57〕

＜投資信託の非購入理由＞【ベース:保有未経験層】
(P.55) ※ 2017年で5%以上を抽出、降順にソート



＜投資信託の購入検討のきっかけ＞【ベース:保有未経験層】
(P.57) ※ 2017年で降順にソート

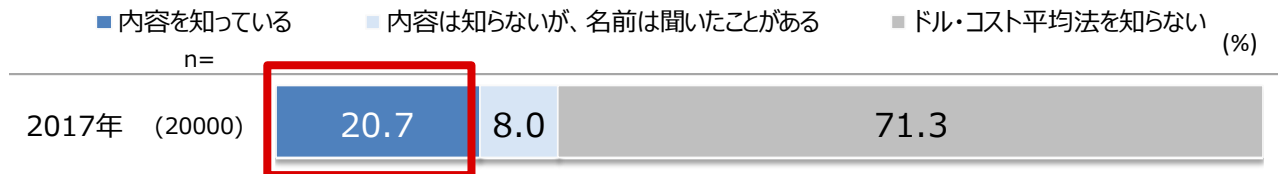


2. 調査結果の要約

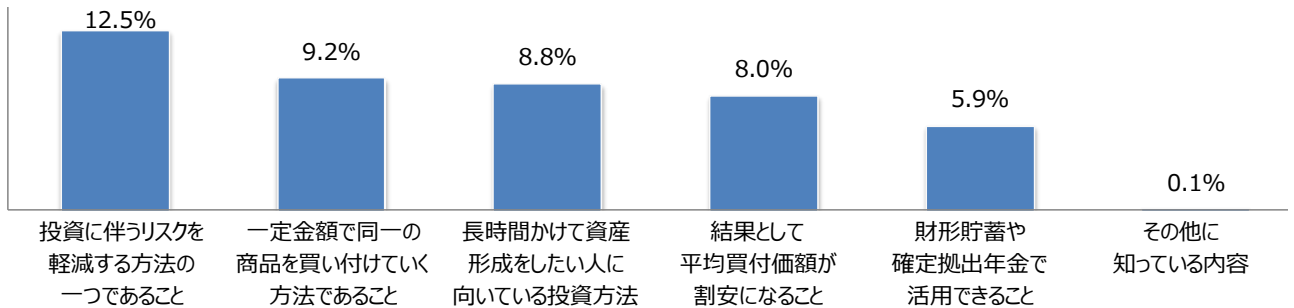
ドル・コスト平均法の特徴認知／積立投資プランの特徴認知 (ドル・コスト平均法の具体的な特徴を知っている人ベース)

- 「ドル・コスト平均法」は70%と大半が存在を非認知。内容認知は20%程度に留まる。
- 「ドル・コスト平均法」の具体的な内容を知っている人における積立投資プランの特徴認知を確認したところ、「少額から利用できる」といった事実が60%と突出しており、リスクや効果の認知は30%強に留まる結果となる。

<ドル・コスト平均法の特徴認知>【ベース:TOTAL】(P.69)



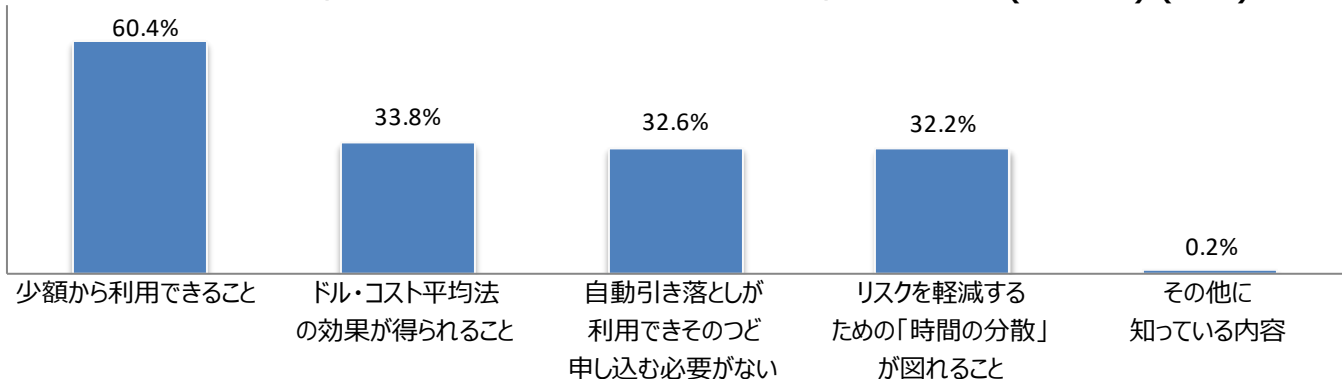
<ドル・コスト平均法の特徴認知詳細>【ベース:TOTAL】(P.69)



<積立投資プランの特徴認知>【ベース:ドル・コスト平均法の特徴を知っている人(n=4135)】(P.70)



<積立投資プランの特徴認知詳細>【ベース:ドル・コスト平均法の特徴を知っている人(n=4135)】(P.70)



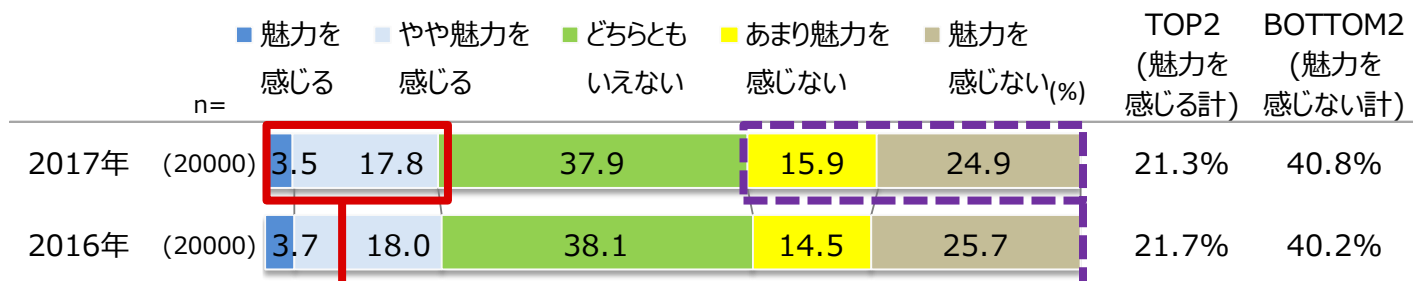
2. 調査結果の要約

毎月分配型投資信託の魅力度とその理由

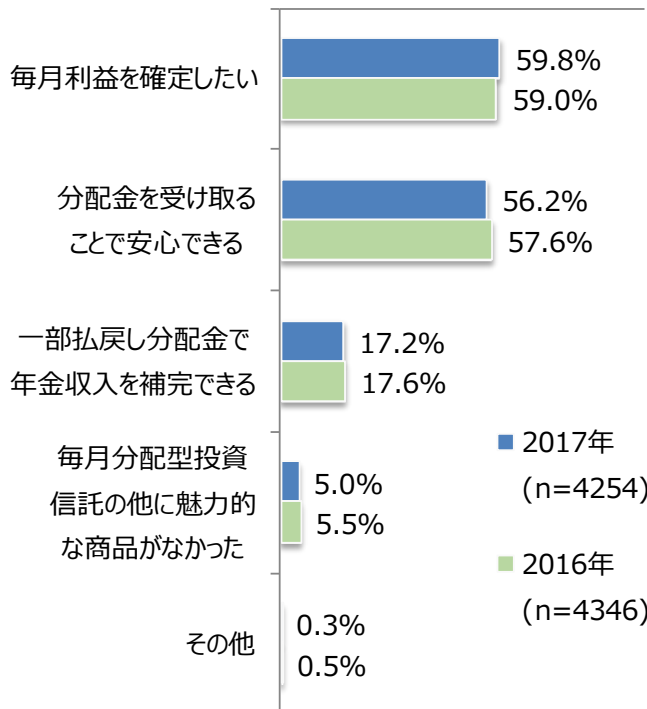
■「毎月分配型投資信託」に魅力を感じるのは、前回同様に20%程度となる。

■魅力層での評価点は、前回同様に「毎月利益を確定したい」「分配金受取の安心感」。一方非魅力層では「長期投資に合わない」との不満が僅かに増加している。

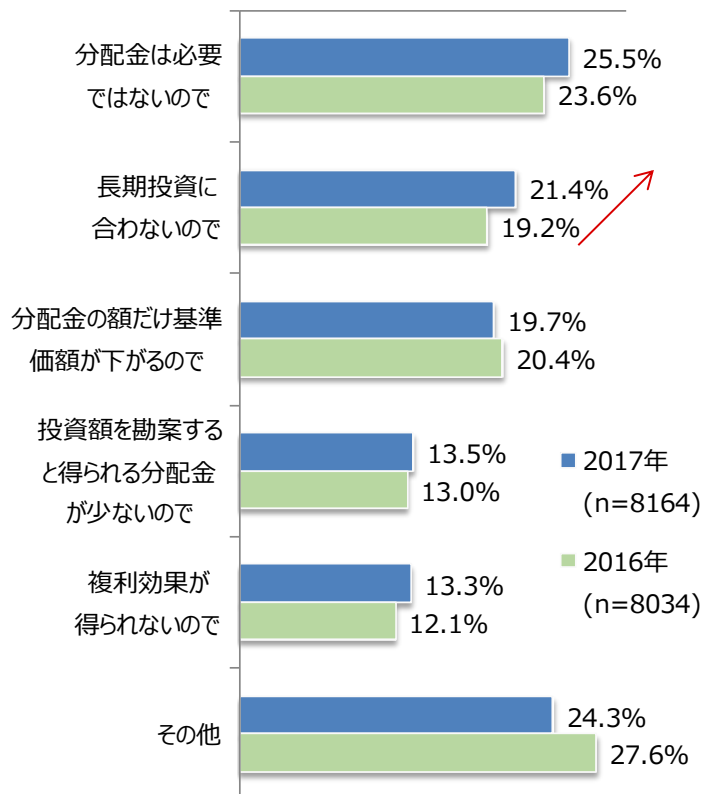
＜毎月分配型投資信託の魅力度＞ (P.63)



＜毎月分配型投資信託の魅力理由＞
【ベース:分配型魅力者】(P.65)



＜毎月分配型投資信託の非魅力理由＞
【ベース:分配型非魅力者】(P.67)



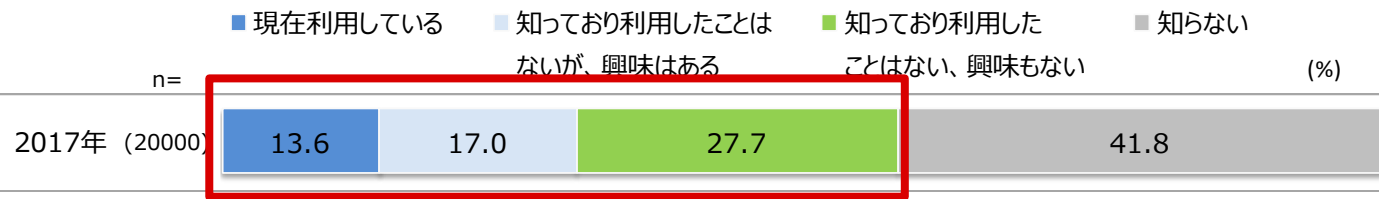
2. 調査結果の要約

NISA／ジュニアNISA／つみたてNISA／iDeCo 認知状況

■ NISAの現在利用率は13.6%に留まる

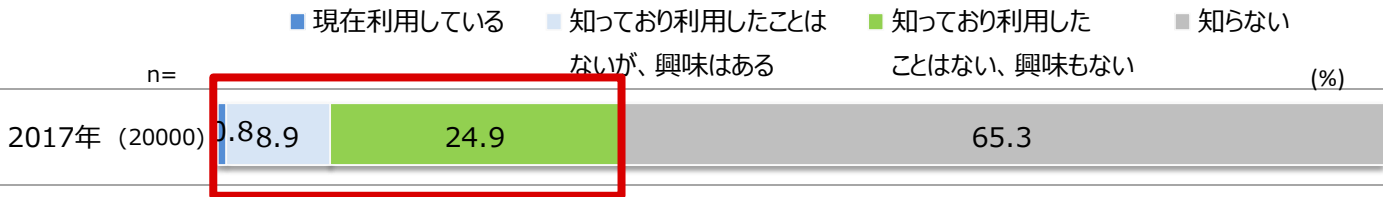
■ ジュニアNISA／つみたてNISA／iDeCoのいずれも認知は20～30%台に留まり、「利用した事はないが、興味がある」との関心層は10%未満となる。

<NISAの認知状況>【ベース：TOTAL】(P.75)



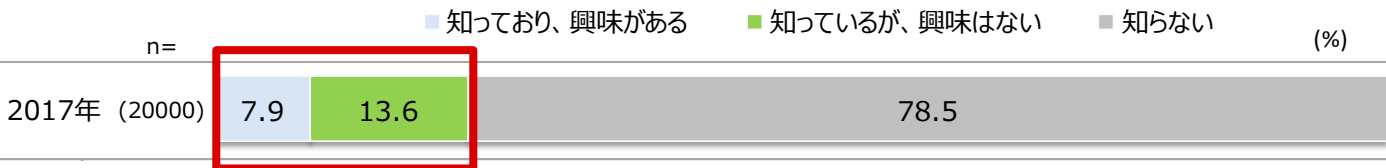
→ NISAの認知率58.2%

<ジュニアNISAの認知状況>【ベース：TOTAL】(P.76)



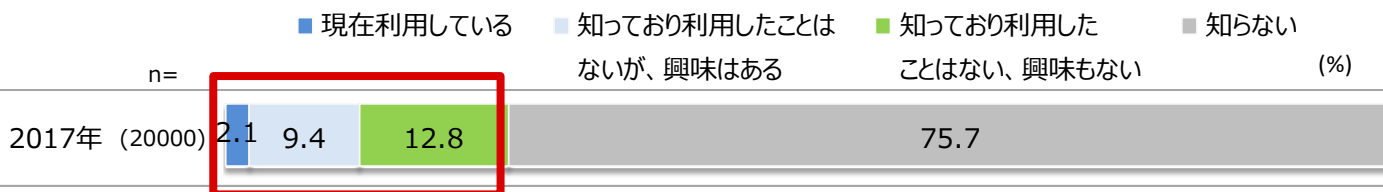
→ ジュニアNISAの認知率34.7%

<つみたてNISAの認知状況>【ベース：TOTAL】(P.77)



→ つみたてNISAの認知率21.5%

<iDeCoの認知状況>【ベース：TOTAL】(P.78)



→ iDeCoの認知率24.3%

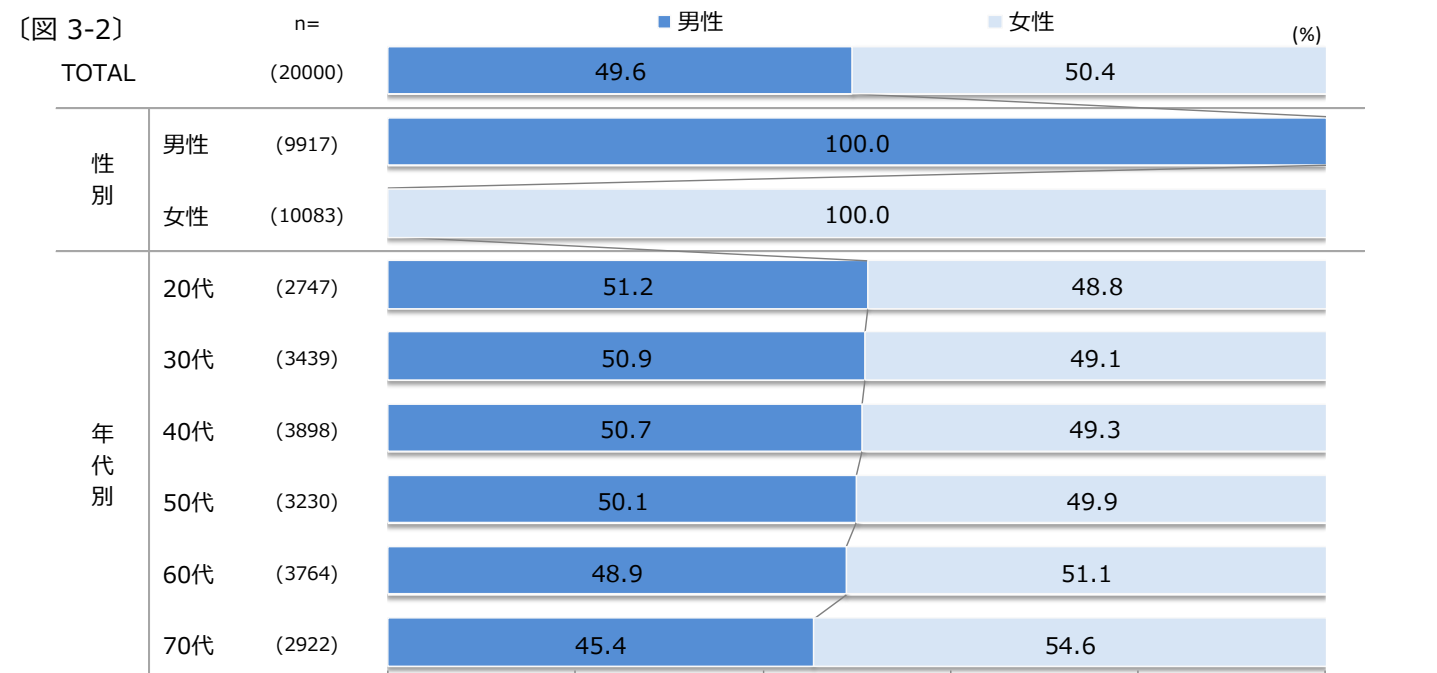
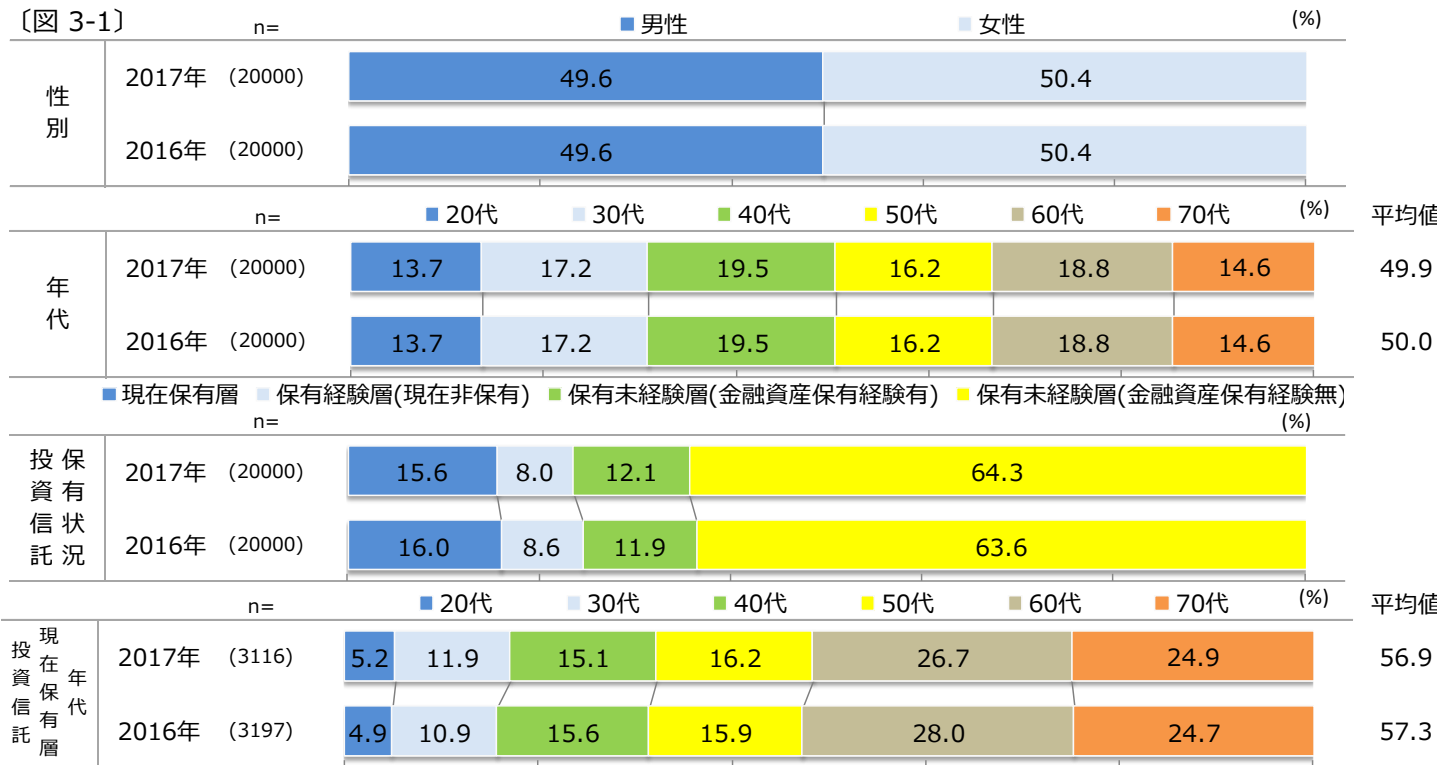
3. 回答者のプロフィール



3. 回答者のプロフィール

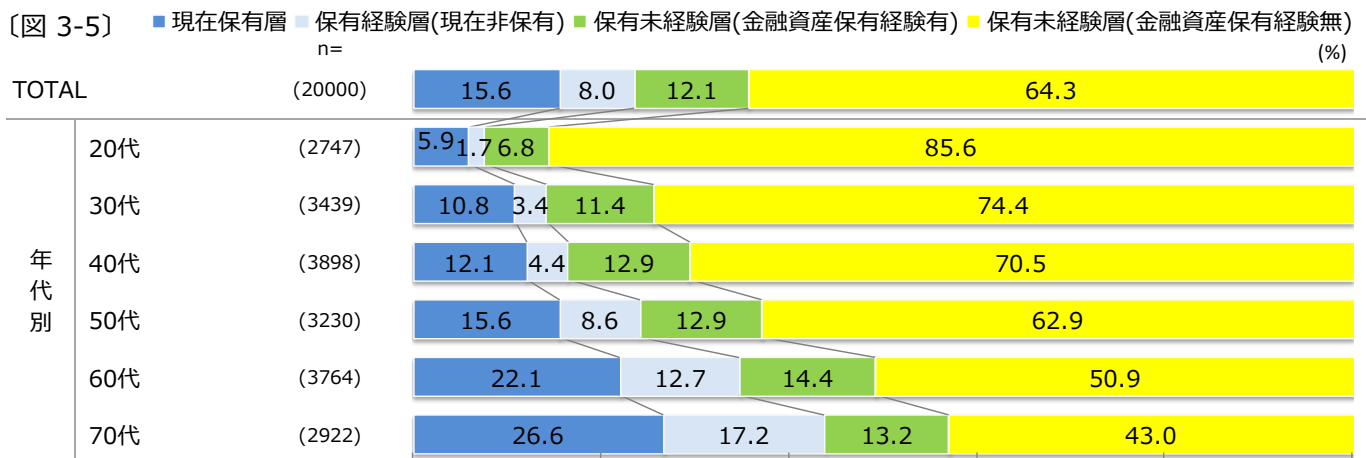
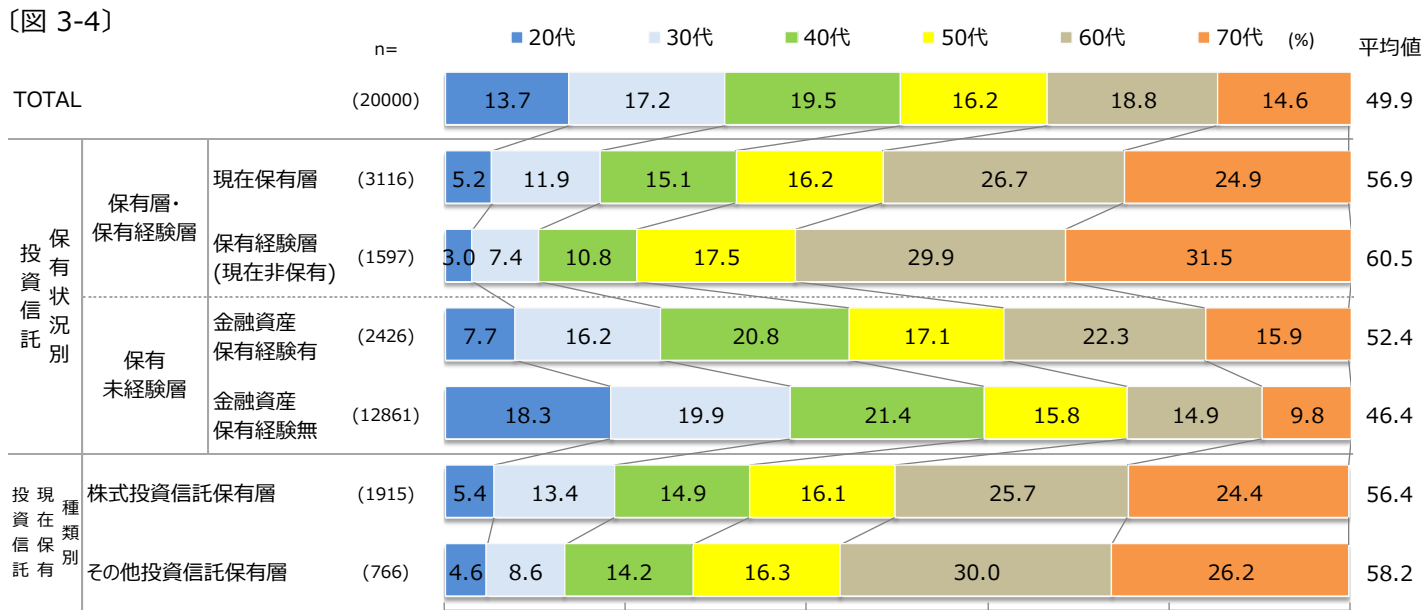
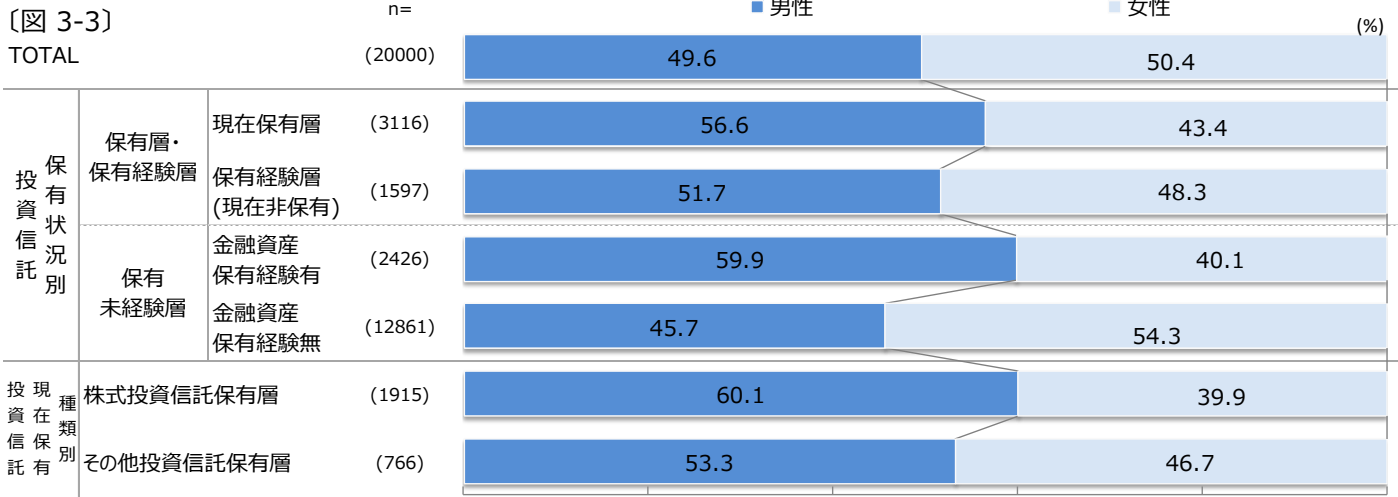
(1) 性別・年代〔Q28:単数回答・Q29:自由記述回答〕

- 回答者の性別は「男性」が49.6%、「女性」が50.4%。年代では「40代」が19.5%で最も多く、平均年齢は49.9歳となる。
- また投資信託の現在保有層の年代構成をみると、60～70代が合計で51.6%と約半数をしめるもの、前回に比べると僅かだが、30代が増え平均年齢が低下した。〔図3-1〕



3. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年代〔Q28:単数回答・Q29:自由記述回答〕

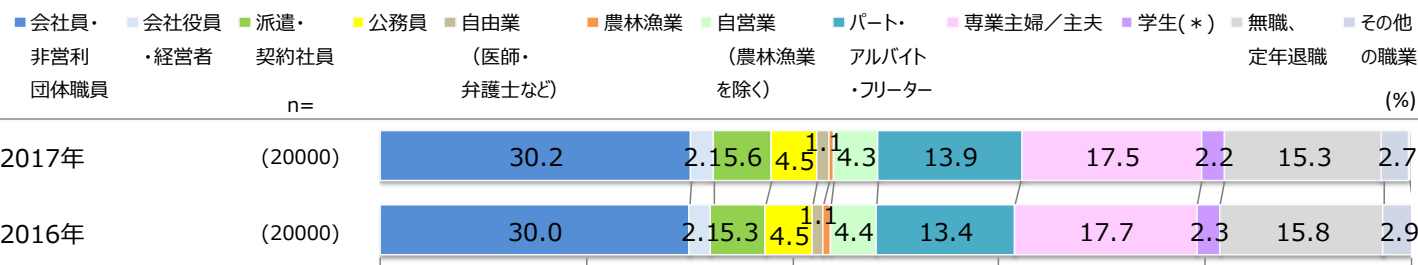


3. 回答者のプロフィール

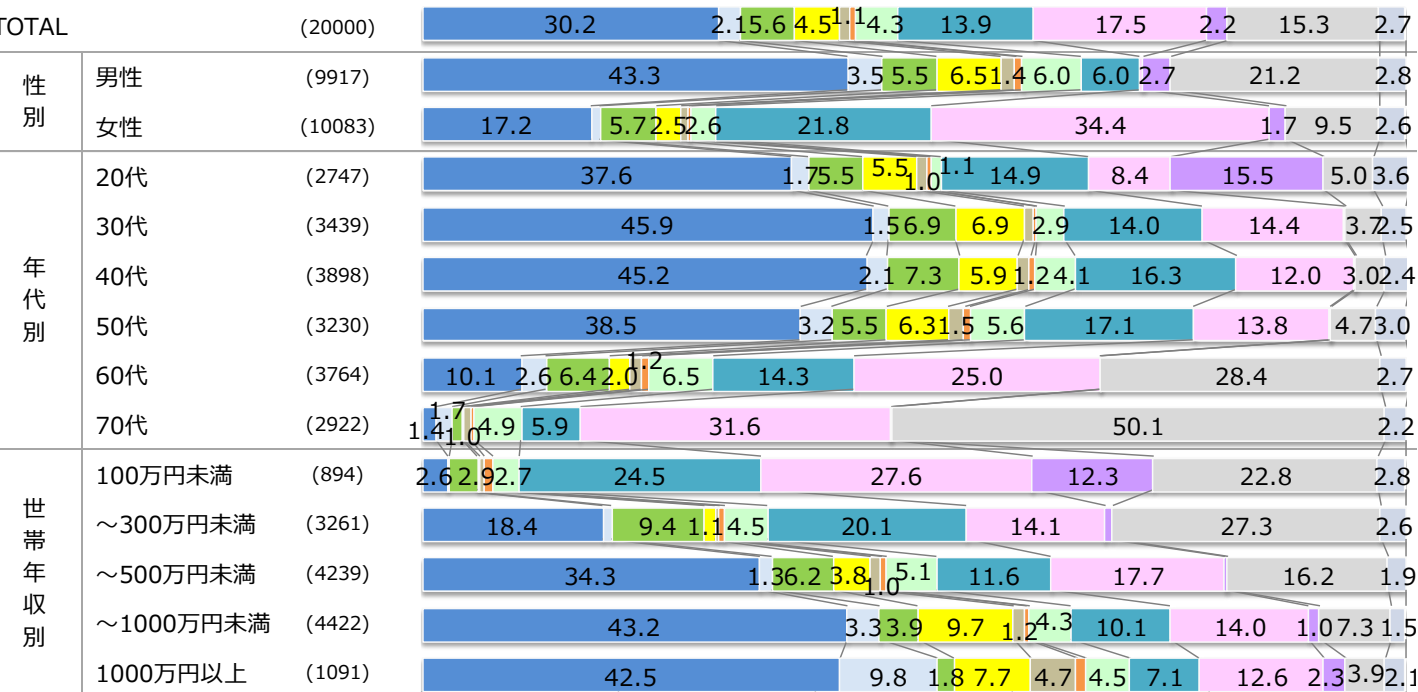
(2) 職業〔Q30:単数回答〕

- 回答者の職業は、前回と同様に「会社員・非営利団体職員」(30.2%)が最も多く、世帯年収が上がるにつれ増加する傾向。〔図3-6〕
また年収1,000万円以上の世帯では、「会社役員・経営者」(9.8%)がやや多い。〔図3-7〕
- 投資信託の現在保有層や保有経験層では、「専業主婦／主夫」「無職・定年退職」が保有未経験層に比べやや多い。〔図3-8〕

〔図 3-6〕



〔図 3-7〕

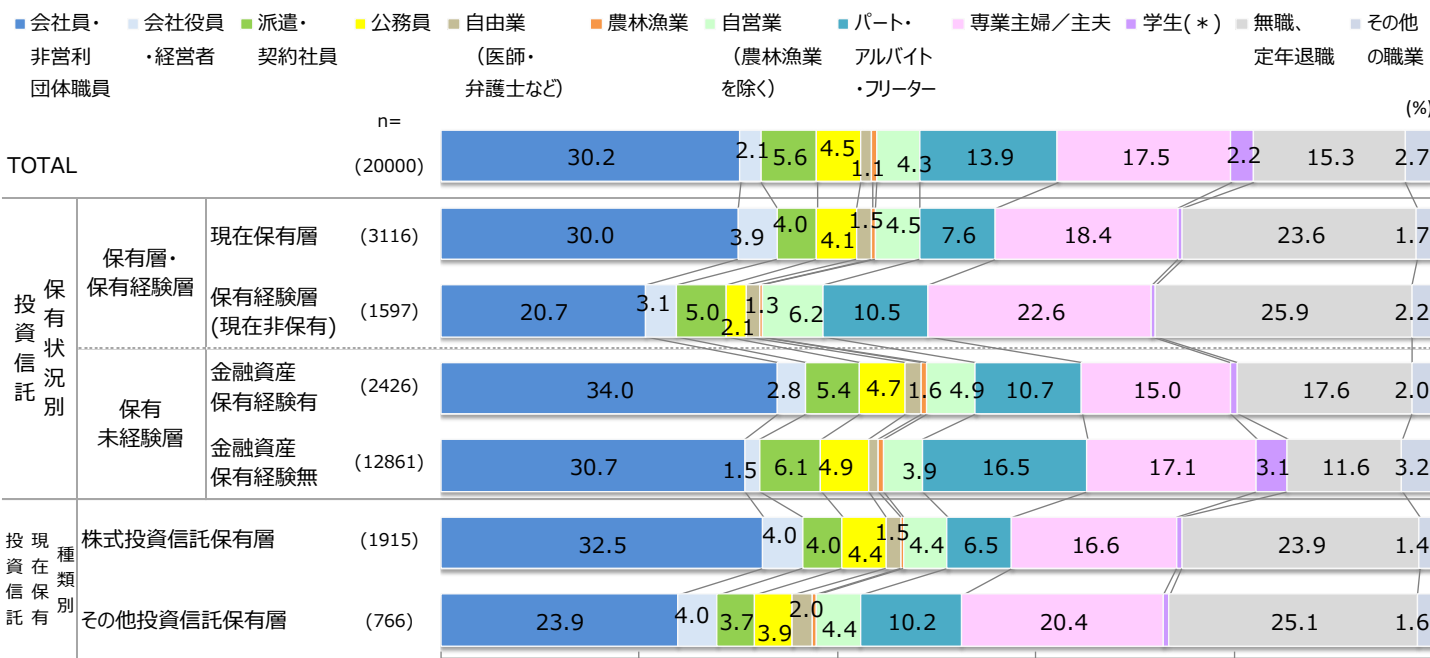


※1%未満は非表示

3. 回答者のプロフィール

(2) 職業〔Q30:単数回答〕

〔図 3-8〕



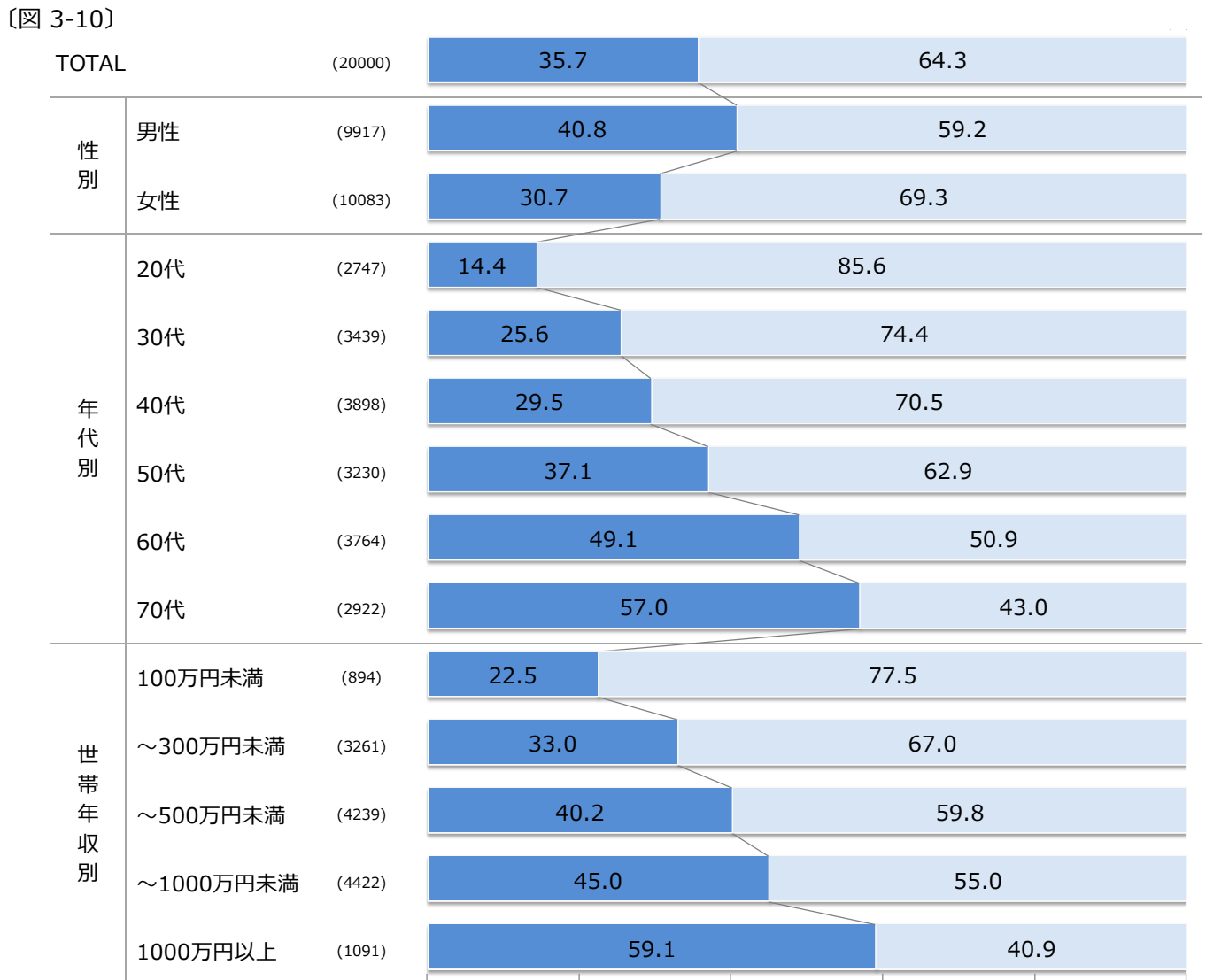
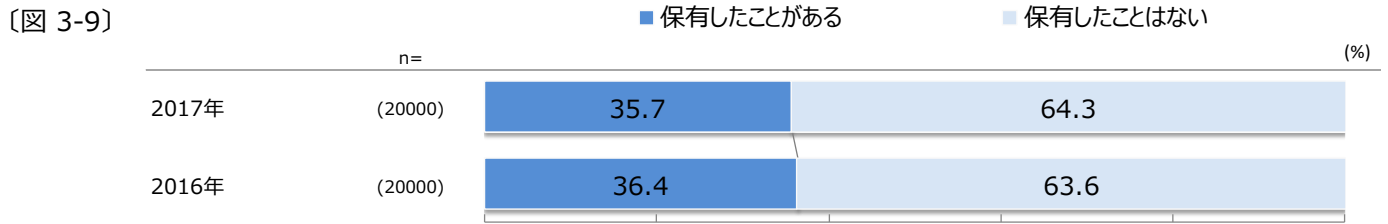
※1%未満は非表示

3. 回答者のプロフィール

(3) 金融資産の保有経験〔Q1:単数回答〕

- 金融資産（※）の保有経験率は35.7%と、前回と同程度となる。〔図3-9〕
- 属性別に保有経験率をみると、性別では男性(40.8%)の方が高く、また年代や世帯年収が上がるにつれ高くなる。〔図3-10〕

※ 金融資産…外貨預金、株式、債券（国債・公社債など）、投資信託、FX、ETF、REITなど。現金や円での預貯金、土地や不動産、保険は除く。



3. 回答者のプロフィール

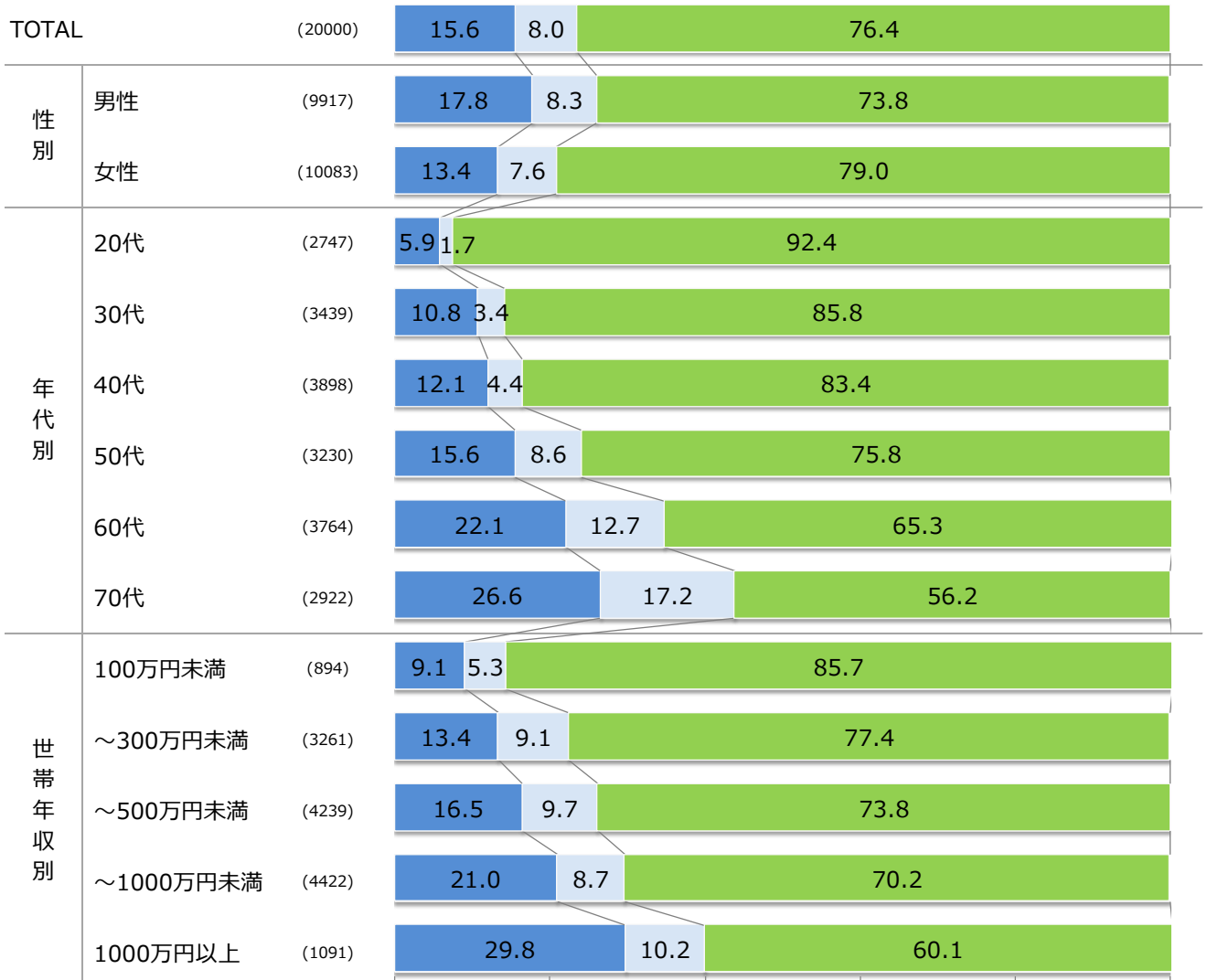
(4) 投資信託の保有状況〔Q2:単数回答〕

- 投資信託の保有状況に大きな変化はなく、「現在保有している」という“現在保有層”が15.6%、「以前保有していたが、現在は保有していない」との“保有経験層”が8.0%、「今まで保有したことがない」という“保有未経験層”が76.4%となる。〔図3-11〕
- 年代や世帯年収が上がるにつれ、“現在保有層”、“保有経験層”ともに増加する。〔図3-12〕

〔図 3-11〕



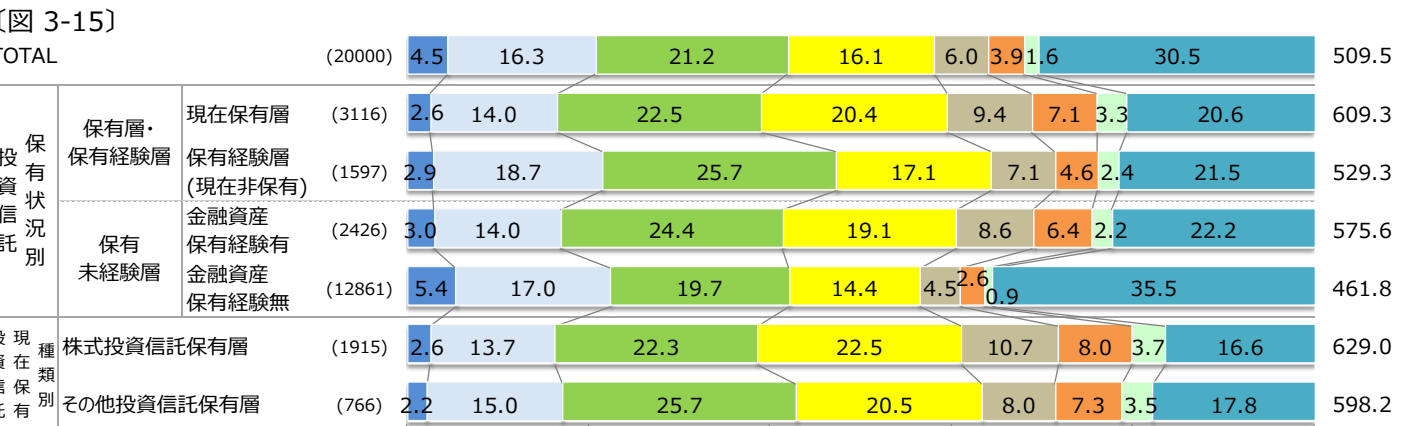
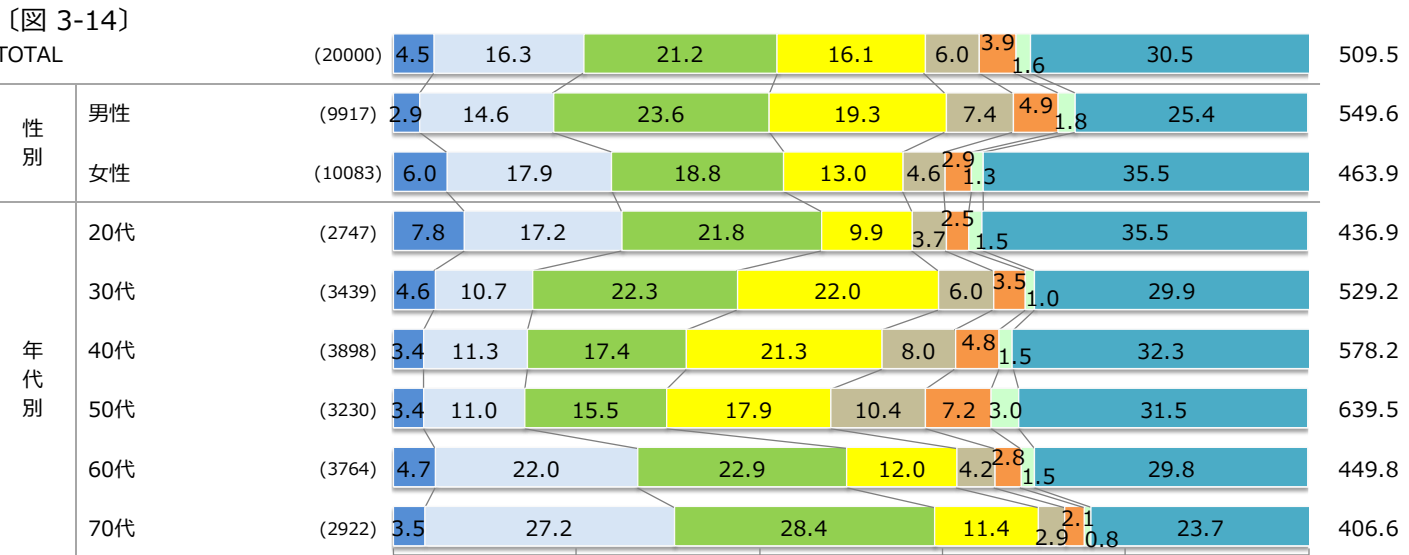
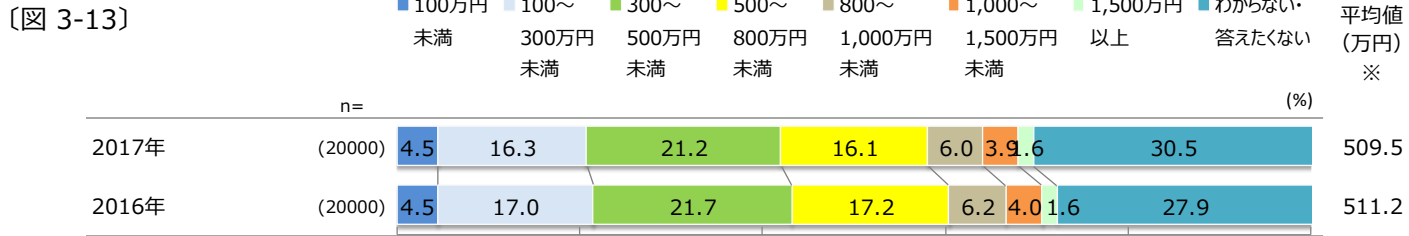
〔図 3-12〕



3. 回答者のプロフィール

(5) 世帯年収〔Q31①：単数回答〕

- 世帯年収は「300～500万円未満」が21.2%とやや多く、『100万円～800万円未満』合計で半数以上(58.1%)を占める。また、平均値は「509.5万円」と前回と同程度となる。〔図3-13〕
- 投資信託の保有状況別や保有種類別で世帯年収の平均をみると、現在保有層、中でも株式投資信託保有層で高くなる。〔図3-15〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り
 100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 200～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

(5) 世帯年収〔Q31①〕：単数回答

〔図 3-16〕

■ 100万円未満 ■ 100～300万円未満 ■ 300～500万円未満 ■ 500～800万円未満 ■ 800～1,000万円未満 ■ 1,000～1,500万円未満 ■ 1,500万円以上 ■ わからない・答えたくない (%)

平均値 (万円) ※
 2万人の平均値 (万円)
 差額 (万円)

年 代 別 保 有 層	n=	世帯年収 (万円)								平均値 (万円) ※	2万人の平均値 (万円)	差額 (万円)
		100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	わからない・答えたくない (%)			
TOTAL	(3116)	2.6	14.0	22.5	20.4	9.4	7.1	3.3	20.6	609.3	509.5	99.8
20代	(162)	3.1	10.5	30.9	19.8	9.9	6.8	3.1	16.0	598.2	436.9	161.3
30代	(370)	2.2	6.5	18.9	28.1	12.7	10.5	2.4	18.6	689.7	529.2	160.5
40代	(472)	2.3	2.8	13.8	29.7	13.6	12.5	3.8	21.6	764.9	578.2	186.7
50代	(504)	2.8	6.9	11.7	21.2	13.6	11.1	7.3	22.4	793.6	639.5	154.1
60代	(831)	3.4	17.8	24.7	17.1	13.6	3.9	3.0	23.9	531.4	449.8	81.6
70代	(777)	1.9	25.7	32.4	14.3	13.6	3.2	1.2	23.9	448.8	406.6	42.2

※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

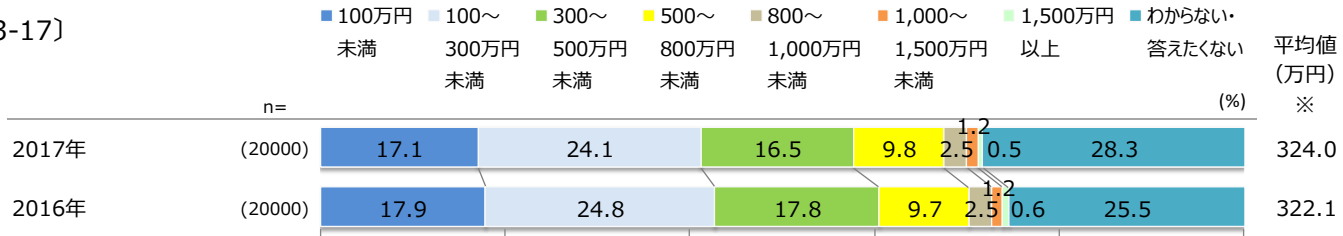
100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

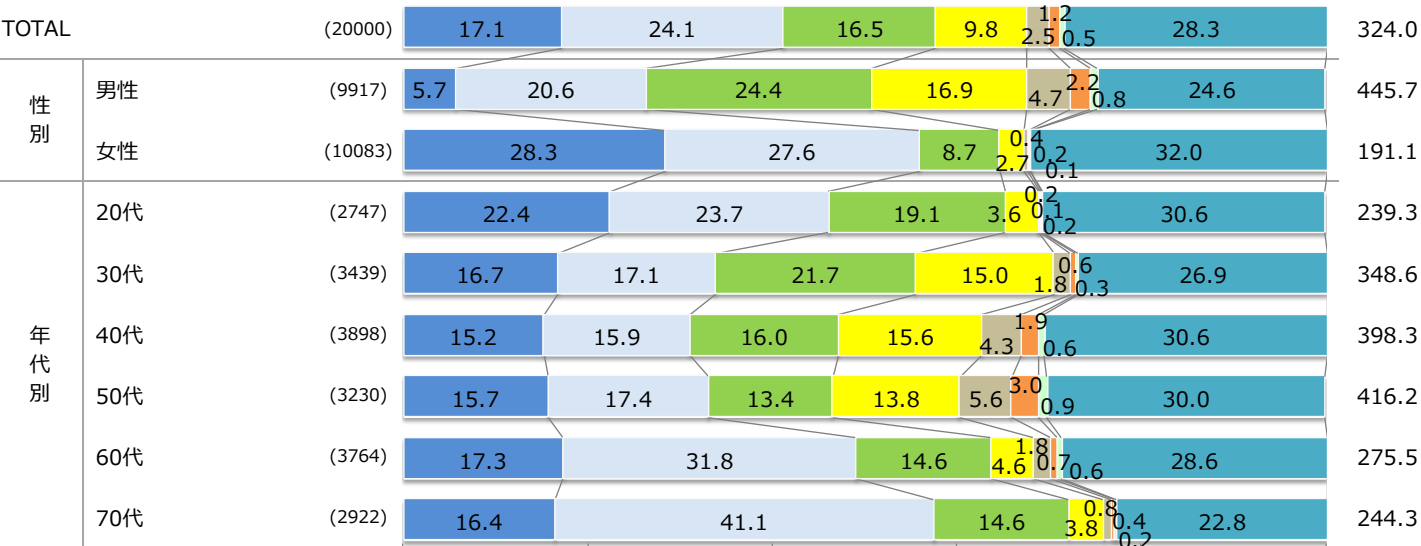
(6) 個人年収〔Q31②：単数回答〕

- 個人年収は「100～300万円未満」が24.1%とやや多く、『500万円未満』合計で57.7%を占める。また、平均値は「324.0万円」と前回と同程度となる。〔図3-17〕
- 投資信託の保有状況別や保有種類別で個人年収の平均をみると、世帯年収と同様に、現在保有層、株式投資信託保有層で高くなる。〔図3-19〕

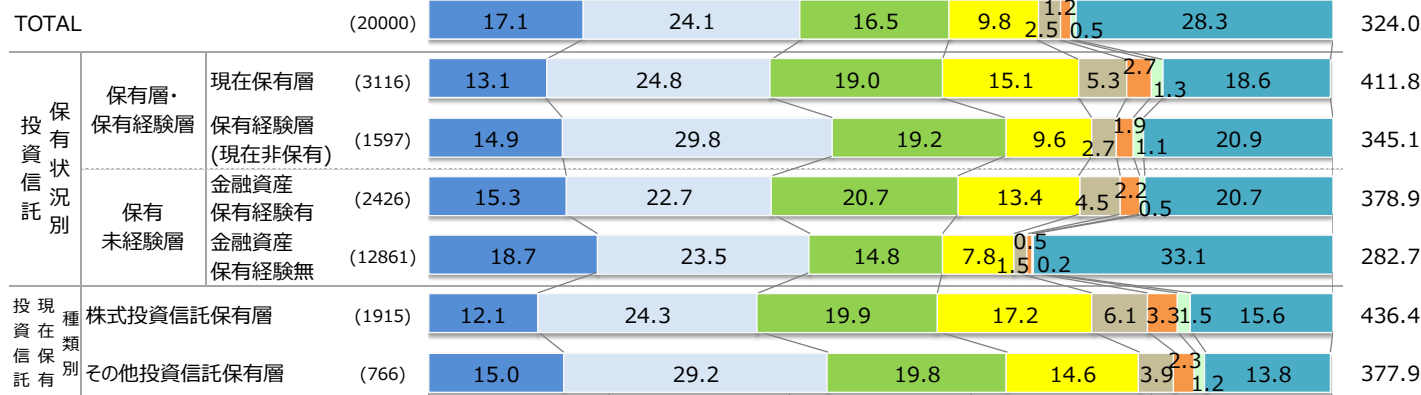
〔図 3-17〕



〔図 3-18〕



〔図 3-19〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り
 100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 200～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

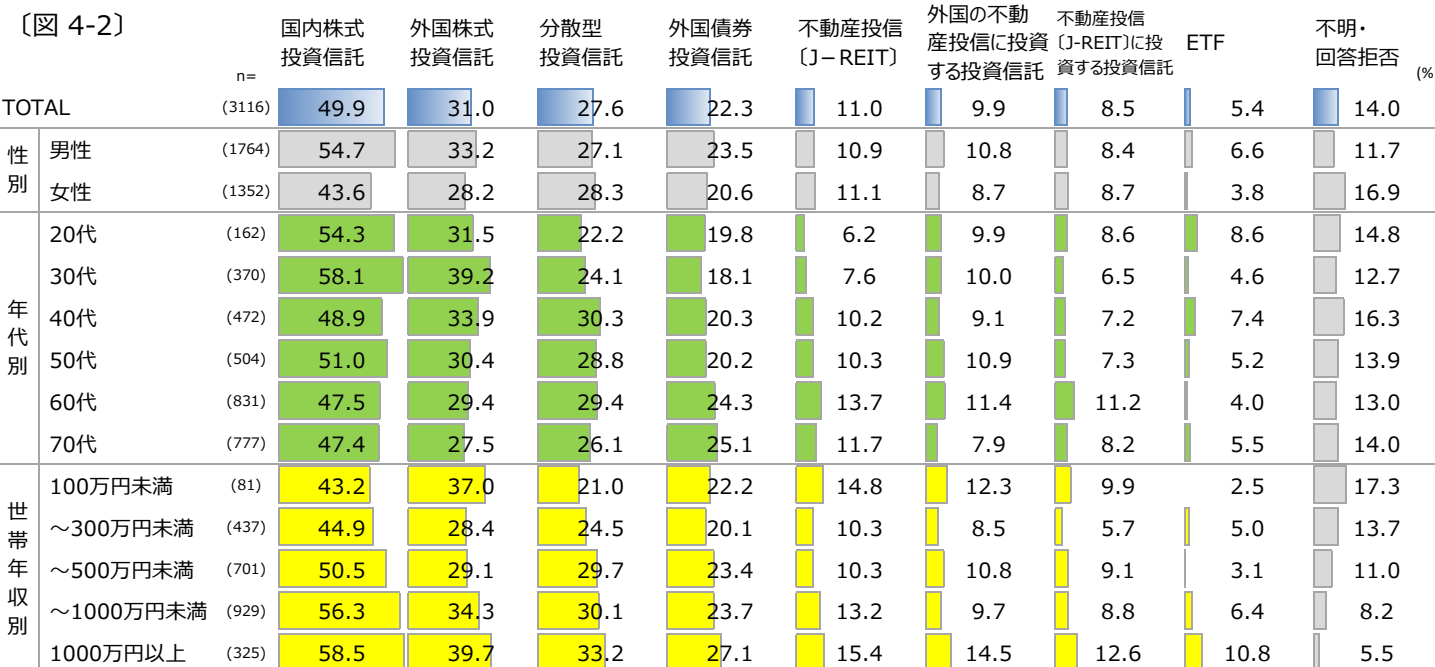
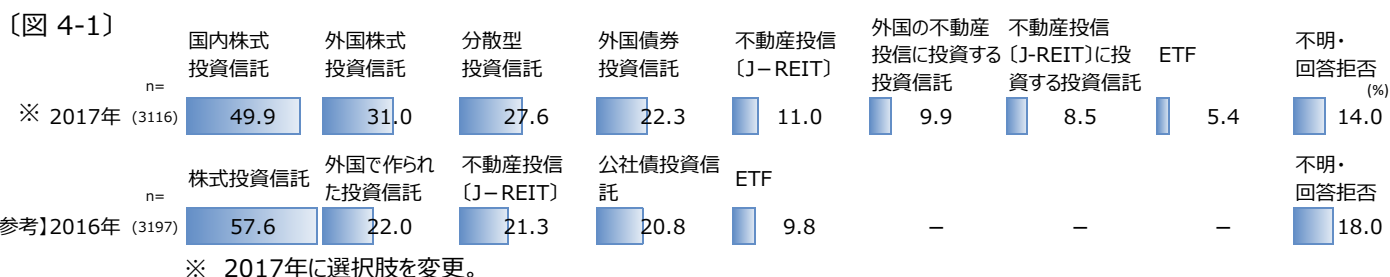
4. 投資信託保有状況（現在保有層）



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(1) 投資信託の保有種類〔Q5:重複回答〕

- 現在保有している投資信託の種類は、「国内株式投資信託」が49.9%で最多。次いで「外国株式投資信託」(31.0%)、「分散型投資信託」(27.6%)、「外国証券投資信託」(22.3%)が続く。〔図4-1〕
- 年代別で保有率をみると、「国内株式投資信託」「外国株式投資信託」は30代で高く、「外国債券投資信託」は60代、70代で高い。「不動産投信(J-REIT)」「外国の不動産投信に投資する投資信託」「不動産投信(J-REIT)に投資する投資信託」は年代が上がるにつれ保有率が高くなるが、60代がピークとなる模様。〔図4-2〕
- また、投資信託の平均保有数は1.92種類となる〔図4-3〕



〔図 4-3〕【投資信託の保有種類別回答者数と、平均保有数】

	国内株式投資信託	外国株式投資信託	分散型投資信託	外国債券投資信託	不動産投信(J-REIT)	外国の不動産投信に投資する投資信託	不動産投信(J-REIT)に投資する投資信託	ETF	平均保有数(種類) ※2
TOTAL(n=2681) ※1	1554	967	860	694	343	307	266	168	1.92

※1 投信保有者(n=3116)から「種類不明・回答拒否」(n=435)を控除。

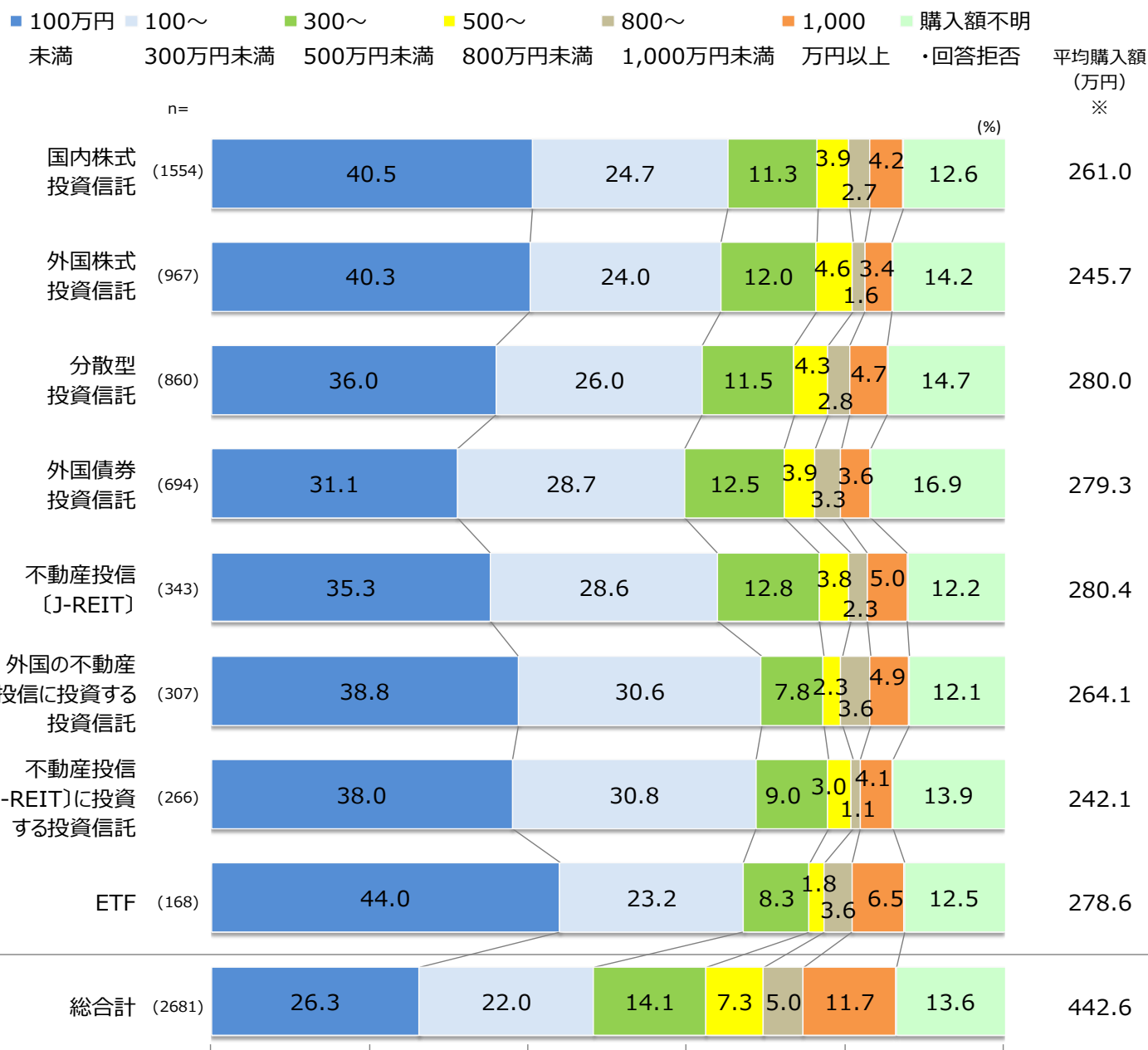
※2 平均保有数は、保有種類別回答者数の延べの総数を、n=2681で割って算出。

4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(2) 投資信託の購入額〔Q6:単数回答-各種類現在保有層ベース〕

- 現在保有している投資信託の平均購入額は、総合計では「442.6万円」となる。種類別に平均購入額をみると、「不動産投信〔J-REIT〕」「分散型投資信託」「外国債券投資信託」「ETF」が280万円程度で高くなる模様。〔図4-4〕

〔図 4-4〕



※ 平均値は「購入額不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

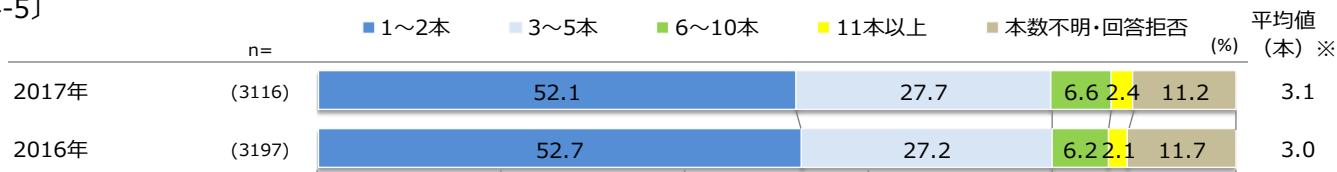
100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 200~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円 / 800~1000万円未満：900万円 / 1000万円以上：1500万円

4. 投資信託保有状況（現在保有層）

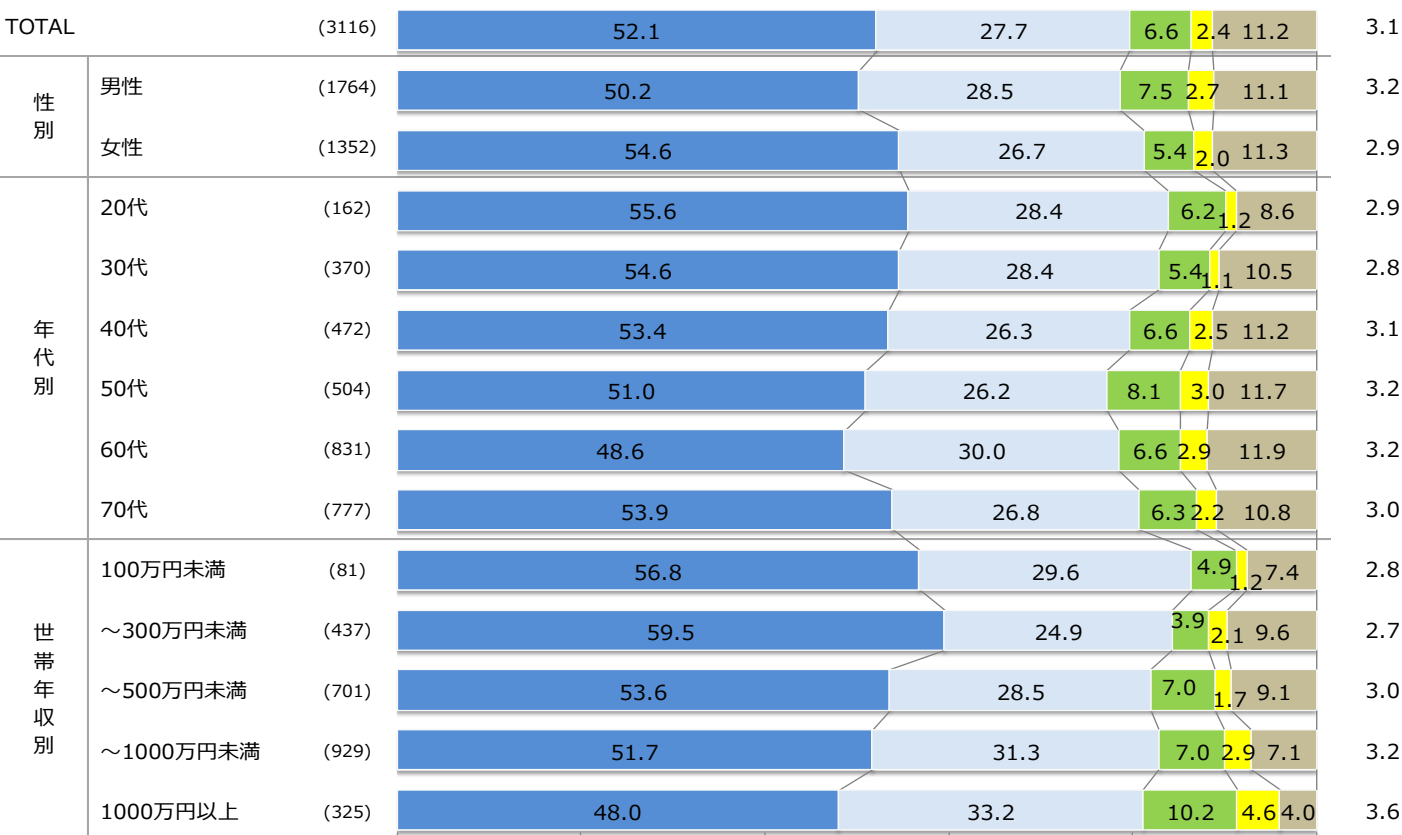
(3) 現在保有している投資信託の本数〔Q3:単数回答〕

- 現在保有している投資信託の保有本数は、「1～2本」(52.1%)で半数以上、平均3.1本となり、前回と大きな差は見られない。〔図4-5〕
- 年代別で平均保有本に大きな差はみられないが、世帯年収別では高年収層ほど多くなる。〔図4-6〕
- 投信保有種類別では、株式投信保有層で平均保有本数(3.4本)が多くなる。〔図4-7〕

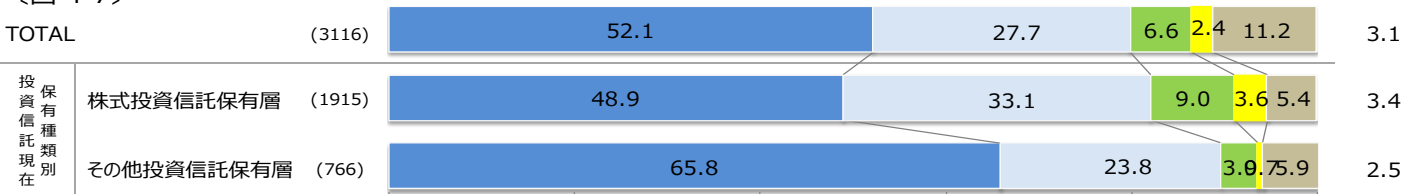
〔図 4-5〕



〔図 4-6〕



〔図 4-7〕



※ 平均値は「本数不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

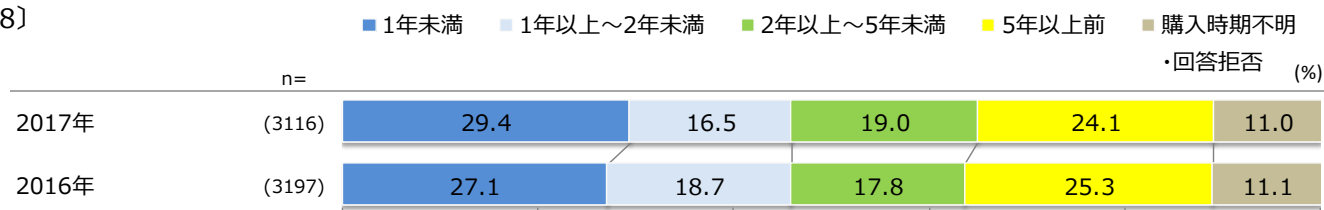
1～2本：1.5本 / 3～5本：4本 / 6～10本：8本 / 11本以上：13本

4. 投資信託保有状況（現在保有層）

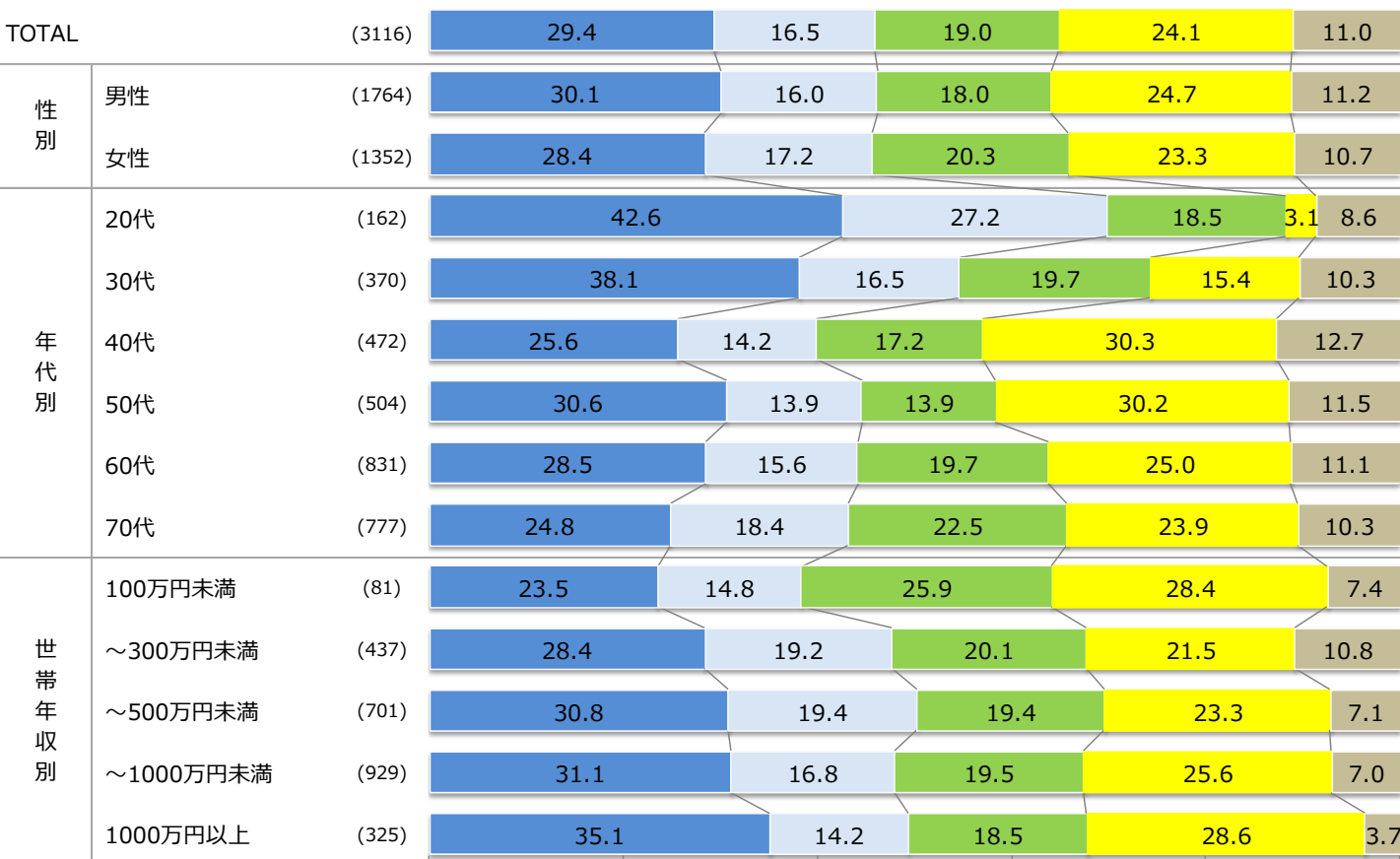
（4）投資信託商品の直近購入時期〔Q4:単数回答〕

- 直近の購入時期は「1年未満」(29.4%)が前回(27.1%)より2.3ポイントと僅かに増加。〔図4-8〕
- 「1年未満」の購入率は、若年層ほど、また世帯年収の高い層ほど高くなる傾向。〔図4-9〕

〔図 4-8〕



〔図 4-9〕



〔図 4-10〕

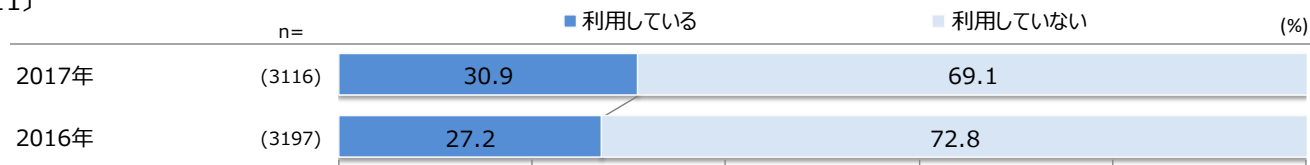


4. 投資信託保有状況（現在保有層）

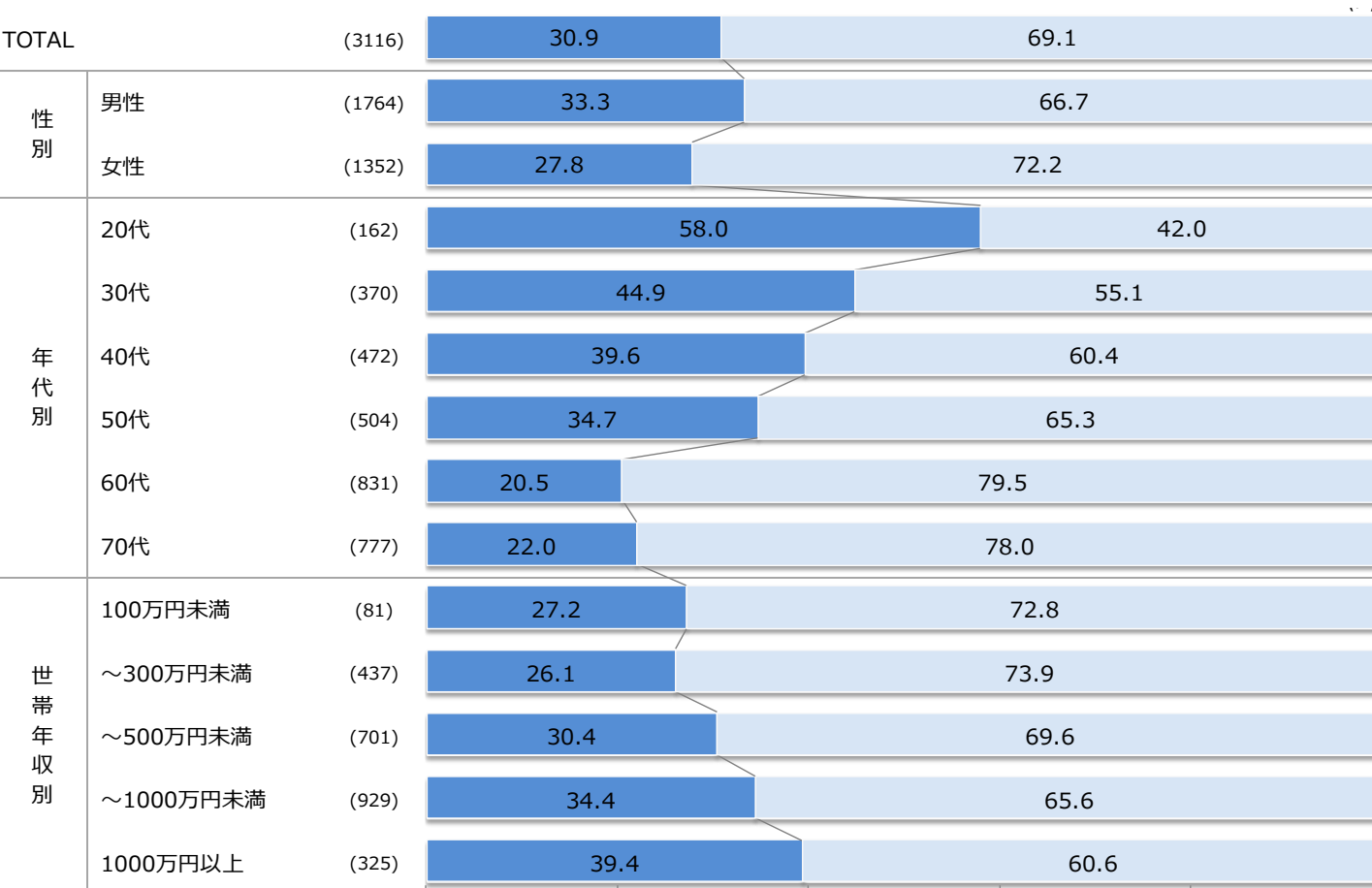
(5) 投資信託の積立投資の利用状況〔Q15:単数回答〕

- 積立投資利用率は、30.9%と前回(27.2%)に比べ3.7ポイント増加。〔図4-11〕
- 若年層ほど、また世帯年収の高い層ほど、積立投資利用率は高くなる傾向。〔図4-12〕

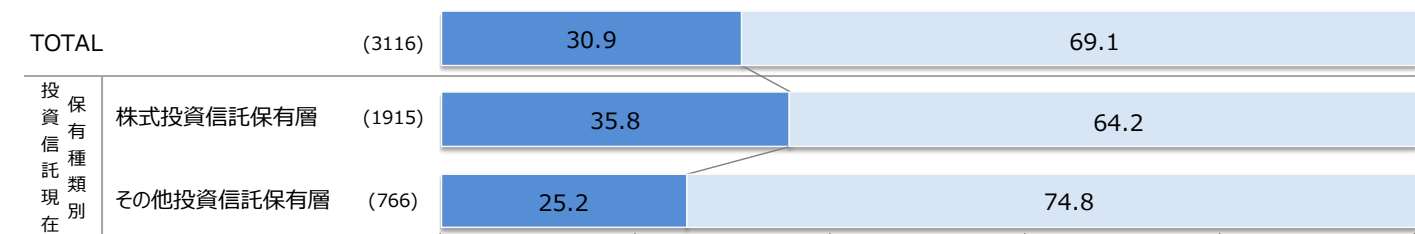
〔図 4-11〕



〔図 4-12〕



〔図 4-13〕

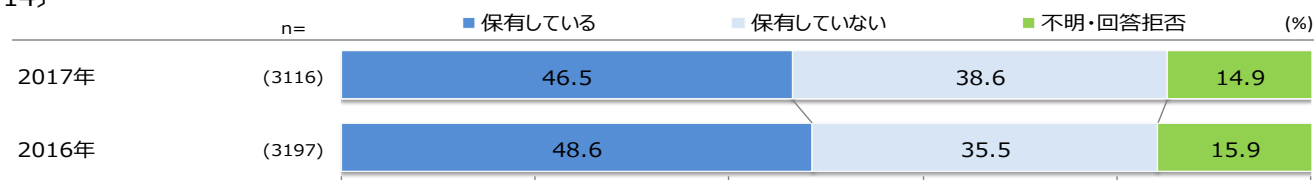


4. 投資信託保有状況（現在保有層）

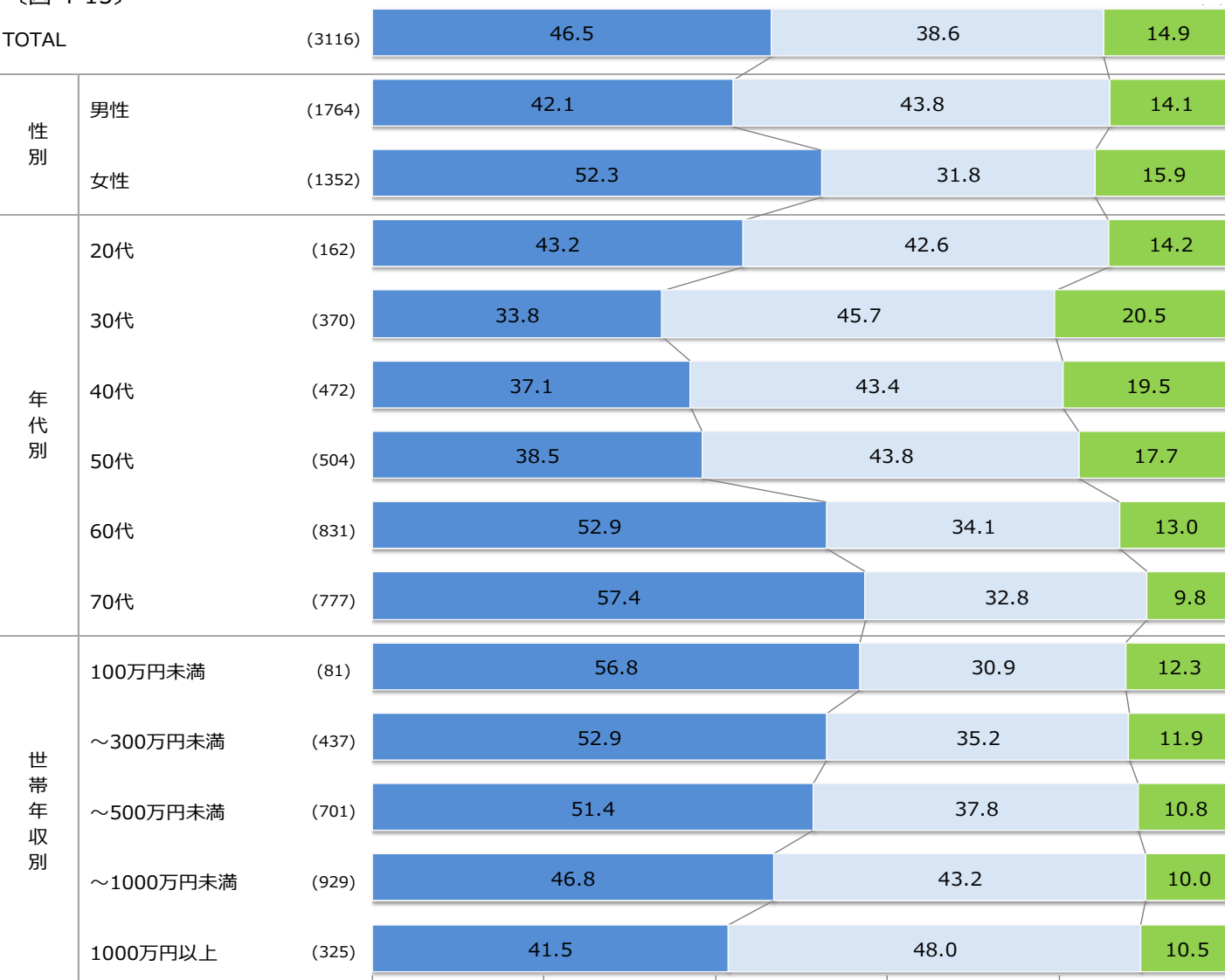
（6）毎月分配型投資信託の保有状況〔Q18:単数回答〕

- 現在投資信託保有層のうち、毎月分配型投資信託（1ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する分配方針のもの）の保有率は46.5%と、前回(48.6%)より2.1ポイントと僅かだが減少。〔図4-14〕
- 属性別では、女性や60代以上で、保有率が50%を越え高くなる。一方で世帯年収別では、年収の増加と共に保有率が減少する傾向。〔図4-15〕

〔図 4-14〕



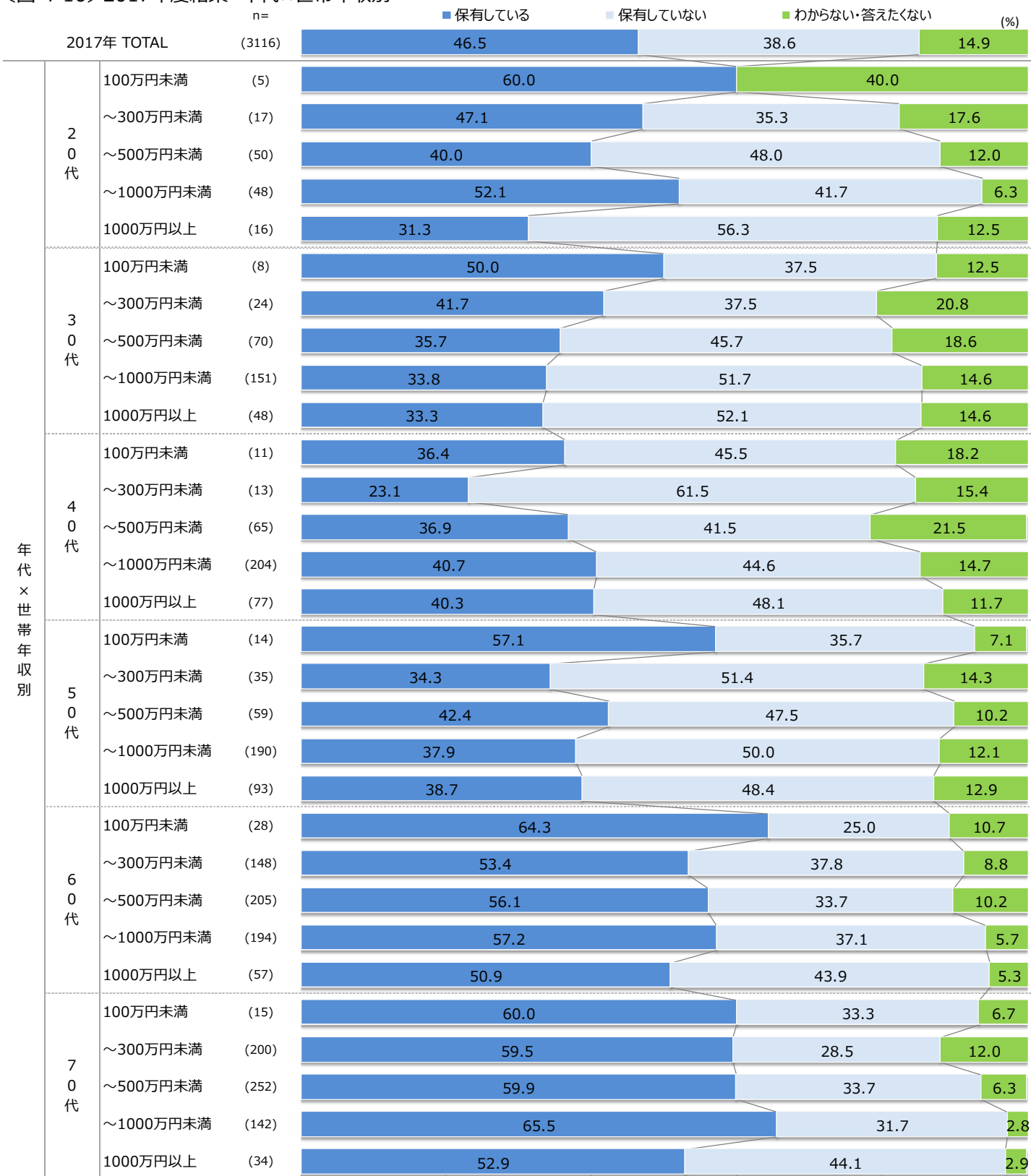
〔図 4-15〕



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(6) 毎月分配型投資信託の保有状況〔Q18:単数回答〕

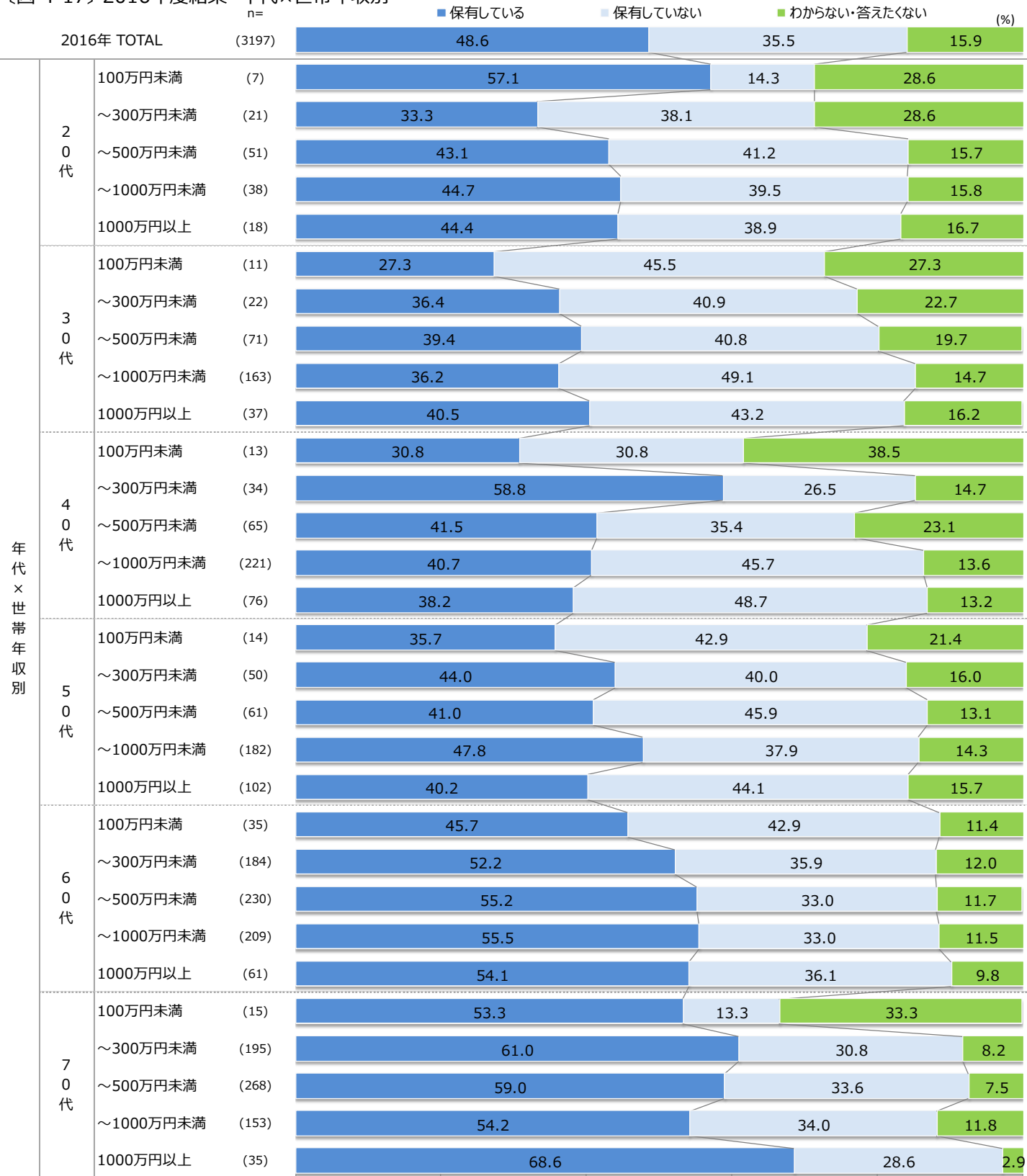
〔図 4-16〕 2017年度結果 年代×世帯年収別



4. 投資信託保有状況（現在保有層）

(6) 毎月分配型投資信託の保有状況〔Q18:単数回答〕

〔図 4-17〕 2016年度結果 年代×世帯年収別

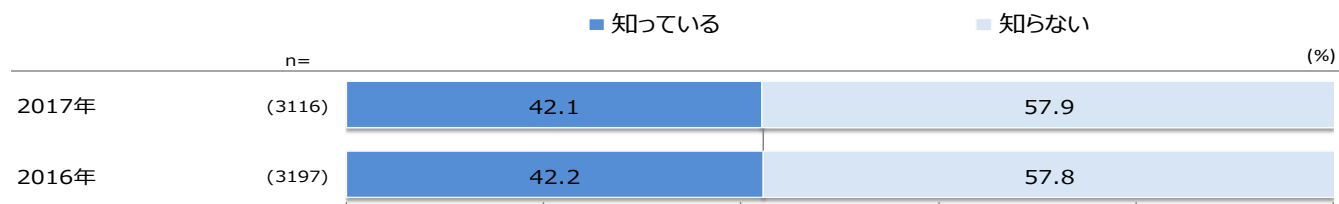


4. 投資信託保有状況（現在保有層）

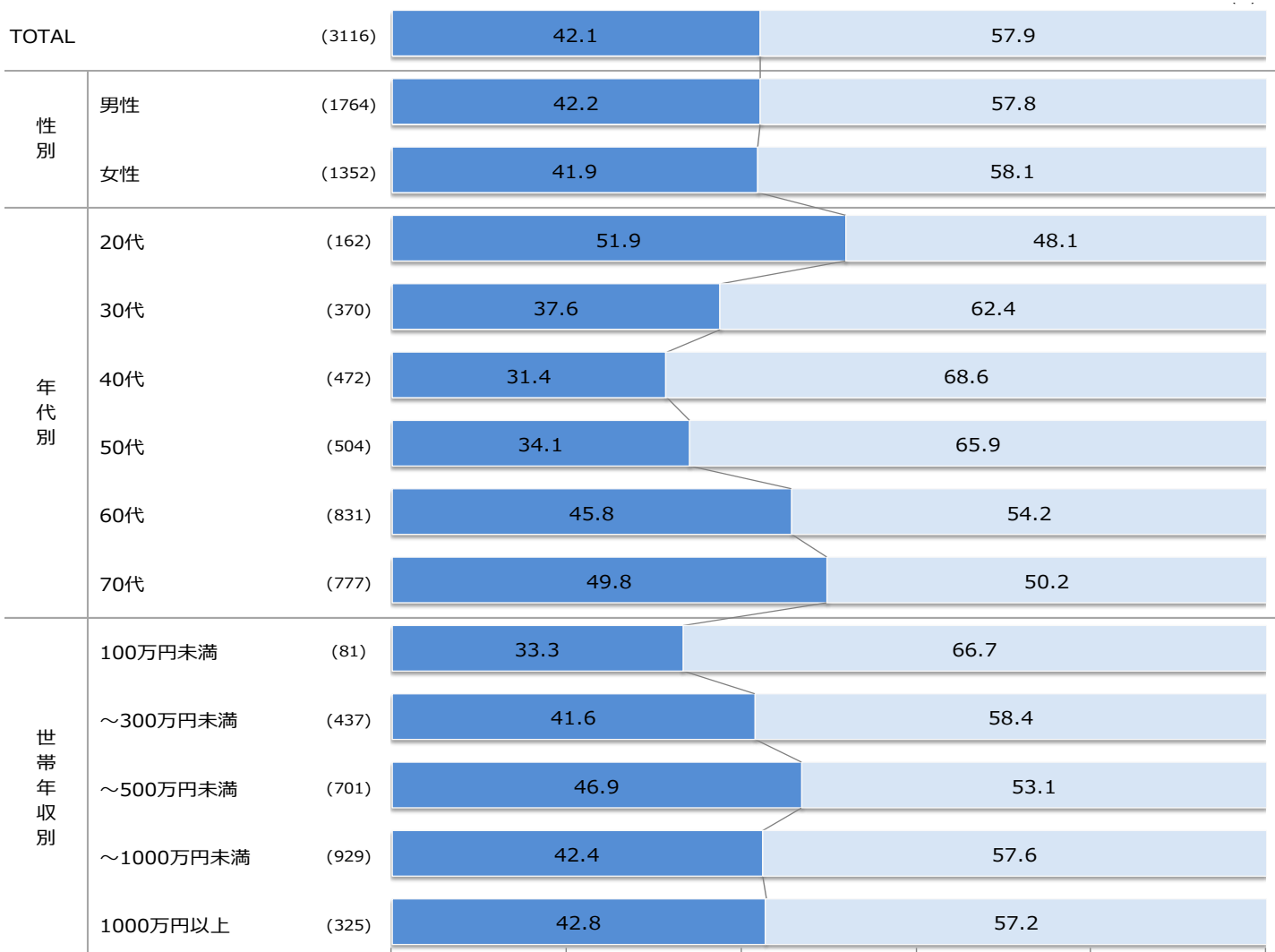
（7）トータルリターン通知制度の認知状況〔Q22:単数回答〕

- 2014年12月から実施の「投資信託の投資期間全体の損益（トータルリターン）通知制度」の現在投資信託保有層での認知率は、42.1%と前回(42.2%)と同水準となる。〔図4-18〕
- 年代別では20代が51.9%と最も高く、次いで60代、70代が40%台で続く。30～50代は40%に届かず、他年代に比べ低い。〔図4-19〕


〔図 4-18〕



〔図 4-19〕



5. 投資信託購入状況 (現在保有層・保有経験層)



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（1）投資信託購入の際の重視点〔Q7①：最大3項目回答〕

- 購入時重視点は、「安全性の高さ」(47.4%)が前回(44.5%)より2.9ポイント増加し、最も高くなる。次いで「値上がりへの期待」(36.5%)、「過去の運用実績」(25.7%)が前回同様に上位に続く。〔図5-1〕
- 年代別で見ると、「安全性の高さ」「過去の分配金額」「分配頻度」は高齢層ほど重視し、「手数料などの水準」「過去の運用実績」は反対に若年層ほど重視する様子。〔図5-2〕
- 投信の現在保有層は、保有経験層に比べ「分配頻度」「過去の分配金額」「手数料などの水準」「純資産額の大きさ」をやや重視している。〔図5-3〕

〔図 5-1〕

	n=	安全性の高さ	値上がりへの期待	過去の運用実績	分配頻度	手数料や運用管理費用の水準	過去の分配金額	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	その他	特にない
2017年	(4713)	47.4	36.5	25.7	11.4	11.1	11.0	9.7	9.0	7.4	5.3	5.2	1.3	13.3
2016年	(4914)	44.5	37.9	23.9	11.2	9.6	11.9	10.6	8.4	6.7	6.1	4.6	1.2	14.0

〔図 5-2〕

	n=	安全性の高さ	値上がりへの期待	過去の運用実績	分配頻度	手数料や運用管理費用の水準	過去の分配金額	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	その他	特にない
TOTAL	(4713)	47.4	36.5	25.7	11.4	11.1	11.0	9.7	9.0	7.4	5.3	5.2	1.3	13.3
性別														
男性	(2590)	42.8	38.7	28.3	10.9	12.5	11.3	9.7	7.4	8.4	4.5	5.9	0.8	12.5
女性	(2123)	53.1	33.9	22.5	12.0	9.4	10.6	9.6	10.9	6.3	6.3	4.5	1.8	14.3
年代別														
20代	(210)	40.5	32.4	30.5	6.2	18.1	5.7	13.8	11.9	7.6	2.9	5.7	0.0	13.3
30代	(488)	42.4	32.2	29.3	9.6	14.5	7.4	7.2	9.6	6.8	4.5	5.7	0.8	16.4
40代	(644)	43.9	32.8	24.8	9.5	15.7	8.7	5.6	9.0	9.3	5.1	5.0	1.6	12.9
50代	(783)	46.4	39.1	28.1	6.9	9.3	9.6	9.6	9.2	8.0	4.1	5.7	1.5	14.0
60代	(1308)	48.6	37.5	25.8	13.6	9.9	12.7	9.9	9.4	8.0	6.0	5.0	1.1	13.8
70代	(1280)	51.7	38.3	22.3	14.3	8.7	13.5	11.8	7.7	5.9	6.1	5.0	1.4	11.4
世帯年収別														
100万円未満	(128)	39.1	25.8	19.5	14.8	8.6	11.7	8.6	9.4	6.3	7.8	7.0	0.8	19.5
～300万円未満	(735)	52.8	34.7	20.8	12.2	10.1	10.3	9.5	9.0	6.4	6.3	4.5	2.0	13.3
～500万円未満	(1112)	50.5	38.8	26.1	13.8	10.7	12.4	11.3	8.7	6.7	5.2	4.5	1.2	10.7
～1000万円未満	(1315)	45.9	40.0	29.0	10.4	12.5	10.8	10.4	8.4	8.9	5.3	6.3	1.4	9.6
1000万円以上	(436)	41.3	40.8	27.8	10.1	15.6	11.0	8.0	12.4	9.4	4.4	6.9	0.2	7.6

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（1）投資信託購入の際の重視点〔Q7①：最大3項目回答〕

〔図 5-3〕

			n=	安全性 の高さ	値上がり への期 待	過去の 運用実 績	分配頻 度	手数料 や運用 管理費 用の水 準	過去の 分配金 額	換金のし やすさ	商品内 容のわか りやすさ	商品コン セプト	評価会 社による 評価	純資産 額の大き さ	その他	特にな い	(%)
TOTAL			(4713)	47.4	36.5	25.7	11.4	11.1	11.0	9.7	9.0	7.4	5.3	5.2	1.3	13.3	
投資信託 保有状況別	保有層・ 保有経験層	現在保有層	(3116)	45.2	36.1	26.3	13.7	12.3	12.2	7.6	7.7	8.2	5.0	6.4	1.3	12.3	
		保有経験層 (現在非保有)	(1597)	51.8	37.3	24.4	6.8	8.9	8.6	13.7	11.5	6.1	5.9	3.1	1.2	15.3	
投資信託 現在保有 種類別	株式投資信託保有層		(1915)	47.7	41.8	30.1	13.8	14.6	11.7	8.9	7.8	8.8	5.4	7.7	1.1	6.3	
	その他投資信託保有層		(766)	47.0	33.4	24.5	16.6	9.8	17.0	6.8	10.2	8.9	5.6	6.3	1.3	8.1	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（1）今後、投資信託購入の際に重視したい点〔Q7②：最大3項目回答〕

- 今後の重視点では前回と大きな差はみられず、「安全性の高さ」(50.1%)、「値上がりへの期待」(35.8%)、「運用実績」(24.2%)が上位にあがる。また僅かだが購入時重視点に比べ、「安全性の高さ」「手数料などの水準」が高く、「分配頻度」「過去の分配金額」が低い。〔図5-4〕
- 年代別でみると、「安全性の高さ」は高齢層ほど高く、70代では「過去の分配金額」「分配頻度」も高い。一方で「過去の運用実績」「手数料などの水準」は反対に若年層ほど高く、40代以下の年代では、僅かだが「商品内容の分かりやすさ」「純資産額の大きさ」も高くなる。〔図5-5〕
- 投信の現在保有層では「値上がりへの期待」「分配頻度の多さ」「商品コンセプト」が、保有経験層では「換金のしやすさ」が他層よりやや高い。〔図5-6〕

〔図 5-4〕

	n=	安全性の高さ	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	過去の分配金額	分配頻度	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	その他	特にない
2017年	(4713)	50.1	35.8	24.2	14.2	11.3	9.7	8.7	8.5	7.3	5.7	5.6	0.4	16.2
2016年	(4914)	49.0	35.9	22.1	12.4	11.7	9.0	9.1	8.3	6.4	5.8	5.3	1.0	17.0

〔図 5-5〕

	n=	安全性の高さ	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	過去の分配金額	分配頻度	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	その他	特にない	
TOTAL	(4713)	50.1	35.8	24.2	14.2	11.3	9.7	8.7	8.5	7.3	5.7	5.6	0.4	16.2	
性別	男性	(2590)	45.3	38.5	26.3	16.6	11.5	7.7	9.0	8.2	5.2	6.4	0.2	14.4	
	女性	(2123)	56.1	32.6	21.8	11.4	11.0	12.2	8.3	8.0	6.3	4.6	0.6	18.4	
年代別	20代	(210)	37.6	38.6	26.2	22.9	12.9	11.9	7.6	7.6	6.2	7.1	0.0	13.3	
	30代	(488)	44.3	37.3	29.3	19.9	9.0	11.3	7.2	8.0	5.1	7.6	0.2	13.7	
	40代	(644)	46.4	37.9	24.8	18.2	9.3	11.5	6.7	8.2	5.6	7.3	0.3	13.7	
	50代	(783)	52.9	37.0	27.3	14.8	10.2	9.2	7.4	5.9	8.2	5.2	0.4	15.3	
	60代	(1308)	50.3	33.5	22.2	13.4	11.4	9.1	9.6	8.4	7.3	5.7	5.4	0.5	19.3
	70代	(1280)	54.5	35.4	21.8	9.2	13.4	8.8	10.4	10.7	4.8	5.1	4.1	0.4	16.2
	世帯年収別	100万円未満	(128)	39.1	28.1	20.3	13.3	10.9	7.8	7.8	10.9	3.9	4.7	5.5	0.8
～300万円未満		(735)	56.2	31.8	20.1	10.9	12.5	10.2	9.1	9.7	5.0	5.2	4.6	0.5	17.7
～500万円未満		(1112)	51.3	36.8	24.6	15.0	12.4	10.0	10.3	9.2	6.9	4.4	5.3	0.4	14.8
～1000万円未満		(1315)	51.1	39.8	28.4	16.0	11.6	9.4	8.9	7.3	8.6	6.5	6.5	0.1	9.8
1000万円以上		(436)	47.7	40.4	24.3	18.6	10.8	11.0	8.7	7.3	10.8	7.3	6.0	0.0	9.9

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（1）今後、投資信託購入の際に重視したい点〔Q7②：最大3項目回答〕

〔図 5-6〕

			n=	安全性 の高さ	値上がり への期 待	過去の 運用実 績	手数料 や運用 管理費 用の水 準	換金のし やすさ	商品内 容のわか りやすさ	過去の 分配金 額	分配頻 度	商品コン セプト	評価会 社による 評価	純資産 額の大き さ	その他	特にな い	(%)
TOTAL			(4713)	50.1	35.8	24.2	14.2	11.3	9.7	8.7	8.5	7.3	5.7	5.6	0.4	16.2	
投資 信託 状況 別	保有層・ 保有経験層	現在保有層	(3116)	49.3	37.6	25.1	15.1	9.4	9.2	8.9	10.2	8.6	5.4	6.9	0.4	13.1	
		保有経験層 (現在非保有)	(1597)	51.8	32.3	22.5	12.6	14.9	10.8	8.3	5.2	4.9	6.4	3.1	0.4	22.2	
投資 信託 種類 別	株式投資信託保有層		(1915)	50.1	42.7	28.6	18.3	9.4	8.7	8.9	10.7	9.0	6.1	8.2	0.3	7.5	
	その他投資信託保有層		(766)	55.5	34.7	24.2	12.9	11.5	11.1	11.9	11.7	9.7	5.5	6.5	0.5	8.6	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（2）分配金の特徴認知状況〔Q9:重複回答〕

- 分配金の特徴認知は前回とほとんど差がみられず、「運用成績によって変動」(71.5%)が突出。「運用成績が良くない時は支払われない場合がある」(54.6%)、「投資信託の決算ごとに支払われる」(45.0%)が上位に続く。〔図5-7〕
- 「運用成績で変動」「支払われない場合がある」は、年代が上がるにつれ認知率も高くなる。〔図5-8〕

〔図 5-7〕

	n=	分配金額は、 運用成績に よって変動する	運用成績が 良くない時は分配 金が支払われない 場合がある	分配金は 投資信託の 決算ごとに 支払われる	分配金として 元本の一部が 払い戻される こともある	分配金が支払わ れた額だけ、 基準価額が下がる	この中で 知っている ものはない (%)
2017年	(4713)	71.5	54.6	45.0	37.1	31.7	15.4
2016年	(4914)	71.5	54.0	47.0	36.4	31.5	15.5

〔図 5-8〕

		n=	71.5	54.6	45.0	37.1	31.7	15.4 (%)
TOTAL		(4713)	71.5	54.6	45.0	37.1	31.7	15.4
性別	男性	(2590)	70.3	54.8	47.6	39.5	34.5	16.0
	女性	(2123)	73.1	54.3	41.9	34.1	28.3	14.7
年代別	20代	(210)	58.6	47.1	41.9	39.0	26.7	20.0
	30代	(488)	58.6	44.7	42.2	33.0	30.7	25.4
	40代	(644)	70.2	54.7	50.0	35.6	31.2	15.8
	50代	(783)	71.5	54.2	45.5	35.6	30.9	16.7
	60代	(1308)	74.5	56.7	46.3	39.6	33.7	14.1
	70代	(1280)	76.2	57.7	42.6	37.5	31.5	11.3
世帯年収別	100万円未満	(128)	62.5	46.1	40.6	35.2	30.5	20.3
	～300万円未満	(735)	69.5	50.5	40.3	33.3	28.7	15.9
	～500万円未満	(1112)	73.6	57.9	44.1	37.0	31.6	13.6
	～1000万円未満	(1315)	74.1	56.4	49.1	39.4	32.3	12.5
	1000万円以上	(436)	75.7	60.8	53.4	44.0	39.4	11.0

〔図 5-9〕

		n=	71.5	54.6	45.0	37.1	31.7	15.4 (%)
TOTAL		(4713)	71.5	54.6	45.0	37.1	31.7	15.4
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層 (3116)	74.7	57.8	49.8	42.4	37.2	12.7
	保有経験層 (現在非保有)	(1597)	65.3	48.3	35.8	26.8	20.9	20.8
投資信託保有種類別	株式投資信託保有層	(1915)	78.1	61.7	55.1	45.3	40.8	8.7
	その他投資信託保有層	(766)	79.5	62.5	49.9	47.1	39.9	7.6

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（2）分配金の特徴認知状況〔Q9:重複回答〕

〔図 5-10〕

		分配金額は、 運用成績に よって変動する	運用成績が 良くない時は分配 金が支払われない 場合がある	分配金は 投資信託の 決算ごとに 支払われる	分配金として 元本の一部が 払い戻される こともある	分配金が支払わ れた額だけ、 基準価額が下がる	この中で 知っている ものはない (%)
n=							
毎月 分配 型層 投資 年代 別	TOTAL (1450)	83.9	67.4	58.1	54.8	48.5	4.1
	20代 (70)	61.4	57.1	52.9	42.9	31.4	4.3
	30代 (125)	72.8	54.4	56.8	48.0	48.0	8.0
	40代 (175)	84.0	72.6	72.0	50.9	42.9	5.1
	50代 (194)	86.6	75.8	59.3	54.6	55.2	5.7
	60代 (440)	86.4	67.7	59.8	59.5	53.6	4.1
	70代 (446)	87.0	66.8	51.6	55.6	45.5	2.0

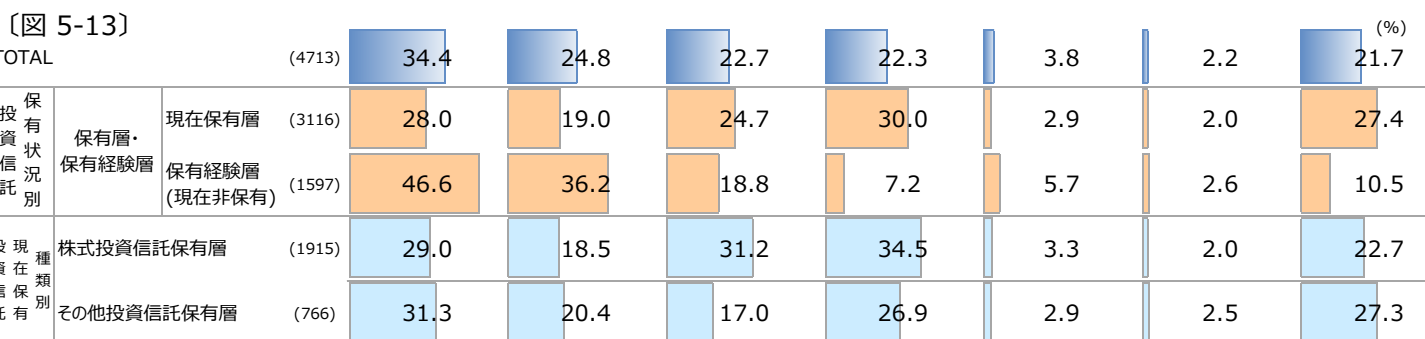
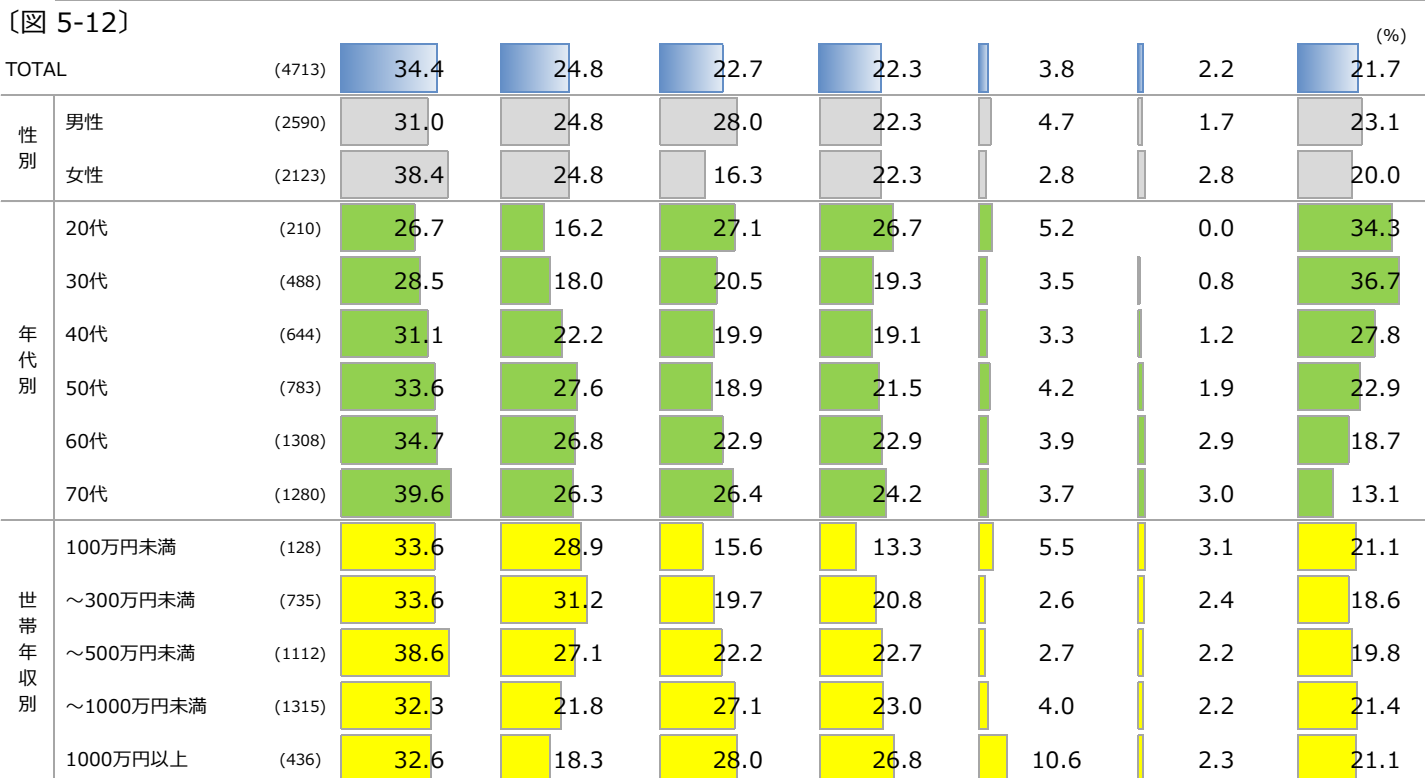
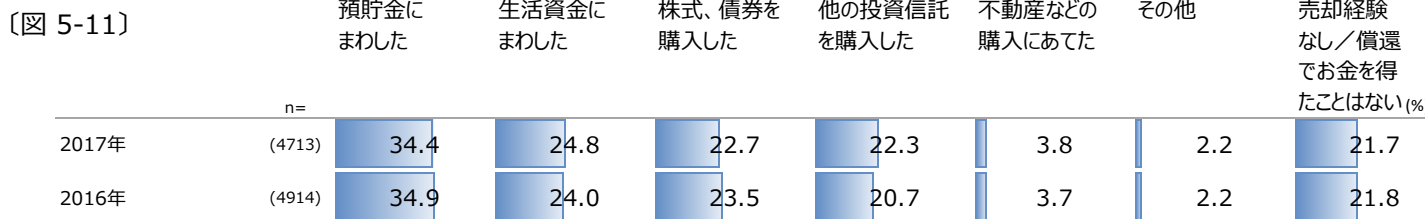
5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(3) 償還・売却資金の流出先〔Q10:重複回答〕

- 投資信託の償還・売却資金流出先は、「預貯金」(34.4%)、「生活資金」(24.8%)、「株式・債券の購入」(22.7%)、「他の投資信託の購入」(22.3%)が、それぞれ前回と同程度で上位にあがる。

〔図5-11〕

- 年代別で見ると、年代が上がるほど「預貯金」「生活資金」への流出が多くなる。〔図5-12〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（3）償還・売却資金の流出先〔Q10:重複回答〕

〔図 5-14〕

		n=	預貯金に まわした	生活資金に まわした	株式、債券を 購入した	他の投資信託 を購入した	不動産などの 購入にあてた	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない ^(%)
2017年		(4713)	34.4	24.8	22.7	22.3	3.8	2.2	21.7
20代	100万円未満	(9)	44.4	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3
	～300万円未満	(25)	20.0	12.0	28.0	28.0	0.0	0.0	32.0
	～500万円未満	(63)	25.4	22.2	22.2	31.7	3.2	0.0	33.3
	～1000万円未満	(63)	25.4	17.5	36.5	27.0	11.1	0.0	23.8
	1000万円以上	(17)	23.5	5.9	23.5	23.5	11.8	0.0	52.9
30代	100万円未満	(9)	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	55.6
	～300万円未満	(40)	40.0	25.0	7.5	12.5	0.0	0.0	32.5
	～500万円未満	(98)	28.6	21.4	15.3	20.4	3.1	0.0	36.7
	～1000万円未満	(193)	28.5	15.5	28.0	21.8	4.1	1.0	35.2
	1000万円以上	(56)	25.0	16.1	26.8	26.8	7.1	1.8	28.6
40代	100万円未満	(16)	50.0	25.0	12.5	25.0	6.3	0.0	18.8
	～300万円未満	(23)	30.4	30.4	8.7	8.7	0.0	0.0	39.1
	～500万円未満	(98)	33.7	23.5	16.3	11.2	0.0	1.0	29.6
	～1000万円未満	(265)	29.4	20.0	21.9	18.1	3.0	1.9	26.0
	1000万円以上	(96)	30.2	22.9	27.1	29.2	9.4	2.1	21.9
50代	100万円未満	(23)	39.1	43.5	13.0	8.7	13.0	4.3	8.7
	～300万円未満	(69)	36.2	29.0	17.4	17.4	5.8	1.4	26.1
	～500万円未満	(101)	32.7	35.6	13.9	26.7	3.0	2.0	16.8
	～1000万円未満	(273)	32.2	25.3	24.9	20.9	3.7	1.8	22.7
	1000万円以上	(129)	34.1	23.3	18.6	22.5	7.0	2.3	24.0
60代	100万円未満	(40)	32.5	32.5	15.0	15.0	5.0	5.0	17.5
	～300万円未満	(253)	34.0	36.0	17.0	19.0	2.0	2.4	17.0
	～500万円未満	(325)	36.9	27.4	22.2	20.3	3.4	1.5	21.8
	～1000万円未満	(289)	31.1	24.9	28.7	26.6	3.5	3.8	15.2
	1000万円以上	(83)	34.9	10.8	41.0	32.5	13.3	2.4	14.5
70代	100万円未満	(31)	25.8	22.6	19.4	9.7	3.2	0.0	22.6
	～300万円未満	(325)	33.2	30.2	24.0	24.3	3.1	3.4	14.2
	～500万円未満	(427)	46.6	27.6	27.2	25.3	2.6	3.7	10.8
	～1000万円未満	(232)	42.2	22.4	30.6	26.3	3.9	2.6	9.9
	1000万円以上	(55)	40.0	16.4	34.5	25.5	20.0	3.6	5.5

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（4）投資信託の優れていると感じる点〔Q11①：重複回答〕

- 「専門知識がなくても投資ができる」(39.5%)、「積立投資ができる」(20.3%)が共に2ポイントと僅かではあるが、前回より増加する。魅力点上位は前回と変わらず、「少額でも分散投資ができる」(39.8%)、「専門知識がなくても投資ができる」(39.5%)、「定期的に分配金が受け取れる」(29.9%)があがる。〔図5-15〕
- 年代別でみると、若年層ほど「少額から分散投資ができる」「少額でも投資の面白味がある」「積立投資ができる」が高く、高齢層ほど「定期的に分配金が受け取れる」「分配金が自動的に再投資される商品がある」「購入手続きが簡単」が高くなる。また50代以上では「比較的高い利回りが期待できる」が、40代以下では「手数料が比較的安い」が高くなる傾向。〔図5-16〕
- 投信の現在保有層は保有経験層に比べどの項目も高くなるが、中でも「少額でも分散投資ができる」「専門知識がなくても投資ができる」「定期的に分配金が受け取れる」「分配金が自動的に再投資される商品がある」が高くなる〔図5-17〕

〔図 5-15〕

	n=	少額でも分散投資ができる	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも投資の面白味がある	積立投資ができる	分配金が自動的に再投資される商品がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	海外投資が手軽にできる	手数料が比較的安い	購入後の運用に関する情報が	その他	わからない・特にな	(%)
2017年	(4713)	39.8	39.5	29.9	23.4	22.4	20.3	19.1	19.0	17.4	10.1	7.4	4.7	0.2	19.0	
2016年	(4914)	38.1	37.5	30.0	22.9	21.6	18.3	17.7	18.8	16.2	8.3	6.7	4.2	0.3	21.6	

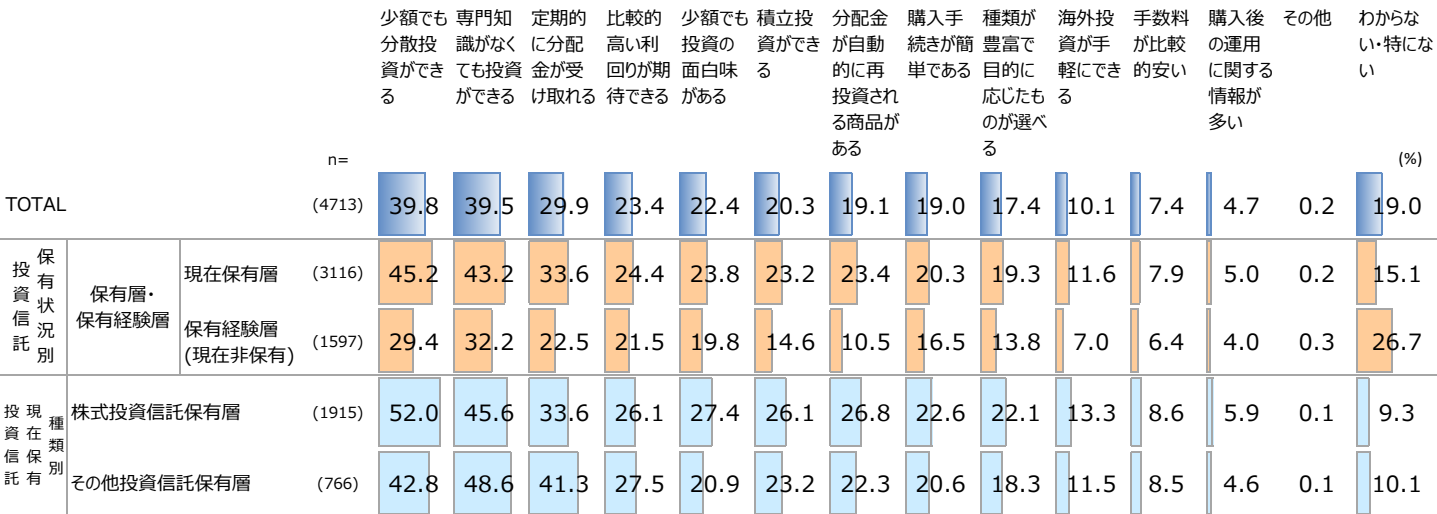
〔図 5-16〕

	n=	少額でも分散投資ができる	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも投資の面白味がある	積立投資ができる	分配金が自動的に再投資される商品がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	海外投資が手軽にできる	手数料が比較的安い	購入後の運用に関する情報が	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(4713)	39.8	39.5	29.9	23.4	22.4	20.3	19.1	19.0	17.4	10.1	7.4	4.7	0.2	19.0	
性別	男性	(2590)	44.6	38.5	25.9	23.5	24.9	20.5	19.5	19.0	20.2	10.8	8.5	5.3	0.1	17.7
	女性	(2123)	34.1	40.7	34.7	23.4	19.5	20.1	18.5	19.1	14.1	9.1	6.1	3.9	0.3	20.7
年代別	20代	(210)	60.0	34.3	10.5	11.0	33.3	25.2	13.8	17.1	17.1	7.6	10.0	4.3	0.0	13.3
	30代	(488)	55.1	38.5	16.4	15.8	27.7	27.5	16.2	15.0	18.0	9.6	10.7	4.5	0.2	17.2
	40代	(644)	47.2	38.7	18.5	17.9	23.1	21.7	14.8	15.4	17.5	11.2	10.1	4.5	0.3	16.1
	50代	(783)	41.0	37.7	26.4	27.5	23.8	21.6	16.6	18.5	15.7	8.2	7.0	4.5	0.0	19.5
	60代	(1308)	33.6	39.3	35.4	27.6	21.1	18.4	20.9	20.9	18.1	10.7	6.9	4.5	0.3	21.3
	70代	(1280)	32.7	42.4	40.3	24.5	18.8	17.2	22.7	21.0	17.6	10.6	5.2	5.2	0.2	19.5
世帯年収別	100万円未満	(128)	28.9	30.5	27.3	14.8	17.2	14.1	18.0	12.5	16.4	7.0	5.5	2.3	0.0	25.8
	～300万円未満	(735)	36.3	39.2	33.3	21.6	20.5	18.5	16.7	19.0	13.6	7.9	6.0	4.5	0.3	21.4
	～500万円未満	(1112)	39.5	42.4	33.0	25.8	22.5	20.8	21.1	20.4	18.7	10.6	8.0	4.7	0.2	15.8
	～1000万円未満	(1315)	45.9	41.2	29.0	24.8	24.5	22.9	20.8	20.9	19.0	11.0	8.1	5.1	0.2	14.2
	1000万円以上	(436)	47.2	43.6	24.3	25.5	27.1	24.5	18.3	22.2	22.2	12.8	10.6	6.7	0.2	13.5

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（4）投資信託の優れていると感じる点〔Q11①：重複回答〕

〔図 5-17〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（4）投資信託で特に魅力を感じる点〔Q11②：単数回答〕

- 投資信託で特に魅力を感じる点としては、「専門知識がなくても投資できる」(18.3%)、「少額でも分散投資できる」(15.2%)、「定期的に分配金が受け取れる」(12.8%)がいずれも前回と同程度で上位となる。〔図5-18〕
- 年代別では、若年層ほど「少額でも分散投資できる」「少額でも投資の面白味がある」「積立投資できる」が高く、高齢層ほど「専門知識がなくても投資できる」「定期的に分配金が受け取れる」が高い。また50代以上では、「比較的高い利回りが期待できる」が高くなる傾向。〔図5-19〕
- 投信の現在保有層は保有経験層に比べ、「定期的に分配金が受け取れる」「少額でも分散投資ができる」がやや高くなる。〔図5-20〕

〔図 5-18〕

	n=	専門知識がなくても投資できる	少額でも分散投資できる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも投資の面白味がある	積立投資ができる	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	購入手続きが簡単である	分配金が自動的に再投資される商品がある	手数料が比較的安い	海外投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多	その他	わからない・特にな	(%)
2017年	(4713)	18.3	15.2	12.8	10.7	6.9	5.6	3.4	2.4	2.3	1.4	1.4	0.3	0.2	19.0	
2016年	(4914)	17.5	15.4	13.0	10.2	6.6	4.6	3.2	2.5	2.2	1.2	1.3	0.5	0.2	21.6	

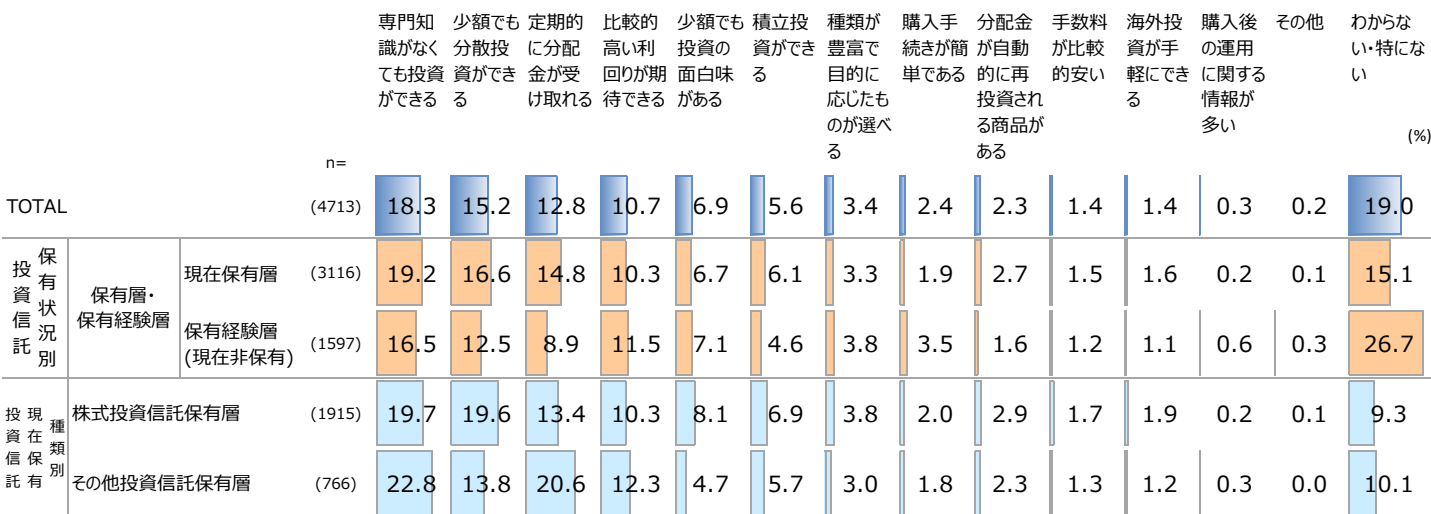
〔図 5-19〕

	n=	専門知識がなくても投資できる	少額でも分散投資できる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも投資の面白味がある	積立投資ができる	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	購入手続きが簡単である	分配金が自動的に再投資される商品がある	手数料が比較的安い	海外投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL	(4713)	18.3	15.2	12.8	10.7	6.9	5.6	3.4	2.4	2.3	1.4	1.4	0.3	0.2	19.0	
性別																
男性	(2590)	17.6	18.0	9.7	10.8	8.1	5.9	4.1	2.3	2.4	1.5	1.6	0.3	0.1	17.7	
女性	(2123)	19.2	11.8	16.6	10.6	5.4	5.3	2.6	2.6	2.2	1.4	1.1	0.3	0.3	20.7	
年代別																
20代	(210)	14.3	29.0	4.3	4.8	12.9	9.5	2.9	1.9	2.9	1.4	2.4	0.5	0.0	13.3	
30代	(488)	15.8	27.3	5.1	6.4	9.0	8.2	3.7	1.0	2.0	2.0	1.6	0.6	0.0	17.2	
40代	(644)	18.6	22.4	6.7	8.2	7.6	7.3	4.2	3.0	1.4	2.3	1.7	0.2	0.3	16.1	
50代	(783)	17.2	15.5	9.3	14.7	7.0	7.2	3.6	2.6	1.7	1.4	0.1	0.3	0.0	19.5	
60代	(1308)	18.6	11.2	15.7	12.4	5.2	4.2	3.3	2.5	2.5	1.1	1.2	0.3	0.3	21.3	
70代	(1280)	20.1	8.6	19.3	10.5	6.3	3.7	3.1	2.7	2.9	1.0	2.0	0.3	0.2	19.5	
世帯年収別																
100万円未満	(128)	16.4	14.1	15.6	4.7	3.9	3.1	1.6	3.1	3.9	3.9	2.3	1.6	0.0	25.8	
～300万円未満	(735)	18.4	12.4	15.6	9.3	7.1	5.6	2.4	3.0	1.8	1.1	1.5	0.3	0.3	21.4	
～500万円未満	(1112)	18.7	14.8	15.3	11.6	6.8	4.8	3.7	2.3	2.5	1.2	1.9	0.4	0.2	15.8	
～1000万円未満	(1315)	20.5	17.3	10.6	11.7	7.0	6.5	4.3	2.4	2.7	1.4	1.1	0.2	0.1	14.2	
1000万円以上	(436)	18.3	21.3	5.7	12.8	8.5	7.8	3.2	2.3	1.8	1.6	2.3	0.5	0.2	13.5	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（4）投資信託で特に魅力を感じる点〔Q11②：単数回答〕

〔図 5-20〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（5）投資信託で不満に感じる点〔Q12①：重複回答〕

- いずれも微差だが、「元本保証がない」(51.5%)が前回より2.2ポイント減少し、「手数料が比較的高い」(26.5%)が2.7ポイント、「種類が多く選択に迷う」(17.4%)が2.5ポイント増加。不満点上位は前回と変わらず、「元本保証がない」(51.5%)、「仕組みや運用実績がわかりにくい」(26.5%)、「手数料が比較的高い」(26.5%)があがる。〔図5-21〕
- どの不満も高齢層ほど高くなる傾向だが、「手続きがわずらわしい」は若年層ほど高く、また「リターンが低い」は40代以下で高くなる傾向。〔図5-22〕
- 投信保有種類別では、株式投信保有層で「元本保証がない」が他層に比べ低く、「株式に比べ面白さに欠ける」が他層より高い。〔図5-23〕

〔図 5-21〕

	n=	元本保証がない	仕組みや運用実績がわかりにくい	手数料が比較的高い	専門知識がないと商品を選びにくい	リターンが低い	種類が多く選択に迷う	公社債に比べてリスクが高い	株式に比べて面白さに欠ける	購入後の運用に関する情報が少ない	クローズド期間がある	手続きがわずらわしい	近くに取扱い店舗が少ない	その他	わからない・特にな	(%)
2017年	(4713)	51.5	26.5	26.5	21.2	19.5	17.4	16.7	14.6	11.1	7.6	6.7	3.2	0.4	15.6	
2016年	(4914)	53.7	26.1	23.8	20.6	19.4	14.9	15.8	14.7	9.8	6.9	6.3	2.6	0.4	14.8	

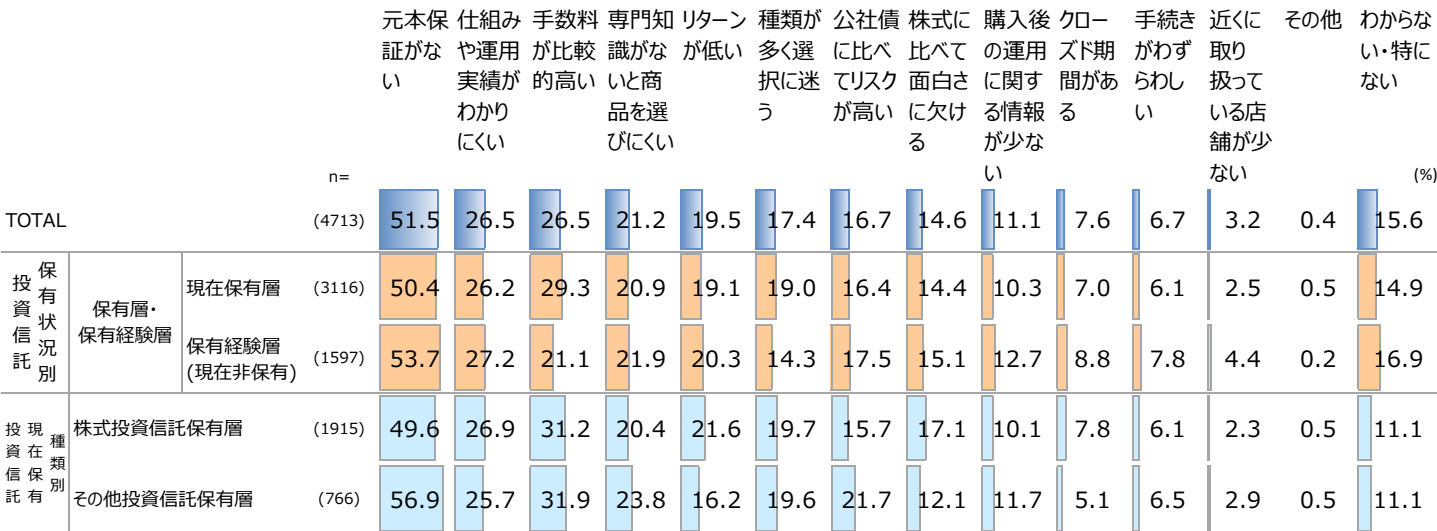
〔図 5-22〕

		n=	元本保証がない	仕組みや運用実績がわかりにくい	手数料が比較的高い	専門知識がないと商品を選びにくい	リターンが低い	種類が多く選択に迷う	公社債に比べてリスクが高い	株式に比べて面白さに欠ける	購入後の運用に関する情報が少ない	クローズド期間がある	手続きがわずらわしい	近くに取扱い店舗が少ない	その他	わからない・特にな	(%)
TOTAL		(4713)	51.5	26.5	26.5	21.2	19.5	17.4	16.7	14.6	11.1	7.6	6.7	3.2	0.4	15.6	
性別	男性	(2590)	42.0	23.4	26.7	16.9	22.2	15.6	14.1	17.6	9.7	6.7	5.0	2.6	0.5	17.6	
	女性	(2123)	63.0	30.4	26.3	26.5	16.1	19.5	20.0	11.0	12.9	8.8	8.7	3.8	0.2	13.1	
年代別	20代	(210)	31.0	18.6	16.2	16.7	20.5	17.1	9.5	12.4	5.7	6.2	14.8	4.3	0.5	19.0	
	30代	(488)	36.1	18.9	20.1	15.8	22.1	14.8	8.2	10.0	7.4	7.0	9.4	3.7	0.2	21.9	
	40代	(644)	46.1	21.4	24.5	19.7	23.1	19.3	10.4	11.8	7.6	8.1	9.2	2.0	0.2	16.1	
	50代	(783)	52.6	26.8	25.3	22.6	17.5	16.9	14.7	9.7	10.1	8.8	6.5	3.4	0.1	18.3	
	60代	(1308)	56.0	27.7	31.0	21.8	18.2	18.5	19.9	15.7	11.5	8.3	5.8	3.1	0.5	14.1	
	70代	(1280)	58.1	32.0	27.7	23.4	19.0	16.7	22.4	20.1	15.3	6.4	4.0	3.2	0.5	12.2	
世帯年収別	100万円未満	(128)	51.6	24.2	29.7	23.4	18.8	14.8	20.3	10.2	10.9	8.6	7.8	3.1	0.8	15.6	
	～300万円未満	(735)	57.3	30.2	27.9	23.0	19.5	15.1	20.5	15.2	11.3	7.8	6.4	3.1	0.1	13.3	
	～500万円未満	(1112)	54.4	28.4	25.6	22.5	19.3	17.7	18.4	16.2	13.8	7.4	6.2	4.1	0.4	13.5	
	～1000万円未満	(1315)	47.0	24.0	26.7	19.0	21.7	17.3	15.2	15.7	9.7	6.8	6.8	2.0	0.5	14.8	
	1000万円以上	(436)	44.3	23.2	26.6	16.1	19.3	18.3	11.5	15.6	8.9	6.4	6.7	3.0	0.2	13.1	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

(5) 投資信託で不満に感じる点〔Q12①：重複回答〕

〔図 5-23〕



5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（5）投資信託で特に不満を感じる点〔Q12②：単数回答〕

- 投信で特に不満を感じる点は、「元本保証がない」(30.2%)が前回より2.3ポイント減少するもののTOPとなる。次いで「手数料が比較的高い」(12.1%)があがる他は、いずれも10%に満たない反応。〔図5-24〕
- 年代別で見ると、高齢層ほど「元本保証がない」「公社債に比べリスクが高い」が増す傾向。反対に若年層ほど「手続きがわずらわしい」が増す傾向となる。また40代以下では「リターンが低い」との不満がやや高い。〔図5-25〕
- 投信保有種類別では、株式投信保有層で「元本保証がない」が他層より低くなる。〔図5-26〕

〔図 5-24〕

	n=	元本保証がない	手数料が比較的高い	仕組みや運用実績がわかりにくい	リターンが低い	専門知識がないと商品を選びにくい	株式に比べて面白くない	種類が多く選べない	公社債に比べリスクが高い	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに取扱いしている店舗が少ない	その他	わからない・特にない	(%)
2017年	(4713)	30.2	12.1	8.1	7.2	5.5	5.0	4.4	4.4	2.7	1.9	1.8	1.0	0.3	15.6	
2016年	(4914)	32.5	10.7	7.9	6.7	5.5	4.9	3.4	4.6	2.4	1.6	1.1	0.7	0.3	14.8	

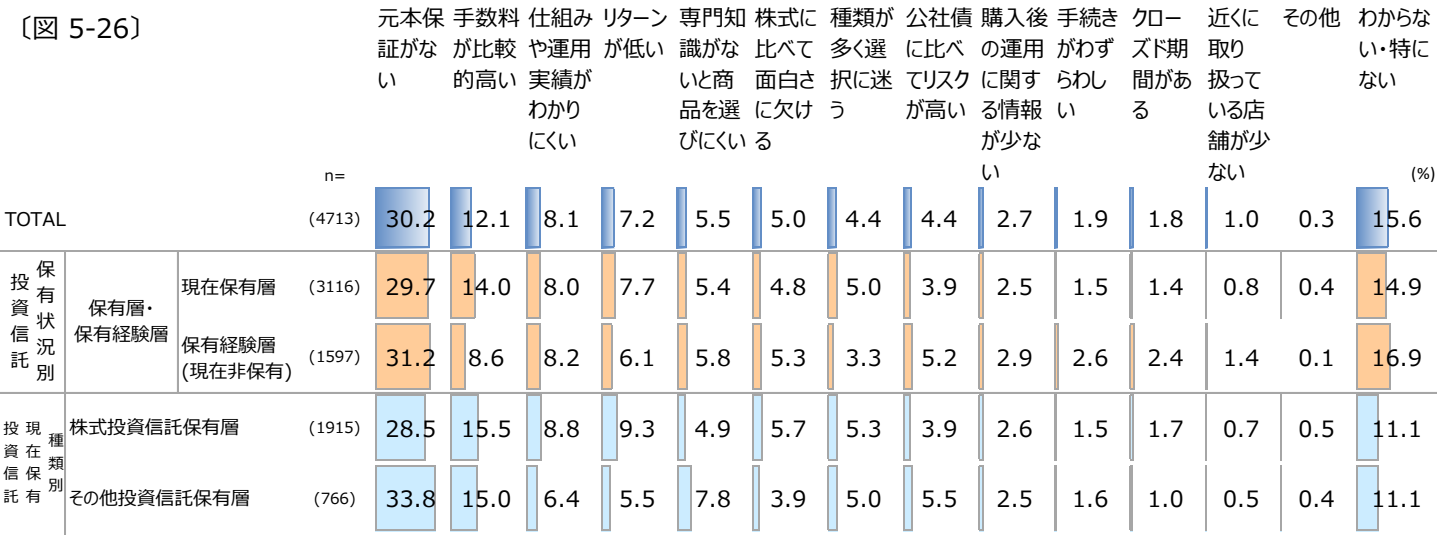
〔図 5-25〕

	n=	元本保証がない	手数料が比較的高い	仕組みや運用実績がわかりにくい	リターンが低い	専門知識がないと商品を選びにくい	株式に比べて面白くない	種類が多く選べない	公社債に比べリスクが高い	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに取扱いしている店舗が少ない	その他	わからない・特にない	(%)
TOTAL	(4713)	30.2	12.1	8.1	7.2	5.5	5.0	4.4	4.4	2.7	1.9	1.8	1.0	0.3	15.6	
性別	男性 (2590)	22.0	14.4	7.9	9.4	4.9	7.0	4.7	4.1	2.9	1.6	2.0	1.0	0.5	17.6	
	女性 (2123)	40.1	9.4	8.2	4.5	6.2	2.4	4.0	4.7	2.4	2.2	1.5	1.1	0.1	13.1	
年代別	20代 (210)	17.6	9.0	8.6	11.4	5.7	6.7	6.2	2.4	2.9	6.7	1.0	2.4	0.5	19.0	
	30代 (488)	22.5	11.9	8.2	11.3	5.1	3.7	4.5	2.5	1.6	3.3	2.5	0.8	0.2	21.9	
	40代 (644)	28.0	12.0	7.9	9.5	6.7	4.8	6.8	2.5	1.2	1.9	2.2	0.3	0.2	16.1	
	50代 (783)	32.7	11.4	6.6	6.0	6.1	4.0	4.1	4.1	2.4	1.7	1.7	0.9	0.1	18.3	
	60代 (1308)	32.0	14.5	7.0	5.9	4.5	4.7	4.1	5.0	2.8	1.8	2.2	1.0	0.4	14.1	
	70代 (1280)	32.9	10.9	10.0	5.8	5.6	6.2	3.4	5.9	3.7	0.8	1.0	1.3	0.5	12.2	
世帯年収別	100万円未満 (128)	34.4	12.5	7.0	4.7	7.8	3.1	3.1	7.0	0.8	1.6	0.8	0.8	0.8	15.6	
	～300万円未満 (735)	36.5	11.4	8.7	6.3	4.1	5.6	2.7	5.2	1.4	1.8	1.9	1.1	0.1	13.3	
	～500万円未満 (1112)	29.9	11.7	8.5	7.4	6.9	4.6	5.1	4.4	4.0	1.3	1.3	1.1	0.2	13.5	
	～1000万円未満 (1315)	26.9	14.6	7.9	8.7	5.4	5.8	4.6	4.0	2.2	2.1	1.8	0.8	0.5	14.8	
	1000万円以上 (436)	27.1	13.5	8.3	10.1	4.4	6.4	5.0	3.7	3.4	2.1	1.6	1.1	0.2	13.1	

5. 投資信託購入状況（現在保有層・保有経験層）

（5）投資信託で特に不満に感じる点〔Q12②：単数回答〕

〔図 5-26〕



6. 投資信託保有未経験者の状況 (金融資産保有未経験層を含む)



6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

（1）投資信託の非購入理由〔Q24:重複回答〕

- 投信保有未経験層の投信非購入理由は、前回同様に「興味がない」(46.4%)、「投資知識がない」(38.3%)、「投信の仕組みがよくわからない」(24.4%)、「損しそうで怖い」(22.5%)が上位に続く。〔図6-1〕
- 年代別で見ると、他年代に比べ30代で「興味がない」が低く、「投資知識がない」「投信の仕組みがわからない」「損しそうで怖い」「なんとなく機会がなかった」がやや高くなる。〔図6-2〕
- 投資信託保有状況別では、金融資産保有経験が無い層で「興味が無い」が約半数(49.0%)となる。〔図6-3〕

〔図 6-1〕

	n=	そもそも興味がない	投資の知識がない	投資信託の仕組みがよくわからない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	元本保証がない	手数料など費用が高い	少額で購入しづらい	なんとなく機会がなかった	富裕層が実施するものなので	商品の種類が多く自分では選択できない	値動きに気がとられるのが嫌	自分に合った投資信託を検討する時間的な余裕がない	株式と同様に値上がり・値下がりが激しいので	投資信託の存在がなかった	(%)
2017年	(15287)	46.4	38.3	24.4	22.5	19.5	19.4	10.6	8.4	8.0	6.0	5.7	5.6	5.5	5.4	5.0	
2016年	(15086)	48.0	36.5	23.4	21.6	19.1	19.8	9.7	8.6	8.3	5.5	5.8	6.0	5.5	5.7	4.2	

〔図 6-2〕

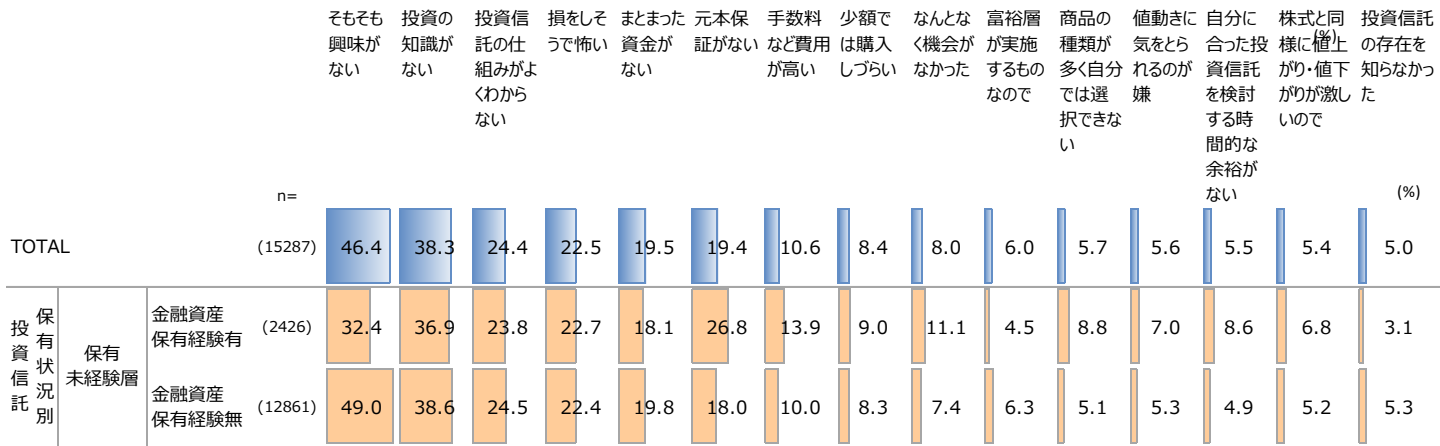
		n=	46.4	38.3	24.4	22.5	19.5	19.4	10.6	8.4	8.0	6.0	5.7	5.6	5.5	5.4	5.0	(%)
TOTAL		(15287)	46.4	38.3	24.4	22.5	19.5	19.4	10.6	8.4	8.0	6.0	5.7	5.6	5.5	5.4	5.0	
性別	男性	(7327)	45.7	33.0	19.8	18.0	19.3	17.1	11.0	8.5	9.2	5.0	4.8	5.0	5.5	4.4	5.2	
	女性	(7960)	47.1	43.3	28.6	26.6	19.8	21.4	10.3	8.3	6.8	6.9	6.5	6.2	5.4	6.4	4.7	
年代別	20代	(2537)	48.9	38.4	25.4	19.7	14.9	8.7	9.3	7.3	9.7	4.9	5.1	3.9	6.0	3.2	8.5	
	30代	(2951)	42.1	46.3	29.7	26.7	19.5	16.4	10.5	8.6	10.8	6.9	5.9	6.4	6.9	4.7	6.5	
	40代	(3254)	44.1	39.8	25.9	24.0	22.1	19.6	11.6	9.1	7.9	7.1	6.3	6.5	5.9	5.6	4.5	
	50代	(2447)	47.0	35.8	22.4	22.2	21.5	25.3	11.5	8.5	6.4	5.8	4.6	5.2	5.4	6.1	4.2	
	60代	(2456)	50.6	33.9	20.5	20.9	18.9	25.0	10.6	7.7	5.7	5.4	5.7	6.3	4.2	6.7	2.4	
	70代	(1642)	47.6	31.7	18.7	18.8	20.0	23.4	9.5	9.5	6.2	5.3	6.6	4.6	3.2	6.9	2.8	
世帯年収別	100万円未満	(766)	50.5	34.2	21.0	21.4	18.5	14.5	12.0	8.5	6.9	4.7	3.5	4.8	3.7	5.7	6.5	
	～300万円未満	(2526)	45.8	40.0	24.9	23.4	24.9	20.0	11.2	9.3	6.3	7.8	5.5	4.6	4.5	5.8	6.0	
	～500万円未満	(3127)	41.8	43.3	27.4	24.0	22.6	21.4	10.0	9.7	8.8	6.7	6.6	5.6	5.5	5.7	4.8	
	～1000万円未満	(3107)	39.1	41.4	26.4	25.7	21.8	23.1	11.2	10.1	10.0	6.6	6.9	7.7	8.3	5.5	4.4	
	1000万円以上	(655)	36.3	35.1	20.8	21.1	14.4	20.3	9.8	7.5	11.3	4.1	7.5	6.4	9.9	4.4	4.4	

※TOTALで5ポイント以上を抜粋

6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

(1) 投資信託の非購入理由〔Q24:重複回答〕

〔図 6-3〕



※TOTALで5ポイント以上を抜粋

6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

（2）投資信託購入検討のきっかけ〔Q25:重複回答〕

- 投資信託購入検討のきっかけは、前回同様に目立って高い項目はみられず分散傾向。上位には「手取りが増えたら」(21.4%)、「金融や投資を理解できたら」(21.3%)、「身近な人に勧められたら」(20.4%)があがる。〔図6-4〕
- 年代別では、40代以下で「手取り増加」「金融や投資を理解できたら」「身近な人に勧められたら」が高くなる。また若年層ほど「貯蓄が一定額に達したら」「専門家に教えてもらえたら」「初心者セミナーなどがあれば」が高くなる傾向。また40代、50代では僅かに「退職金など臨時収入があったら」が高い。〔図6-5〕
- 投資信託保有状況別でみると、金融資産の保有経験がある層では「低リスク／手数料の低い商品が充実」が、保有経験のない層では「手取り増加」「身近な人の勧め」が他層に比べやや高い。〔図6-6〕

〔図 6-4〕

	n=	手取り 収入が 増えたら	金融や 投資を 勉強して 理解で きたら	身近な 人に勧 められた ら	税制上 の優遇 措置が より拡充 してき たら	貯蓄が 一定額 に達し たら	低リスク の投資 信託商 品が充 実して きたら	経済が 上向き になり 値上が りが期 待でき るよう になっ たら	金融機 関など 専門知 識を持 つ人に 教えて もらえ たら	初心者 向けセ ミナー など説 明して もらえ る機会 があ れば	手数料 の低い 投資信 託商品 が充実 してき たら	退職金・ その他 相続な どの臨 時収入 があっ たら	その他 (%)
2017年	(15287)	21.4	21.3	20.4	16.3	16.0	14.4	13.9	13.7	13.6	10.0	6.7	11.2
2016年	(15086)	21.2	21.6	19.8	15.4	15.1	14.2	14.5	13.2	13.5	9.8	6.1	11.6

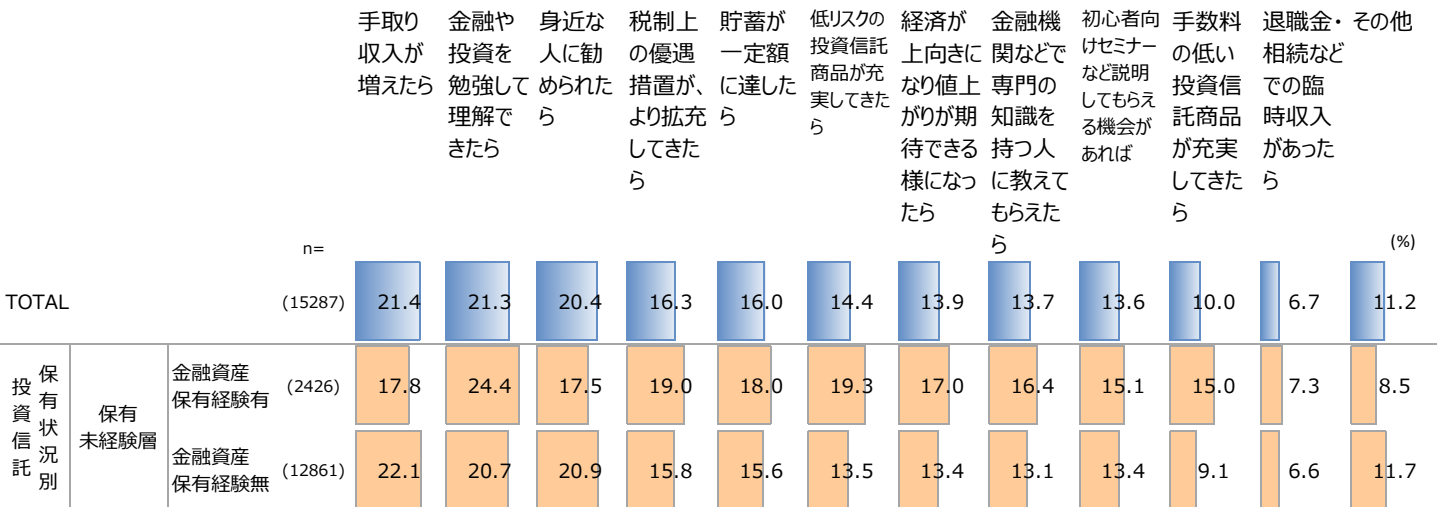
〔図 6-5〕

	n=	手取り 収入が 増えたら	金融や 投資を 勉強して 理解で きたら	身近な 人に勧 められた ら	税制上 の優遇 措置が より拡充 してき たら	貯蓄が 一定額 に達し たら	低リスク の投資 信託商 品が充 実して きたら	経済が 上向き になり 値上が りが期 待でき るよう になっ たら	金融機 関など 専門知 識を持 つ人に 教えて もらえ たら	初心者 向けセ ミナー など説 明して もらえ る機会 があ れば	手数料 の低い 投資信 託商品 が充実 してき たら	退職金・ その他 相続な どの臨 時収入 があっ たら	その他 (%)
TOTAL	(15287)	21.4	21.3	20.4	16.3	16.0	14.4	13.9	13.7	13.6	10.0	6.7	11.2
性別	男性 (7327)	23.7	20.3	17.9	19.6	18.0	12.9	13.9	13.0	12.7	9.8	6.9	11.0
	女性 (7960)	19.3	22.2	22.7	13.2	14.1	15.8	14.0	14.2	14.5	10.2	6.5	11.4
年代別	20代 (2537)	23.6	22.6	28.9	17.9	18.2	12.4	11.6	15.9	16.6	9.0	3.9	8.6
	30代 (2951)	26.5	24.2	28.1	15.0	18.6	14.6	14.0	16.6	16.9	10.7	6.6	8.4
	40代 (3254)	27.3	23.4	21.3	15.5	16.5	13.7	14.1	13.6	13.7	10.5	8.2	9.3
	50代 (2447)	19.9	20.4	13.7	16.1	15.2	15.6	14.6	12.6	11.6	9.1	9.5	11.8
	60代 (2456)	12.4	17.5	11.6	17.7	13.7	16.0	15.6	10.9	10.5	10.6	6.3	16.2
	70代 (1642)	12.7	16.9	14.4	16.0	11.6	14.4	13.6	10.8	10.7	9.9	4.5	15.6
世帯 年収別	100万円未満 (766)	19.5	18.1	19.1	15.7	13.7	11.9	14.0	10.7	12.4	8.2	5.1	12.9
	～300万円未満 (2526)	24.5	18.0	17.9	13.6	15.9	13.5	13.7	13.0	12.4	9.7	6.5	11.4
	～500万円未満 (3127)	23.2	22.9	22.9	15.7	19.4	14.8	13.9	15.0	15.2	11.1	7.3	8.4
	～1000万円未満 (3107)	22.9	25.2	23.5	15.5	20.0	17.2	14.9	16.4	15.7	11.4	8.6	7.4
	1000万円以上 (655)	17.1	26.9	22.4	16.5	18.2	15.0	14.8	18.9	17.9	11.8	8.1	7.8

6. 投資信託保有未経験者の状況（金融資産保有未経験層を含む）

（2）投資信託購入検討のきっかけ〔Q25:重複回答〕

〔図 6-6〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（1）投資信託の商品特徴認知状況〔Q8:重複回答〕

- 投資信託の特徴認知では、全体的に前回から大きな変動はみられず、「元本保証がない」(46.2%)、「国内と海外の投信がある」(32.6%)、「価格変動と為替リスクがある」(32.5%)、「証券会社以外でも購入できる」(31.4%)が上位にあがる。〔図7-1〕
- 年代、世帯年収共に高くなるほど、どの商品特項目も認知率は増す傾向。〔図7-2〕
- 投資信託の保有種類別でみると、株式投信保有層はその他投信保有層に比べ、「国内の投信と海外の投信がある」、「投信の評価を行う会社がある」、「MRFは投信商品である」の認知度がやや高い。〔図7-4〕

〔図 7-1〕

	n=	元本の保証はない	国内の投信と海外の投信がある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	リスクとリターンは相反する関係にある	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	販売手数料とは別に運用管理費がかかる	投資信託の評価を行う会社がある	基準額は新聞や投資信託協会HPで見ることができる	MRFは投資信託商品である	投資信託は、信託銀行で分別保管されている	この中で知っているものはない
2017年	(20000)	46.2	32.6	32.5	31.4	28.0	23.3	21.2	16.9	9.5	9.0	8.7	5.9	39.8
2016年	(20000)	46.4	32.2	32.7	31.1	27.9	23.4	20.9	16.0	10.0	9.3	9.5	6.2	39.9

〔図 7-2〕

		n=	元本の保証はない	国内の投信と海外の投信がある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	リスクとリターンは相反する関係にある	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	販売手数料とは別に運用管理費がかかる	投資信託の評価を行う会社がある	基準額は新聞や投資信託協会HPで見ることができる	MRFは投資信託商品である	投資信託は、信託銀行で分別保管されている	この中で知っているものはない
TOTAL		(20000)	46.2	32.6	32.5	31.4	28.0	23.3	21.2	16.9	9.5	9.0	8.7	5.9	39.8
性別	男性	(9917)	48.4	33.7	34.7	31.6	32.9	24.8	25.1	19.7	11.7	10.2	10.4	7.7	38.0
	女性	(10083)	44.1	31.5	30.3	31.1	23.1	21.9	17.4	14.2	7.4	7.8	7.0	4.2	41.7
年代別	20代	(2747)	22.3	18.4	19.2	16.5	18.2	14.6	12.1	8.0	6.1	3.8	4.5	3.0	61.0
	30代	(3439)	38.0	26.9	26.8	23.2	23.9	20.3	16.7	13.1	8.8	5.1	5.6	4.4	47.6
	40代	(3898)	44.4	29.8	29.9	28.1	25.5	20.1	18.7	14.5	8.5	7.0	8.3	5.4	43.2
	50代	(3230)	53.8	33.7	34.7	34.9	32.6	23.7	22.1	17.9	10.2	8.9	10.5	6.0	34.9
	60代	(3764)	56.9	41.2	39.3	41.2	33.7	30.9	26.3	22.8	11.5	13.2	11.2	7.7	29.3
70代	(2922)	58.9	44.3	43.9	42.7	32.5	29.2	31.0	24.3	11.7	15.7	11.7	8.6	25.3	
世帯年収別	100万円未満	(894)	30.6	20.1	21.6	19.2	17.7	16.3	12.4	9.6	5.7	5.5	5.5	3.1	53.9
	～300万円未満	(3261)	44.5	30.7	29.5	29.6	24.0	20.8	18.3	14.0	7.5	7.7	6.5	4.0	40.3
	～500万円未満	(4239)	50.4	35.6	34.8	34.2	30.5	25.5	23.5	18.1	9.6	9.4	8.4	5.8	34.2
	～1000万円未満	(4422)	56.2	40.9	40.6	39.3	36.5	29.9	28.4	22.8	13.2	11.6	12.4	8.3	28.7
	1000万円以上	(1091)	64.9	47.9	48.5	48.8	44.5	37.2	37.3	29.6	20.2	17.5	18.3	13.8	20.7

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（1）投資信託の商品特徴認知状況〔Q8:重複回答〕

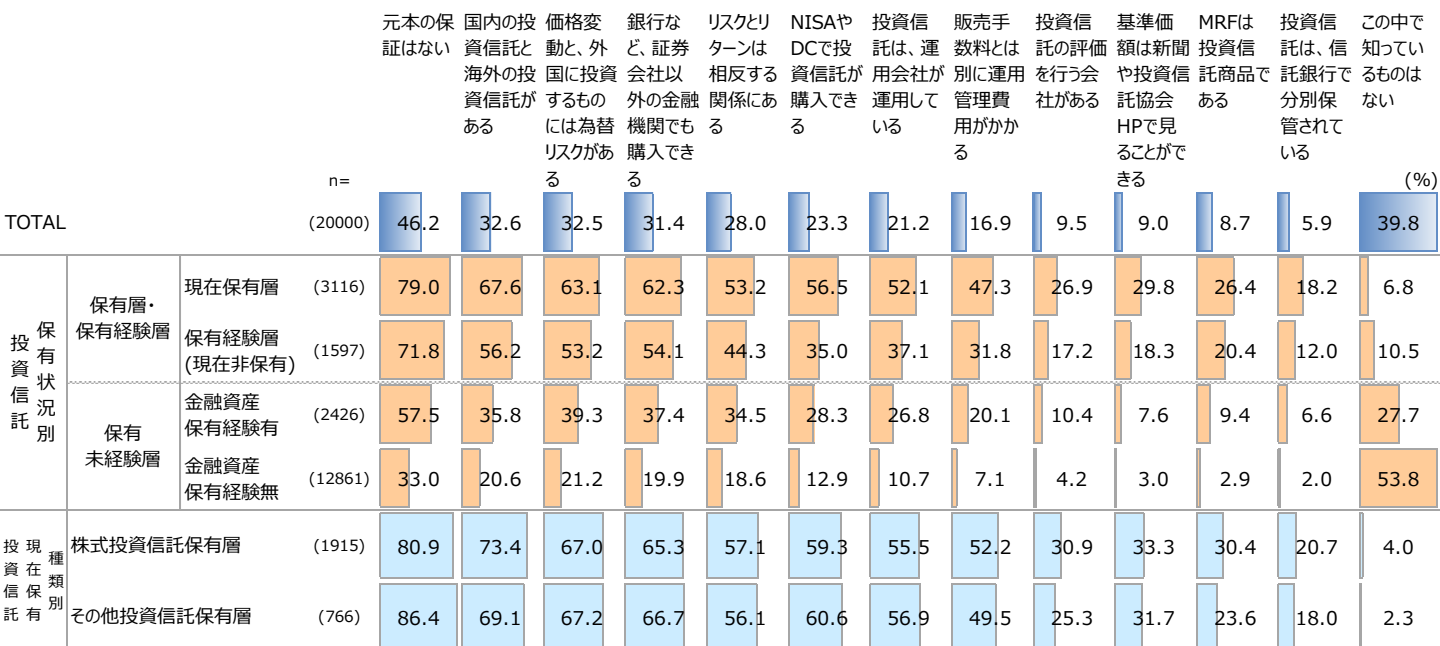
〔図 7-3〕

		n=	元本の保証 はない	国内の投資 信託と海外 の投資信託 がある	価格変動 と、外国に投 資するものに は為替リスク がある	銀行など、証 券会社以外 の金融機関 でも購入でき る	リスクとリター ンは相反す る関係にある	NISAやDC で投資信託 が購入できる	投資信託 は、運用会 社が運用し ている	販売手数料 とは別に運 用管理費用 がかかる	投資信託の 評価を行う 会社がある	基準価額は 新聞や投資 信託協会 HPで見ること ができる	MRFは投資 信託商品で ある	投資信託 は、信託銀 行で分別保 管されている	この中で知っ ているもの はない	(%)
TOTAL		(20000)	46.2	32.6	32.5	31.4	28.0	23.3	21.2	16.9	9.5	9.0	8.7	5.9	39.8	
20代	100万円未満	(214)	14.0	13.1	16.8	11.2	14.0	10.3	7.9	4.7	3.7	2.3	2.8	0.9	66.4	
	～300万円未満	(473)	18.0	15.6	15.0	14.4	15.2	11.2	9.5	5.7	5.1	2.5	3.4	2.3	63.8	
	～500万円未満	(600)	32.5	25.8	27.2	23.2	23.3	20.2	19.7	12.2	8.2	5.8	6.0	4.2	48.3	
	～1000万円未満	(374)	35.0	29.7	28.1	25.7	29.4	23.0	18.4	14.2	9.6	6.1	8.8	5.1	42.0	
	1000万円以上	(112)	33.9	25.0	27.7	26.8	28.6	22.3	21.4	13.4	16.1	8.9	9.8	7.1	49.1	
30代	100万円未満	(157)	21.7	17.8	17.8	12.7	10.8	12.1	10.8	10.2	4.5	1.9	3.8	1.3	66.2	
	～300万円未満	(369)	34.7	21.4	21.7	20.1	19.8	15.4	11.7	8.7	6.8	2.7	2.4	1.6	52.0	
	～500万円未満	(767)	38.2	23.6	24.9	20.2	23.7	18.0	12.8	11.0	6.3	3.1	3.1	3.5	45.5	
	～1000万円未満	(964)	49.5	36.9	36.9	32.0	33.4	29.7	26.1	18.6	14.1	8.3	9.5	6.8	34.5	
	1000万円以上	(153)	60.8	52.9	52.3	49.0	49.7	40.5	46.4	41.8	23.5	19.0	16.3	16.3	20.9	
40代	100万円未満	(132)	34.1	18.2	18.2	19.7	18.2	15.2	13.6	8.3	8.3	6.1	5.3	3.0	54.5	
	～300万円未満	(439)	37.4	22.1	22.6	20.3	19.1	13.2	11.8	8.2	3.9	2.5	4.3	2.3	49.2	
	～500万円未満	(677)	45.3	27.3	26.4	26.6	22.2	19.4	14.5	11.5	6.1	4.3	5.8	3.5	40.9	
	～1000万円未満	(1143)	54.0	38.0	38.8	36.3	33.8	26.2	26.8	21.4	11.2	9.3	11.3	7.9	32.6	
	1000万円以上	(248)	63.7	47.6	47.2	46.0	41.5	41.1	37.1	27.0	22.6	16.5	19.0	14.1	20.2	
50代	100万円未満	(111)	39.6	24.3	27.0	24.3	26.1	18.9	15.3	9.0	5.4	5.4	8.1	4.5	45.9	
	～300万円未満	(356)	43.3	26.7	26.4	28.1	24.7	17.7	14.6	11.5	10.1	6.5	8.1	5.1	44.4	
	～500万円未満	(502)	55.0	33.1	32.9	34.7	33.3	22.3	22.1	17.1	9.2	7.6	8.2	4.6	32.5	
	～1000万円未満	(914)	62.6	38.2	38.5	39.9	38.9	28.3	26.5	21.4	11.6	11.5	13.6	7.2	25.2	
	1000万円以上	(329)	71.7	48.3	48.6	51.4	45.6	36.5	36.8	27.7	17.6	15.2	18.8	10.3	16.4	
60代	100万円未満	(178)	42.7	27.5	29.8	30.3	23.6	25.8	18.0	16.9	8.4	10.7	6.7	6.7	41.6	
	～300万円未満	(829)	54.5	39.7	35.0	39.4	28.1	28.1	21.8	18.5	8.2	10.7	8.3	4.9	29.7	
	～500万円未満	(863)	60.4	43.9	41.6	44.1	37.9	34.2	30.5	24.6	12.4	13.7	11.8	7.5	26.4	
	～1000万円未満	(609)	67.5	53.5	51.7	51.4	45.3	39.6	34.8	32.3	17.7	17.4	16.1	11.3	18.1	
	1000万円以上	(164)	74.4	58.5	56.1	57.3	52.4	42.7	40.9	36.0	21.3	25.6	25.0	20.1	12.8	
70代	100万円未満	(102)	44.1	23.5	21.6	20.6	15.7	17.6	9.8	8.8	3.9	7.8	8.8	2.9	38.2	
	～300万円未満	(795)	58.9	41.1	41.3	38.6	29.4	26.9	28.2	20.9	9.3	13.5	8.8	5.4	25.3	
	～500万円未満	(830)	65.4	53.3	50.6	50.8	39.3	34.1	37.1	28.1	14.2	18.8	13.9	9.9	17.3	
	～1000万円未満	(418)	66.0	55.5	54.1	57.2	39.7	36.4	41.4	33.5	16.5	22.7	17.2	14.1	15.8	
	1000万円以上	(85)	71.8	48.2	57.6	58.8	44.7	31.8	37.6	31.8	20.0	22.4	16.5	18.8	16.5	

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（1）投資信託の商品特徴認知状況〔Q8:重複回答〕

〔図 7-4〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

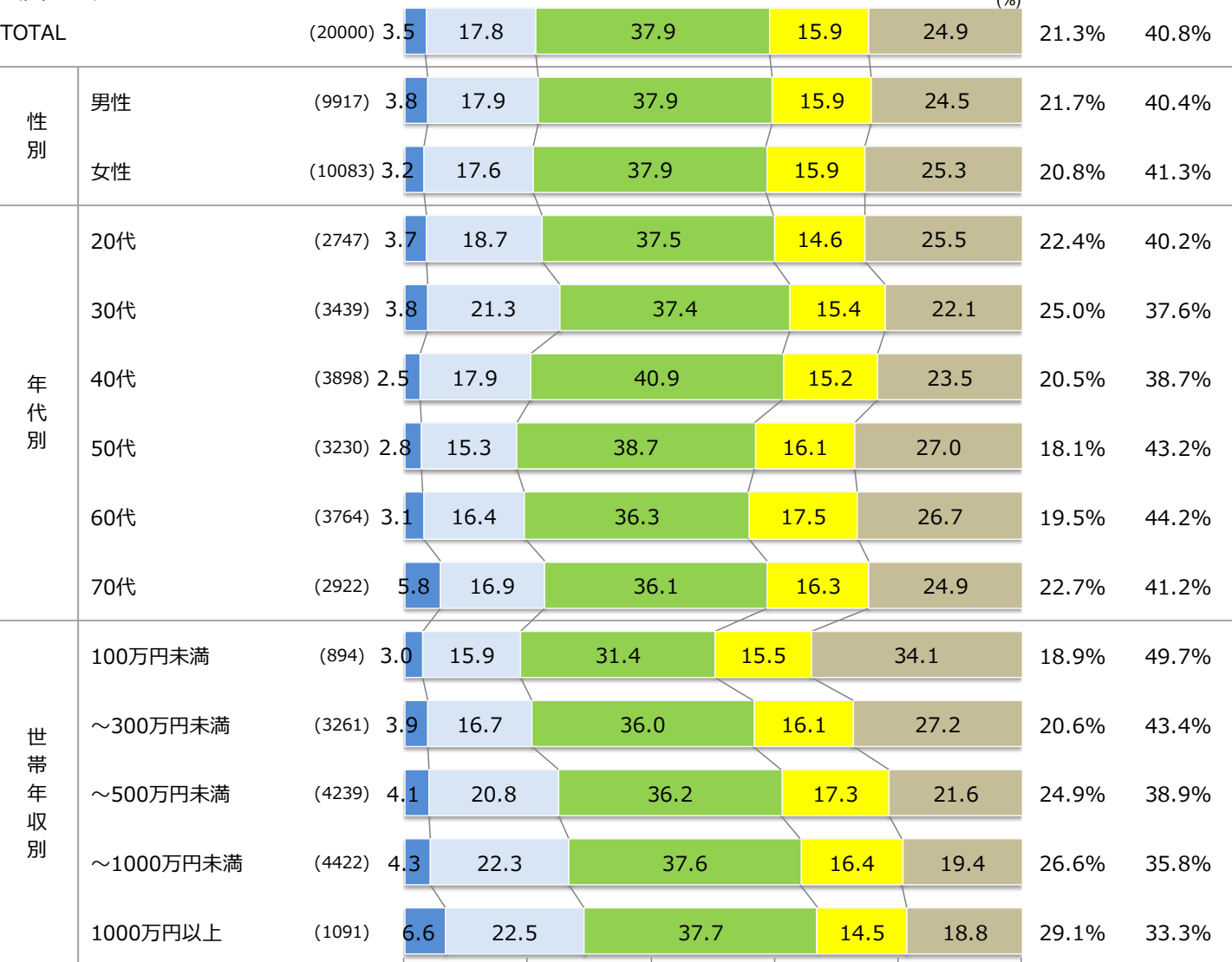
(2) 毎月分配型投資信託への魅力有無〔Q19:単数回答〕

- 毎月分配型投資信託の魅力度は、TOP2(魅力を感じる計)が21.3%と前回と同程度となる。〔図7-5〕
- 年代別では70代で「魅力を感じる」(5.8%)がやや高く、一部の層で魅力を強く感じられる様子。〔図7-6〕
- 投信保有状況別では、現在保有層でTOP2(41.2%)が高い。〔図7-7〕

〔図 7-5〕



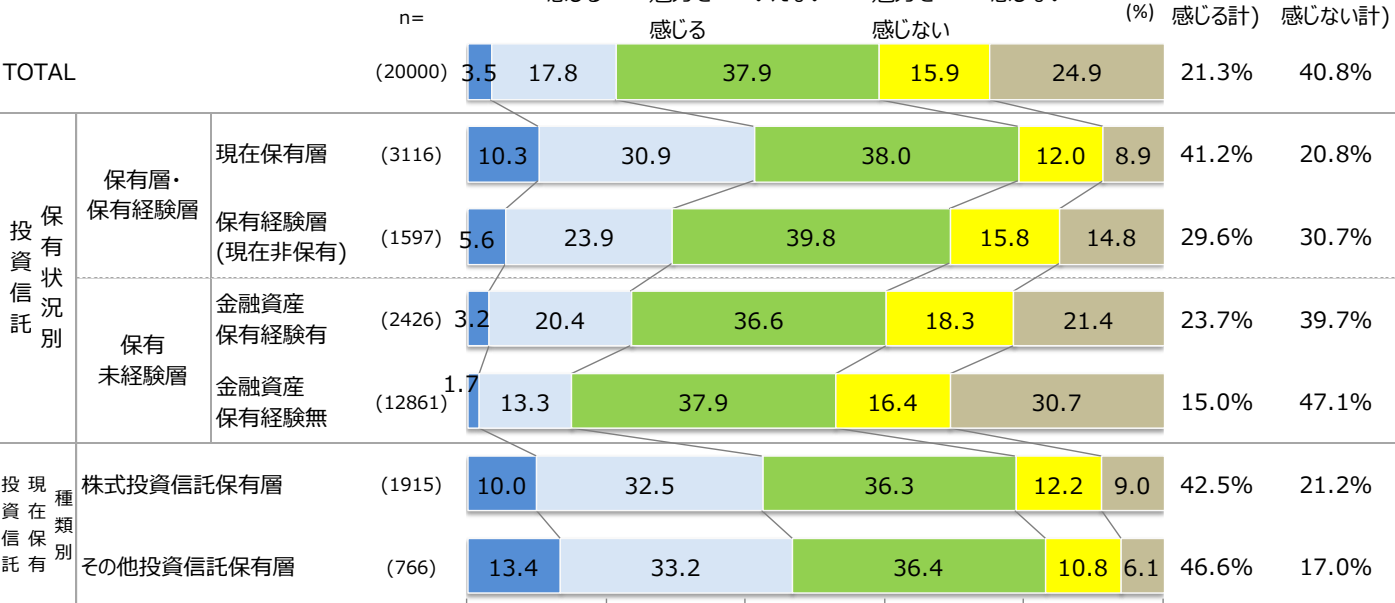
〔図 7-6〕



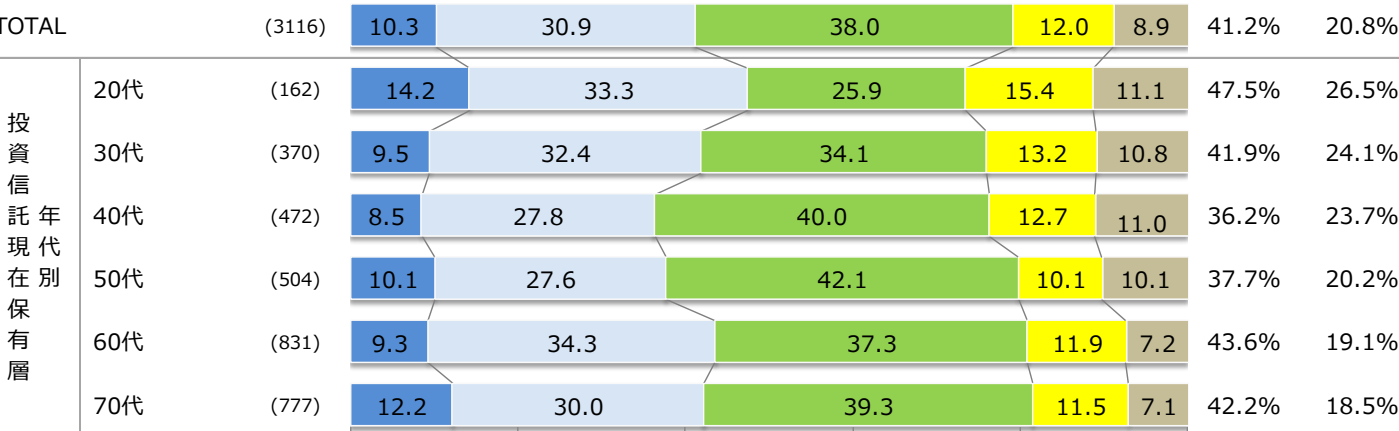
7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(2) 毎月分配型投資信託への魅力有無〔Q19:単数回答〕

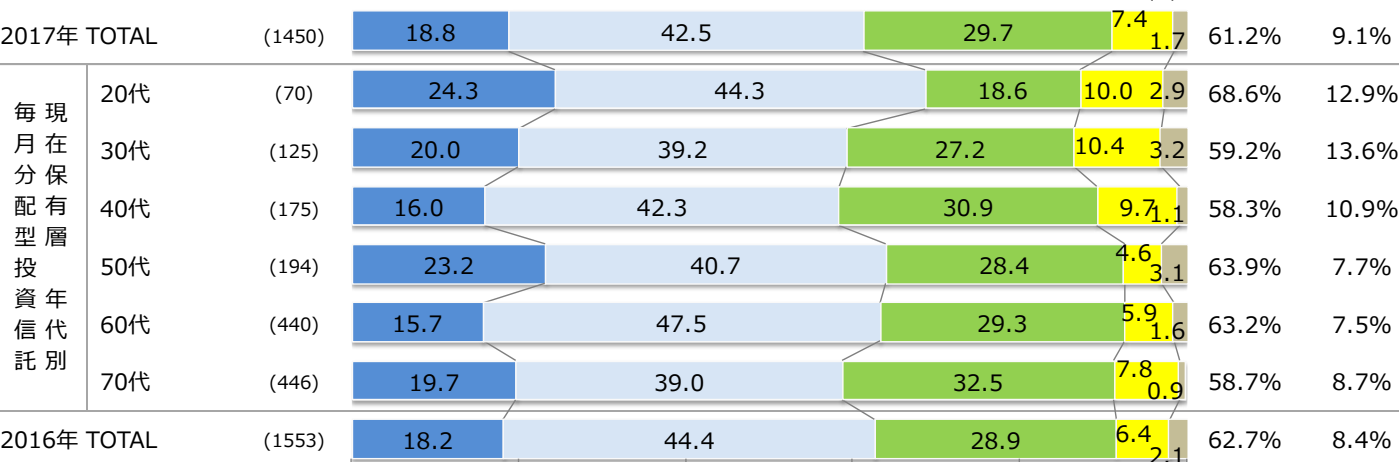
〔図 7-7〕



〔図 7-8〕



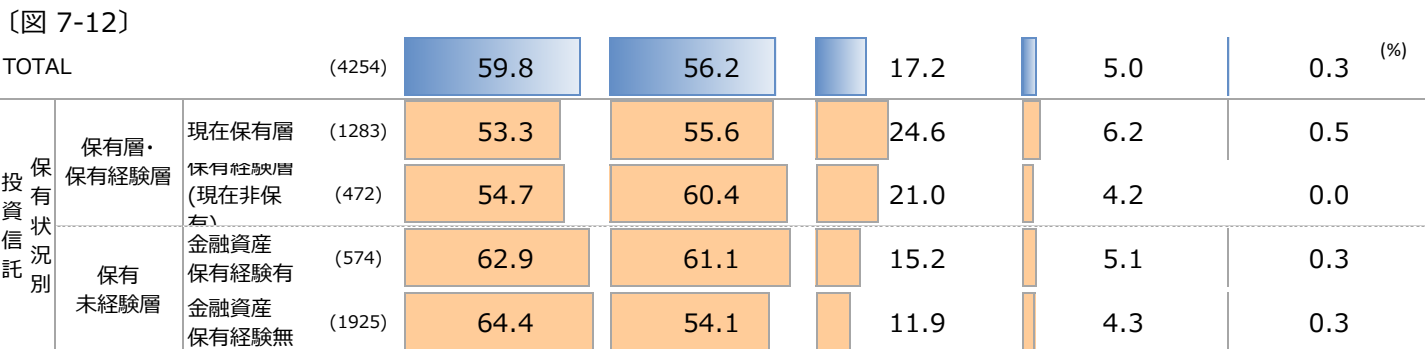
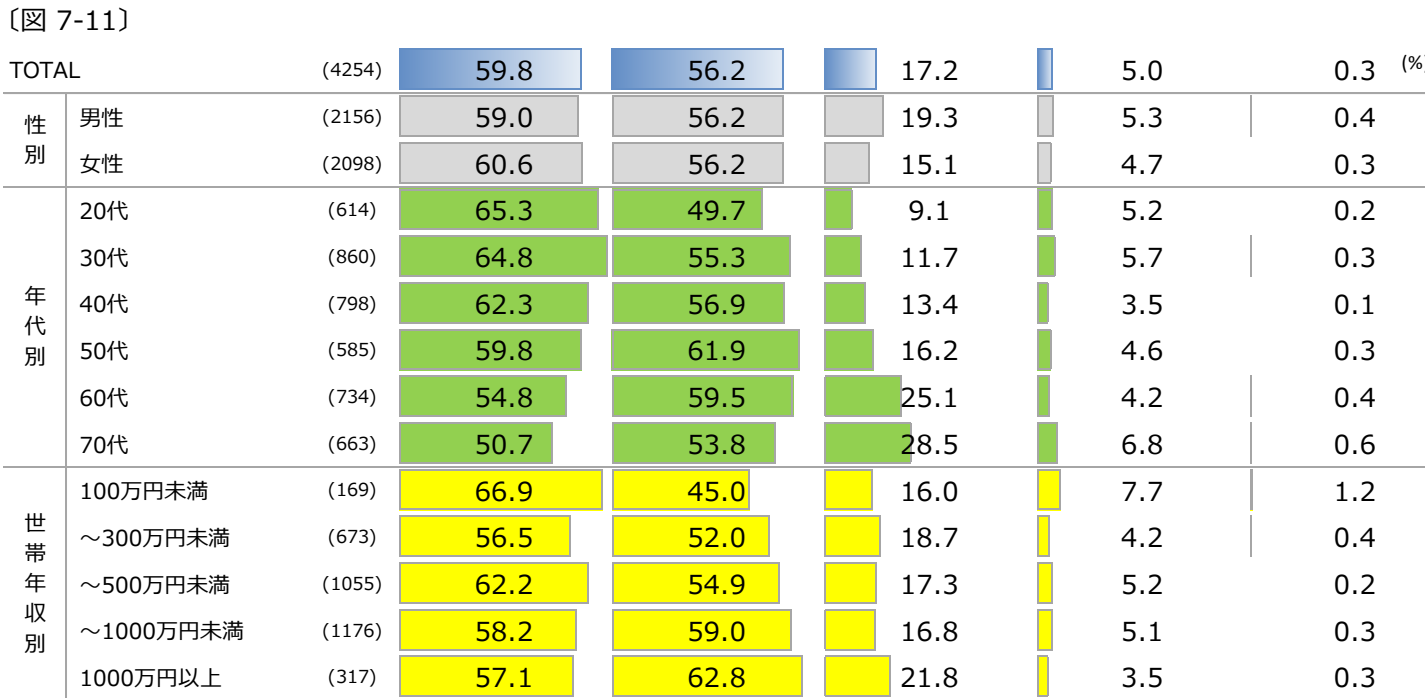
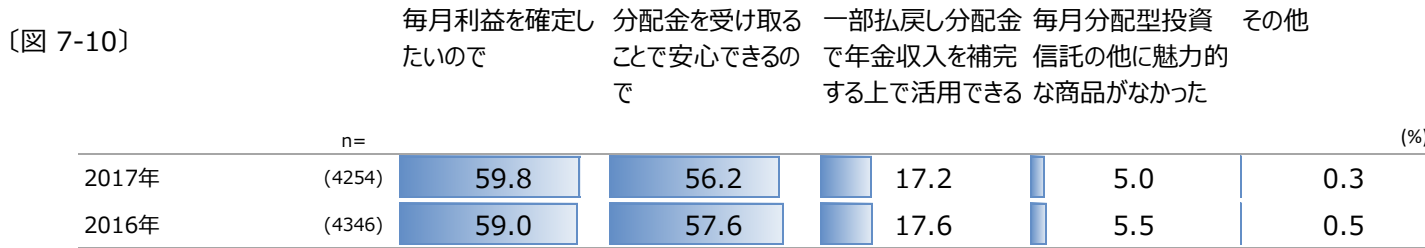
〔図 7-9〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

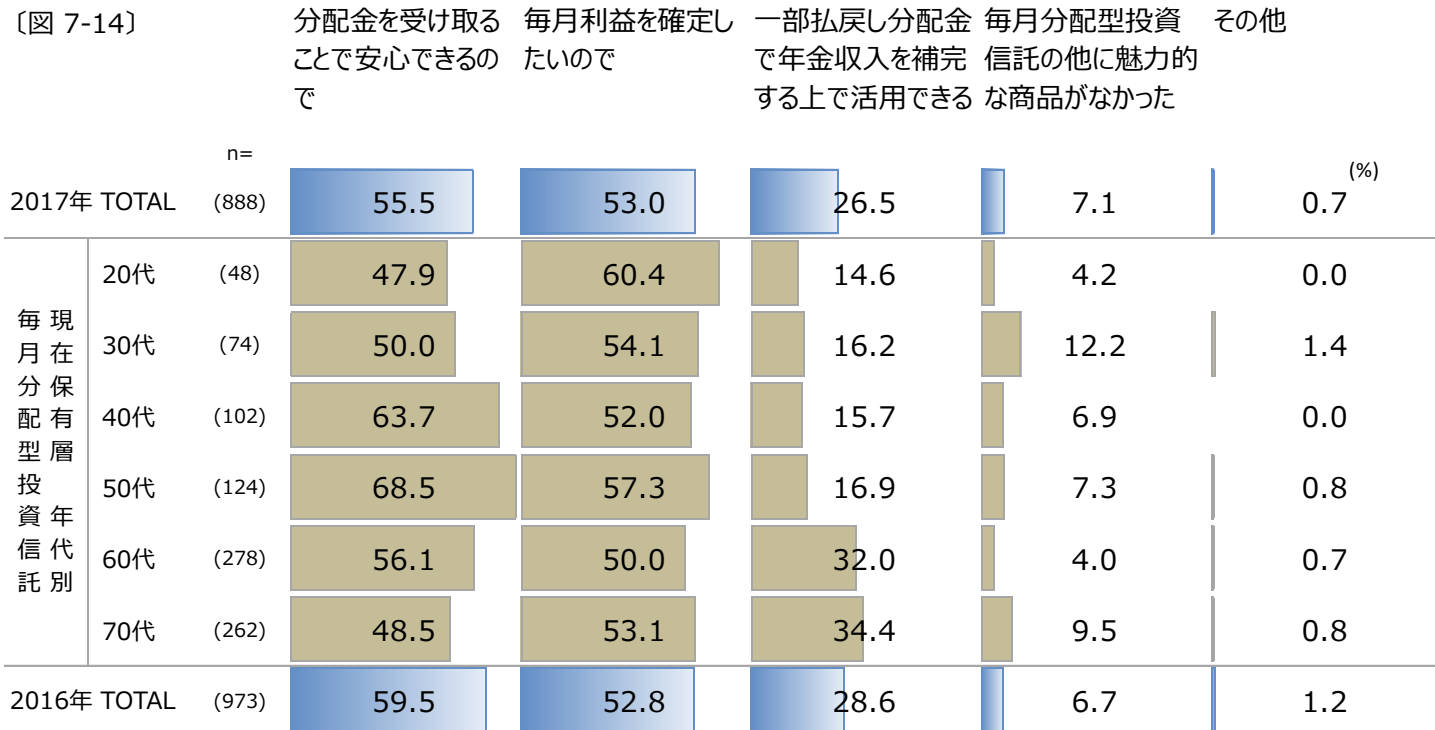
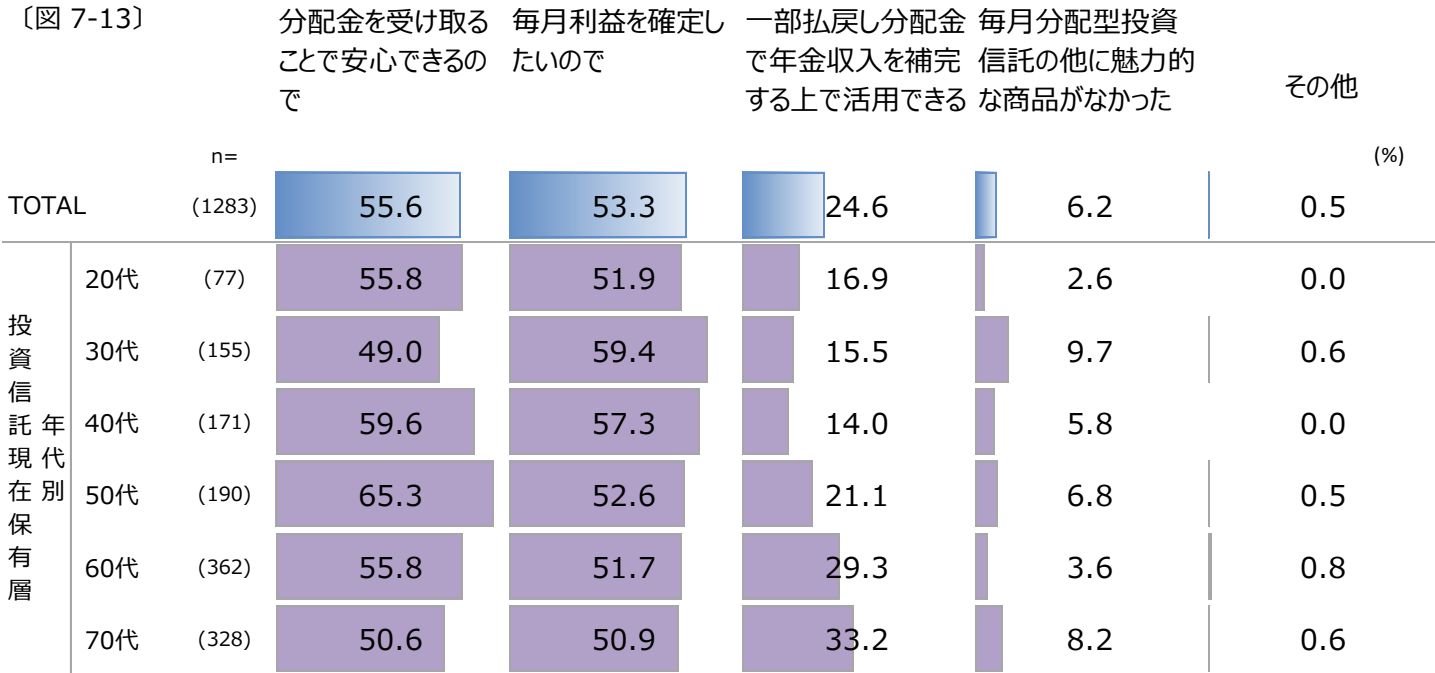
(3) 毎月分配型投資信託商品の魅力点(毎月分配型魅力者) 〔Q20：重複回答〕

- 毎月分配型投資信託の魅力点では、「毎月利益を確定したい」(59.8%)、「分配金を受け取ることで安心できる」(56.2%)が前回と同程度で上位にあがる。〔図7-10〕
- 年代別でみると、年代が上がるにつれ「分配金で年金補完」が増加し、60代(25.1%)、70代(28.5%)では毎月分配型投資信託に魅力を感じている人のうち、4人に1人が評価している様子。〔図7-11〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

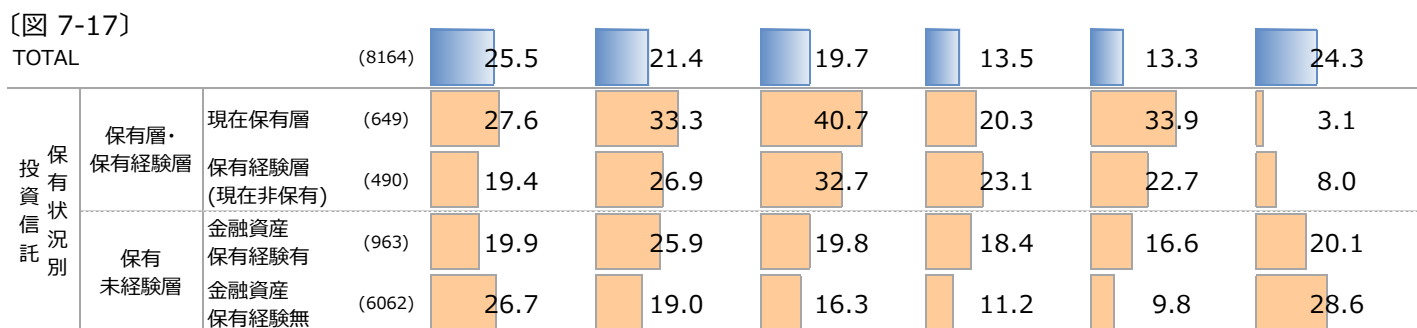
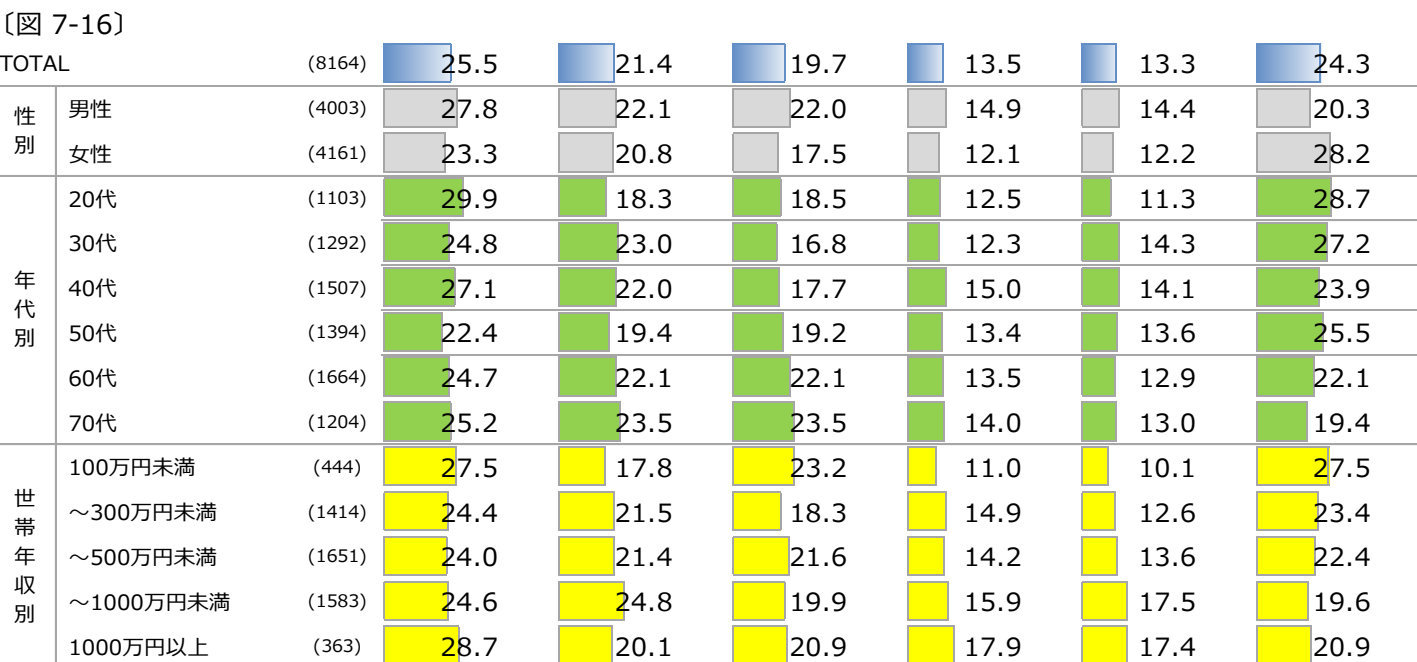
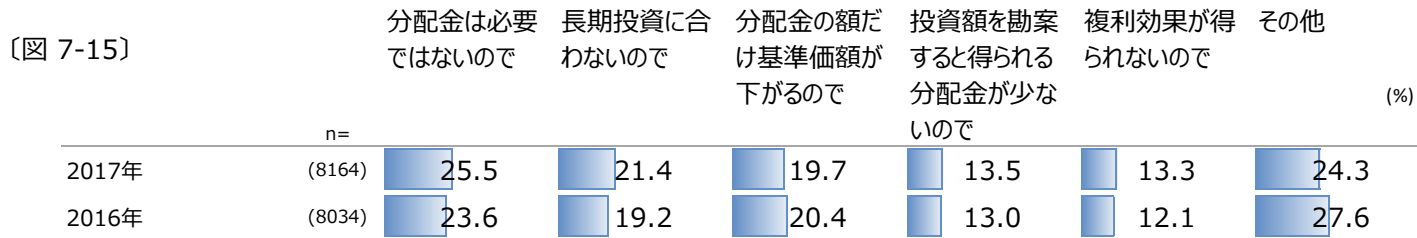
(3) 毎月分配型投資信託商品の魅力点(毎月分配型魅力者) 〔Q20：重複回答〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(4) 毎月分配型投資信託商品の非魅力点(毎月分配型非魅力者) 〔Q21：重複回答〕

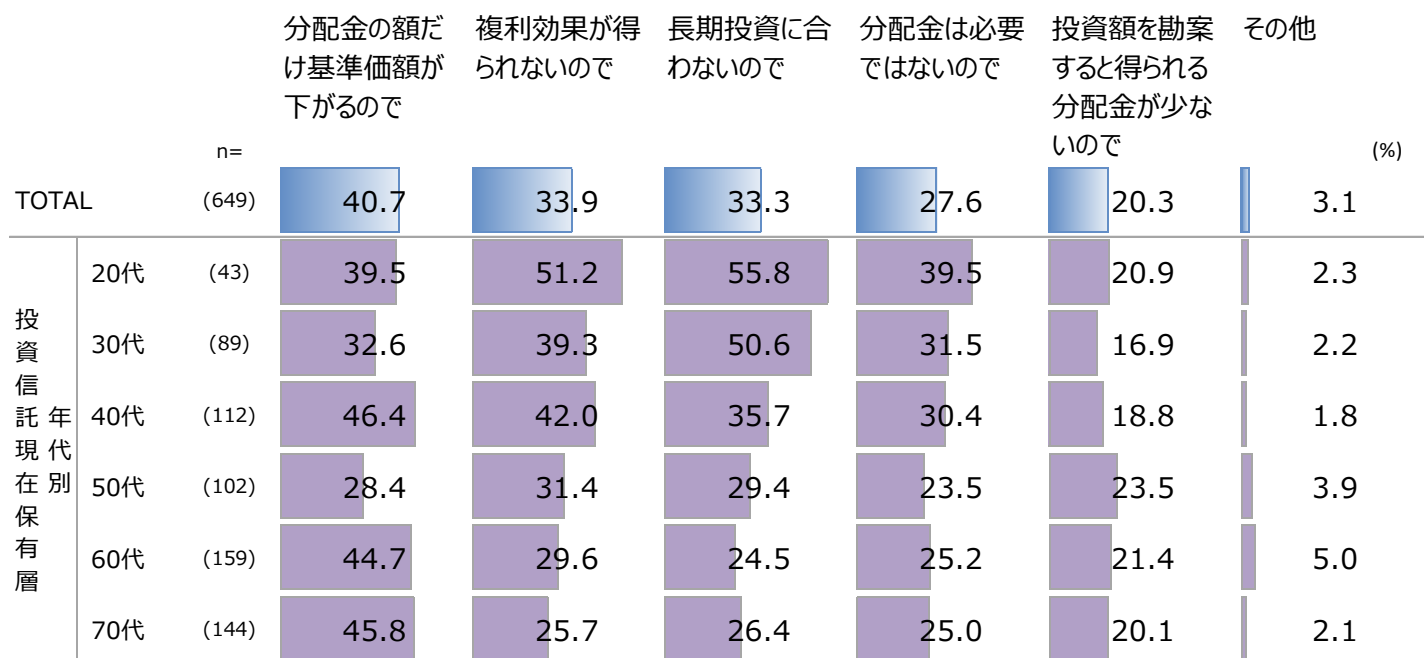
- 毎月分配型投資信託の非魅力点は、前回同様に、目立って高い項目はなく分散傾向。〔図7-15〕
- 年代別、世帯年収別で不満点に大きな差はみられない。〔図7-16〕
- 投資保有状況別でみると、現在保有層は他層に比べどの項目も高めだが、特に「基準価格が下がる」(40.7%)ことへの不満が強い。〔図7-17〕



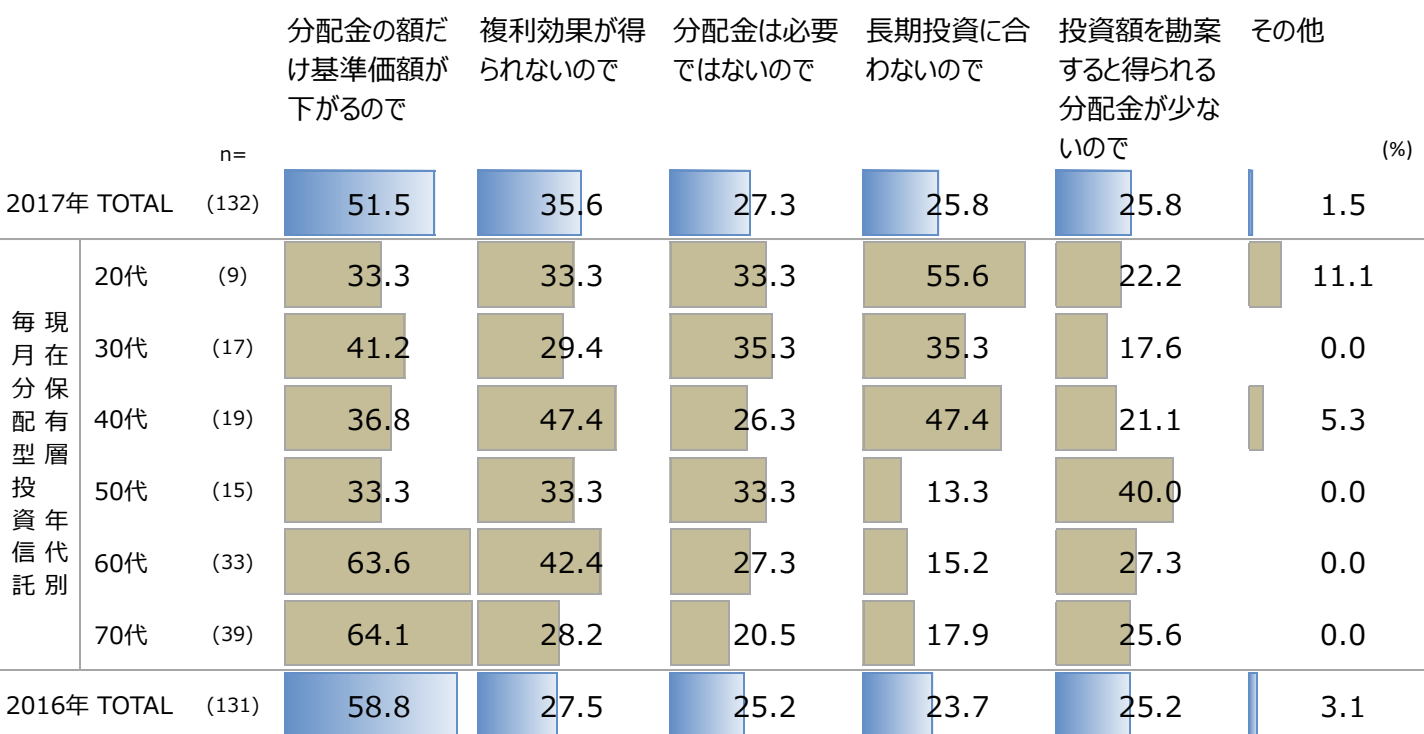
7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(4) 毎月分配型投資信託商品の非魅力点(毎月分配型非魅力者) 〔Q21：重複回答〕

〔図 7-18〕



〔図 7-19〕

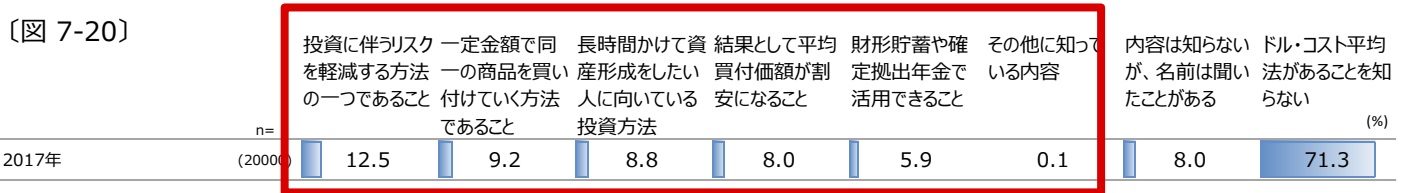


7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(5) ドル・コスト平均法の内容認知〔Q16：重複回答〕

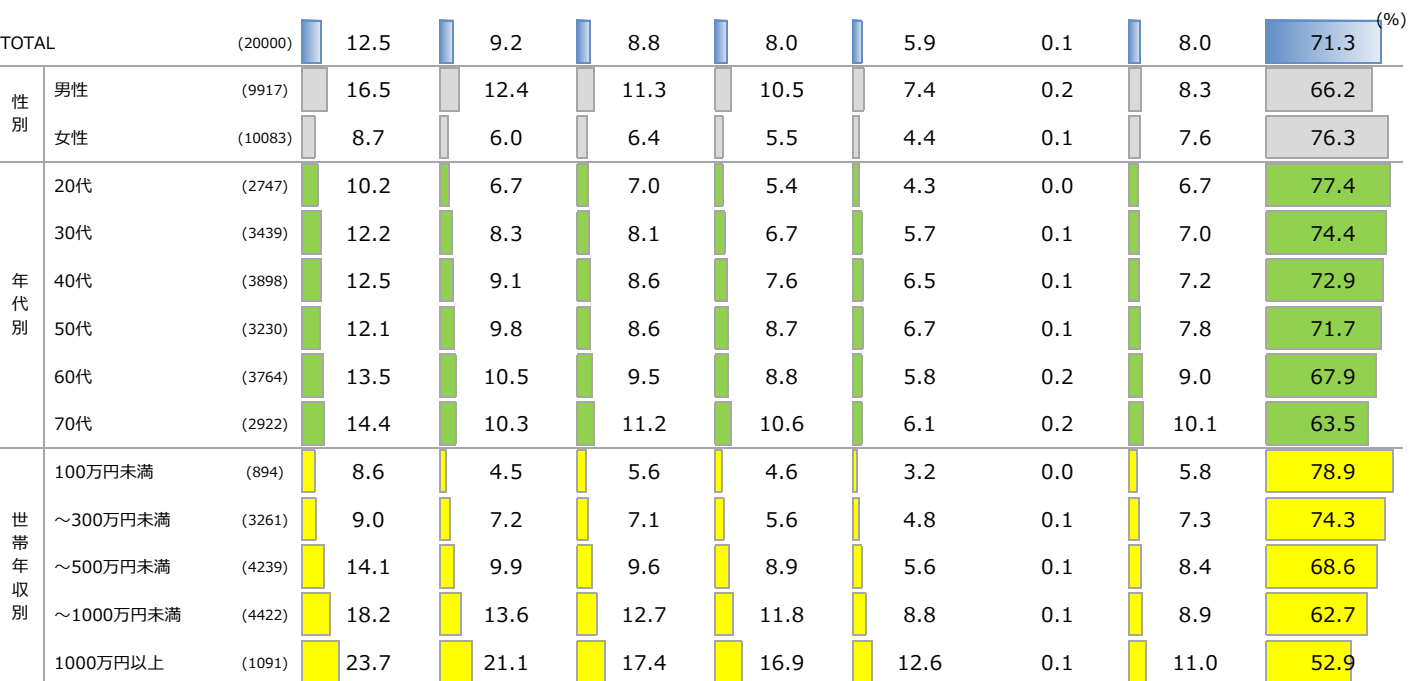
- ドル・コスト平均法は存在自体の認知が低く、「あることを知らない」人が71.3%にのぼる。内容では、「投資のリスク軽減法の一つ」が12.5%で最も認知が高い。〔図7-20〕
- 年代が上がるにつれ、ドル・コスト平均法自体の認知は増加、どの内容項目の認知も微増する。〔図7-21〕
- 投資信託の現在保有層でも特徴的に認知の高い内容項目はみられず、認知の最も高い「投資のリスク軽減法の一つ」(33.7%)でも3割台に留まる。〔図7-22〕

〔図 7-20〕

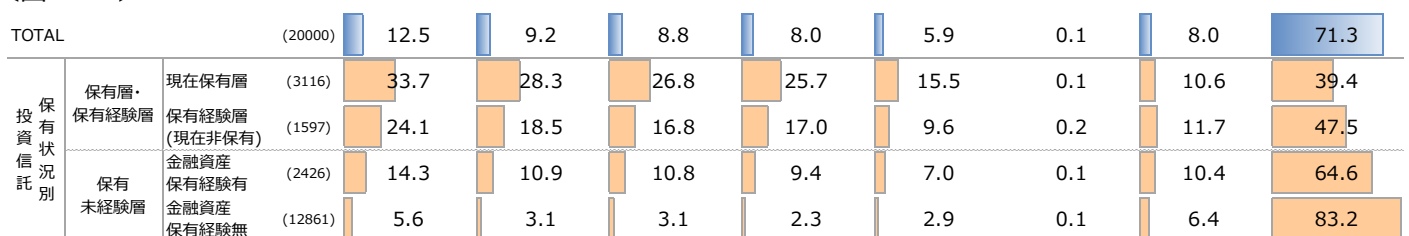


→ 「ドル・コスト平均法」の内容認知率20.7%(赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)

〔図 7-21〕



〔図 7-22〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(6) 積立投資プランの内容認知〔Q17：重複回答〕

- ドル・コスト平均法の内容を知っている人に対して、積立投資プランの内容認知を確認した。「少額から投資できる」(60.4%)が突出、以下「ドル・コスト平均法の効果が得られる」「自動引き落としが利用可能」「リスク軽減の為の時間分散が図れる」が3割台で続く。〔図7-23〕
- 属性別ではどの層でも、「少額から投資できる」の認知が最も高い。〔図7-24〕〔図7-25〕

〔図 7-23〕

	n=	少額から利用できること	ドル・コスト平均法の効果が得られること	自動引き落としが利用できそのつど申し込みが必要ない	リスクを軽減するための「時間の分散」が図れること	その他に知っている内容	積立投資プランがあることを知らない
2017年	(4135)	60.4	33.8	32.6	32.2	0.2	16.7

「積立投資プラン」の認知率83.3%(赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)

〔図 7-24〕

属性	人数	少額から利用できること	ドル・コスト平均法の効果が得られること	自動引き落としが利用できそのつど申し込みが必要ない	リスクを軽減するための「時間の分散」が図れること	その他に知っている内容	積立投資プランがあることを知らない
TOTAL	(4135)	60.4	33.8	32.6	32.2	0.2	16.7
性別							
男性	(2523)	61.6	38.9	34.2	35.0	0.2	13.6
女性	(1612)	58.7	25.7	30.1	27.8	0.1	21.6
年代別							
20代	(438)	52.3	36.1	30.1	31.7	0.7	20.1
30代	(638)	61.9	37.1	32.4	32.6	0.0	15.4
40代	(772)	59.7	35.0	32.6	34.2	0.1	17.1
50代	(659)	60.7	32.5	35.5	31.4	0.0	17.5
60代	(861)	62.8	31.8	32.5	33.6	0.2	15.9
70代	(767)	61.7	31.7	31.7	29.3	0.3	15.8
世帯年収別							
100万円未満	(137)	56.2	24.8	19.0	26.3	0.0	20.4
～300万円未満	(596)	58.1	22.7	26.7	23.3	0.5	22.1
～500万円未満	(977)	59.9	33.4	32.5	31.7	0.2	15.6
～1000万円未満	(1254)	59.8	39.1	36.1	36.2	0.1	13.9
1000万円以上	(394)	65.0	42.6	42.6	37.8	0.3	11.4

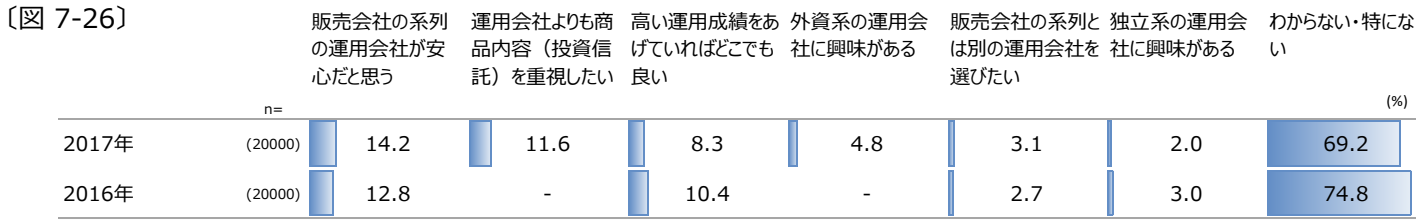
〔図 7-25〕

属性	人数	少額から利用できること	ドル・コスト平均法の効果が得られること	自動引き落としが利用できそのつど申し込みが必要ない	リスクを軽減するための「時間の分散」が図れること	その他に知っている内容	積立投資プランがあることを知らない
TOTAL	(4135)	60.4	33.8	32.6	32.2	0.2	16.7
投資信託保有状況別							
保有層・保有経験層							
現在保有層	(1557)	68.8	44.1	45.3	42.4	0.1	9.2
保有経験層(現在非保有)	(650)	58.2	34.9	32.5	34.8	0.5	13.5
保有未経験層							
金融資産保有経験有	(604)	53.3	36.6	28.1	28.8	0.0	19.5
金融資産保有経験無	(1324)	55.0	19.8	19.7	20.5	0.3	25.8

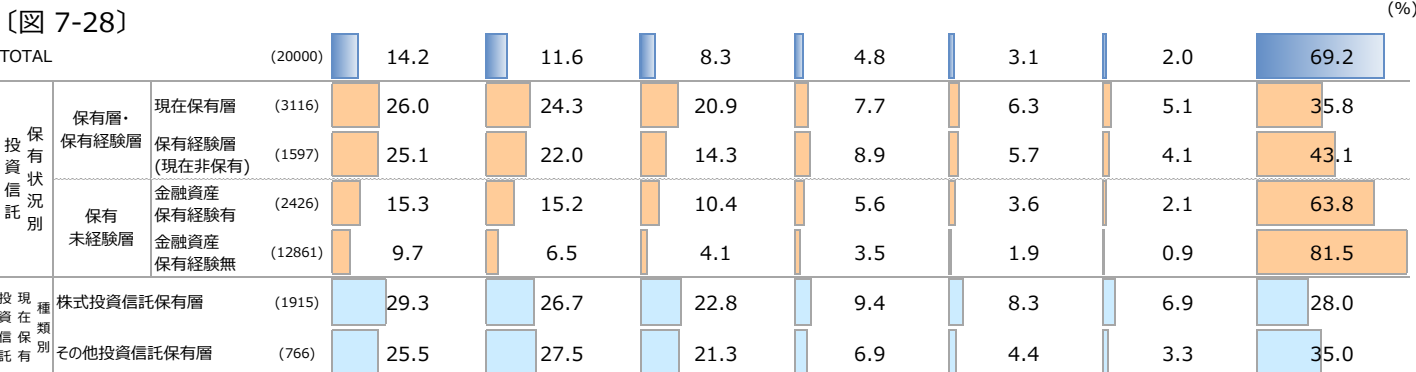
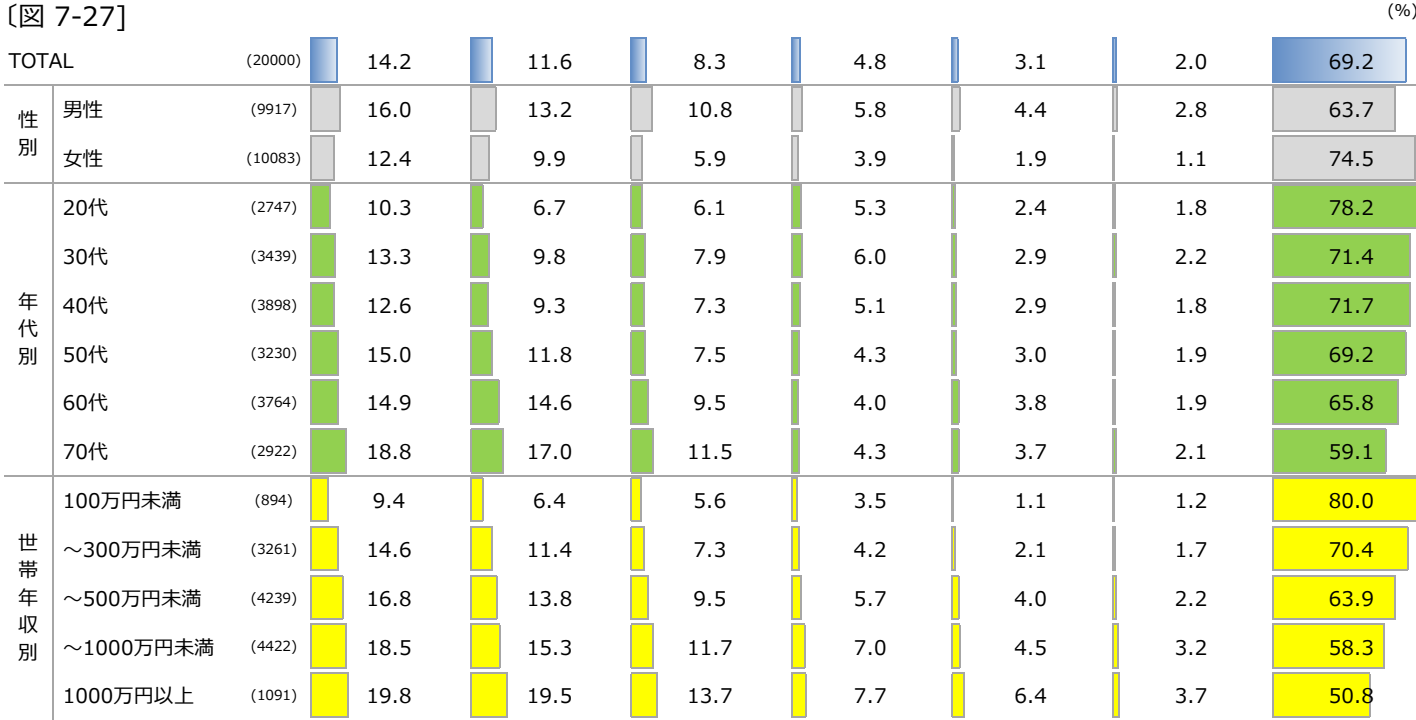
7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（7）投資信託運用会社に対する考え〔Q13：重複回答〕

- 投資信託の運用会社選びでは「販売会社系列が安心」(14.2%)、「運用会社より商品内容(投資信託)を重視したい」(11.6%)が上位にあがる。また「わからない・特にない」は69.2%と非常に高く、前回同様に大半の人が選択基準を想起できていない。〔図7-26〕
- 「わからない・特にない」は投資信託の現在保有層(35.8%)や保有経験層(43.1%)でも高い。〔図7-28〕



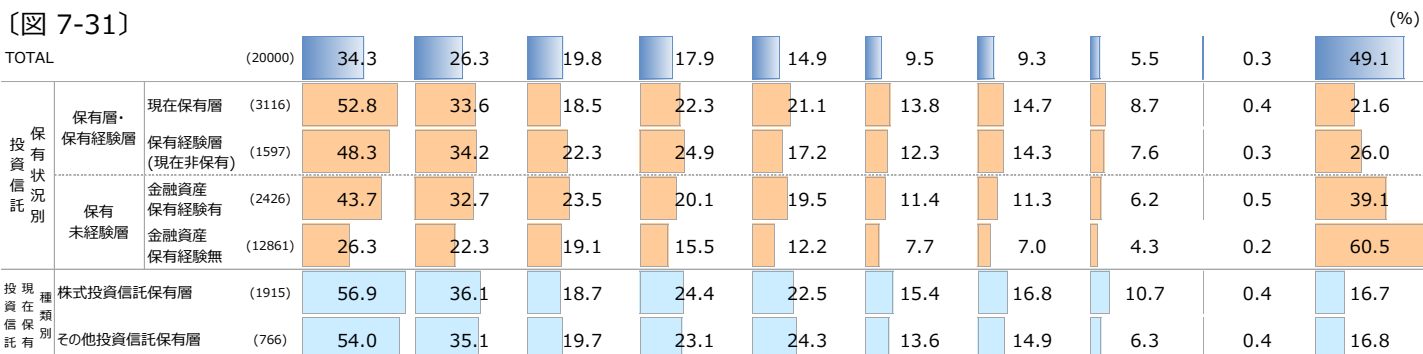
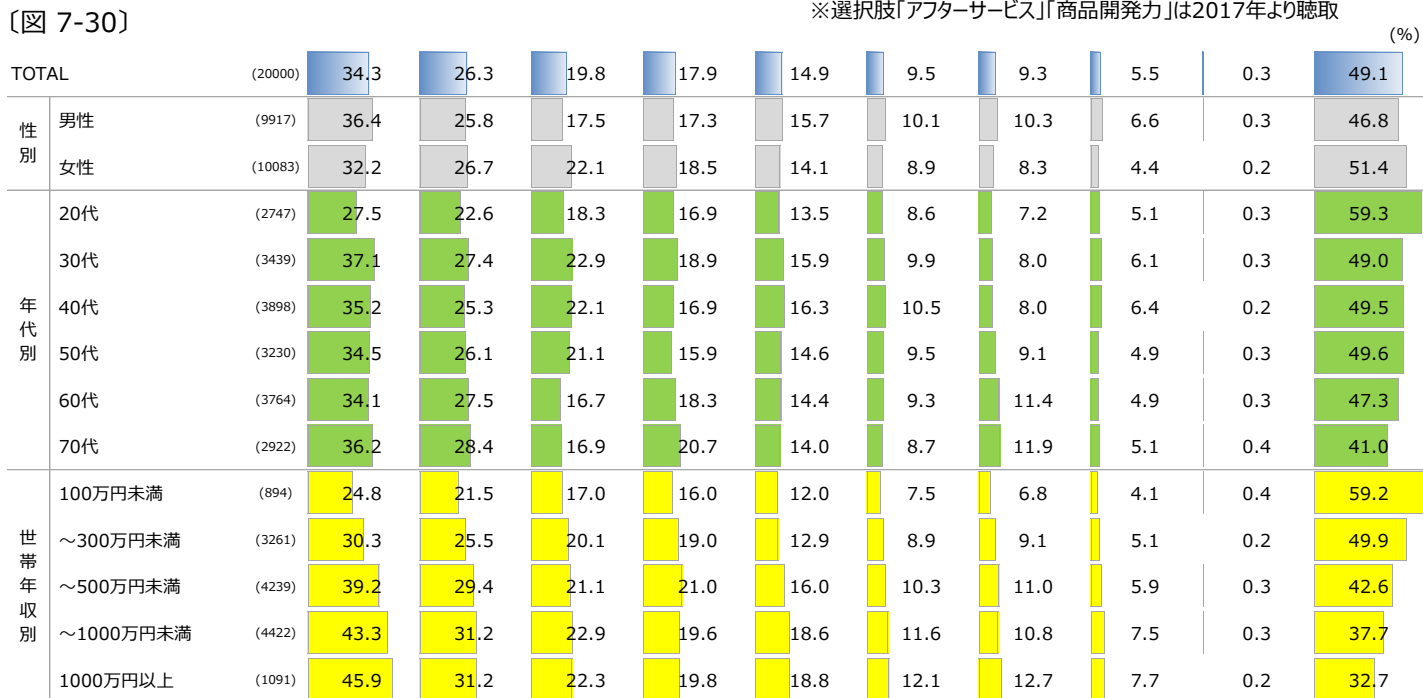
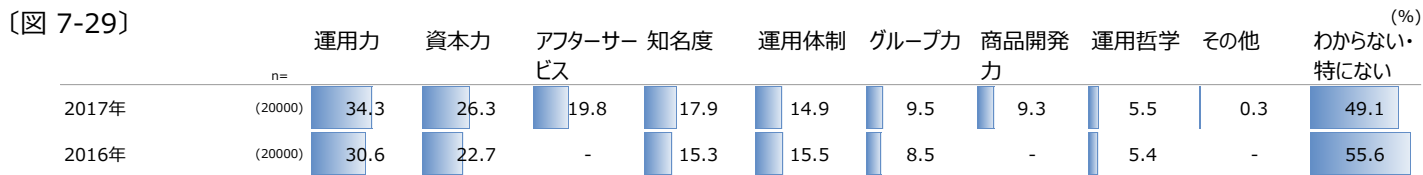
※選択肢「運用会社より商品内容(投資信託)を重視したい」「外資系の運用会社に興味がある」は2017年より聴取



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

（8）投資信託購入の際の、運用会社の重視点〔Q14：重複回答〕

- 運用会社の重視点では、「運用力」(34.3%)、「資本力」(26.3%)、「アフターサービス」(19.8%)が上位。また「運用力」「資本力」「知名度」は前回より微増。〔図7-29〕
- 年代別で見ると、全体的に20代でどの項目も他層より低くなる他は、年代間で大きな差はみられない。また年収が上がるにつれどの項目も増加するが、中でも「運用力」が増す傾向。〔図7-30〕
- 投資信託保有状況別では、投資との関連が強いほどどの項目も重視度が高くなるが、「運用力」ではその傾向が顕著。〔図7-31〕



7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(9) 投資信託の手数料特徴認知状況〔Q23:重複回答〕

- 手数料の特徴では前回同様、「販売会社に支払う費用」(25.9%)が最も高く、「販売会社で手数料が異なる場合がある」(17.7%)、「保有中は運用管理費用がかかる」(14.2%)が続く。〔図7-32〕
- 年代、世帯年収共に階層が上がるにつれ、どの項目の認知も高くなる。〔図7-33〕
- 投資信託の保有未経験(金融資産保有経験無)層では、どの特徴も知らない人が80.6%にのぼる。〔図7-34〕

〔図 7-32〕

	n=	購入時手数料は販売会社に支払う費用である	同じ投信でも販売会社で購入時手数料が異なる場合あり	投資信託を保有している期間中は運用管理費用がかかる	運用管理費用は投資信託財産から支払われている	運用管理費用率等は交付目論見書や運用報告書に記載	購入/解約時に信託財産留保額が徴収されることがある	運用管理費用は運用/販売会社、受託銀行に支払われる	信託財産留保額は信託財産に留保される	内容がよくわからない/この中で知っているものはない	(%)
2017年	(20000)	25.9	17.7	14.2	9.2	7.5	6.0	4.9	3.4	64.9	
2016年	(20000)	27.1	18.4	13.8	8.8	8.1	6.2	5.0	3.5	65.1	

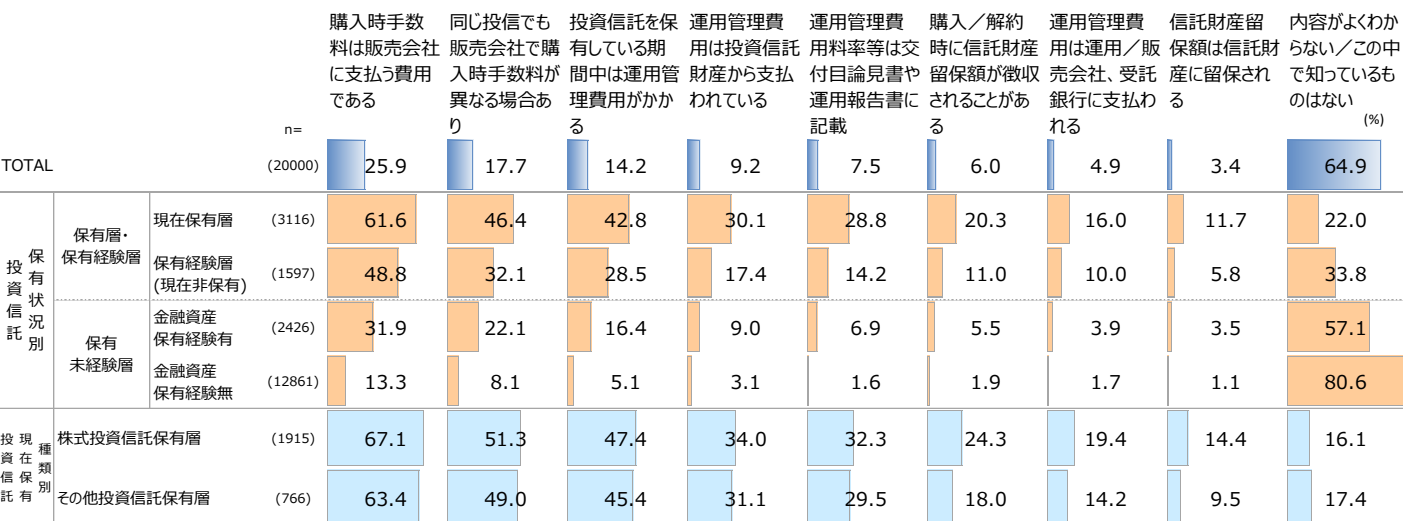
〔図 7-33〕

		n=	購入時手数料は販売会社に支払う費用である	同じ投信でも販売会社で購入時手数料が異なる場合あり	投資信託を保有している期間中は運用管理費用がかかる	運用管理費用は投資信託財産から支払われている	運用管理費用率等は交付目論見書や運用報告書に記載	購入/解約時に信託財産留保額が徴収されることがある	運用管理費用は運用/販売会社、受託銀行に支払われる	信託財産留保額は信託財産に留保される	内容がよくわからない/この中で知っているものはない	(%)
TOTAL		(20000)	25.9	17.7	14.2	9.2	7.5	6.0	4.9	3.4	64.9	
性別	男性	(9917)	28.9	20.3	17.5	11.7	9.1	7.2	6.2	4.3	60.9	
	女性	(10083)	23.0	15.1	10.9	6.8	5.8	4.7	3.5	2.5	68.8	
年代別	20代	(2747)	13.1	10.2	7.6	5.0	2.9	2.7	2.9	2.1	78.1	
	30代	(3439)	19.3	14.5	10.6	7.1	5.4	4.0	3.6	2.6	71.9	
	40代	(3898)	22.1	16.1	11.3	7.4	5.7	5.1	4.1	3.3	69.6	
	50代	(3230)	27.0	18.1	14.2	9.3	7.3	6.2	5.0	3.5	64.6	
	60代	(3764)	35.1	22.3	20.1	12.3	10.9	8.4	6.4	4.5	55.5	
	70代	(2922)	38.0	23.9	20.9	13.8	12.4	9.1	7.0	4.2	50.4	
世帯年収別	100万円未満	(894)	18.1	10.6	7.8	5.0	3.0	3.7	2.7	1.7	74.7	
	~300万円未満	(3261)	24.7	15.1	11.3	7.9	6.1	5.2	3.6	2.2	66.3	
	~500万円未満	(4239)	28.7	19.4	16.0	10.2	8.0	6.3	5.3	3.4	61.0	
	~1000万円未満	(4422)	32.9	23.9	19.1	12.3	10.3	8.2	6.7	4.8	55.0	
	1000万円以上	(1091)	42.0	33.2	26.2	19.3	16.2	11.8	11.3	8.2	44.0	

7. 投資信託全般に関する状況（全体）

(9) 投資信託の手数料特徴認知状況〔Q23:重複回答〕

〔図 7-34〕

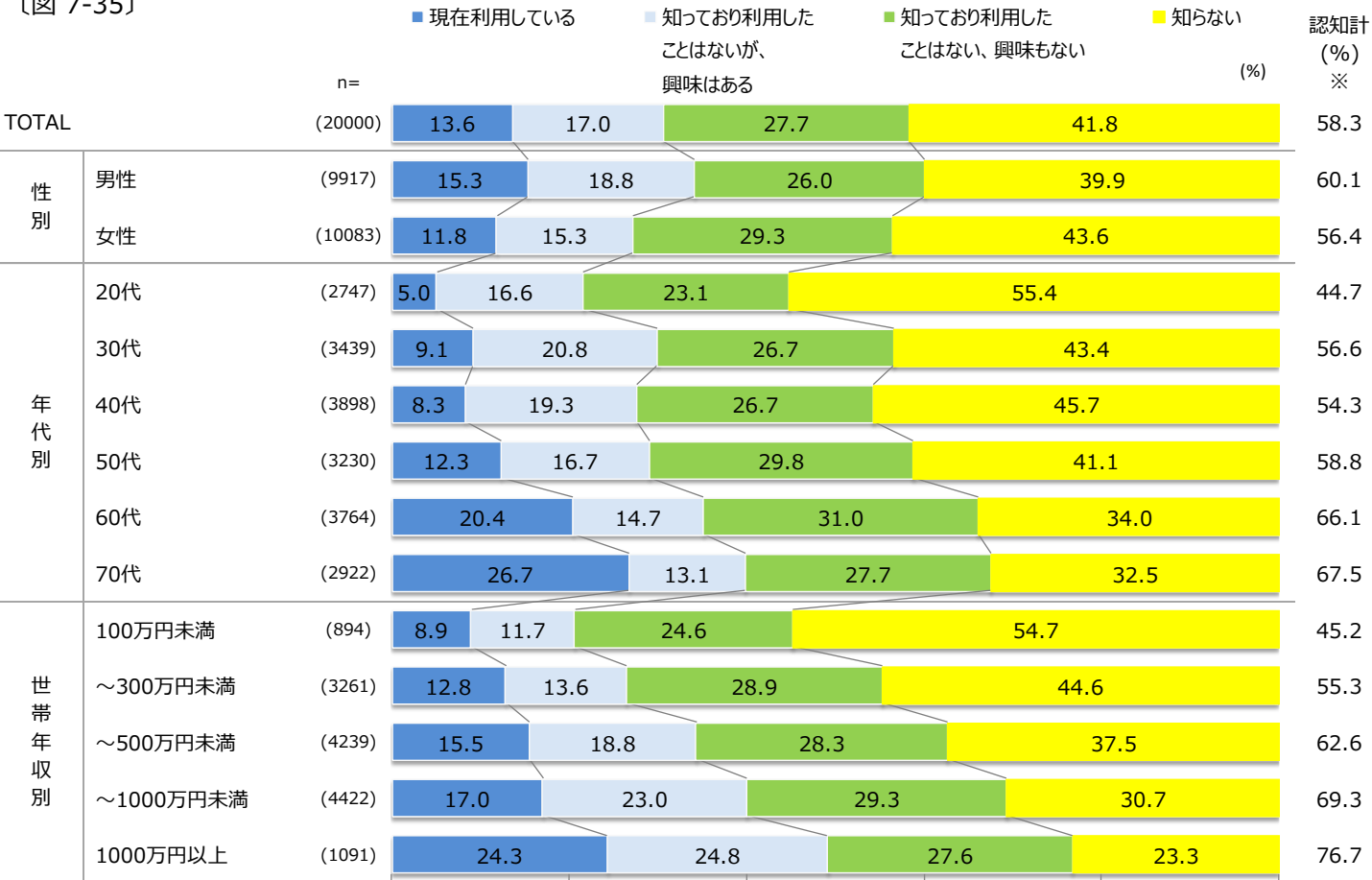


7. 投資信託保有状況（現在保有層）

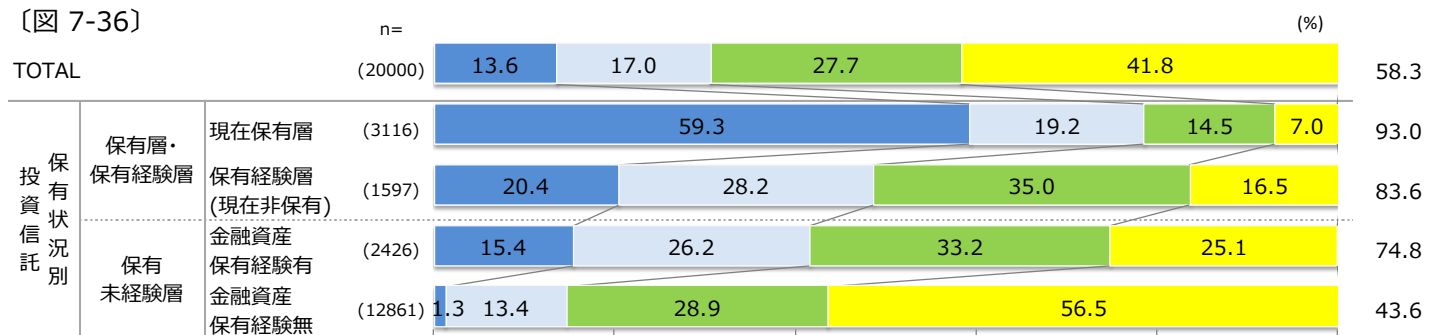
（10）NISAの認知状況〔Q26:単数回答〕

- NISAの認知率は58.3%、現在利用率は13.6%となる。「知っており利用したことはないが、興味はある」は17%みられた。
- 年代が上がるほど、世帯年収が高いほど、認知率、現在利用率とも高くなる傾向。また年代別では30代、40代で「知っており利用したことはないが、興味はある」がやや高くなる。〔図7-35〕

〔図 7-35〕



〔図 7-36〕



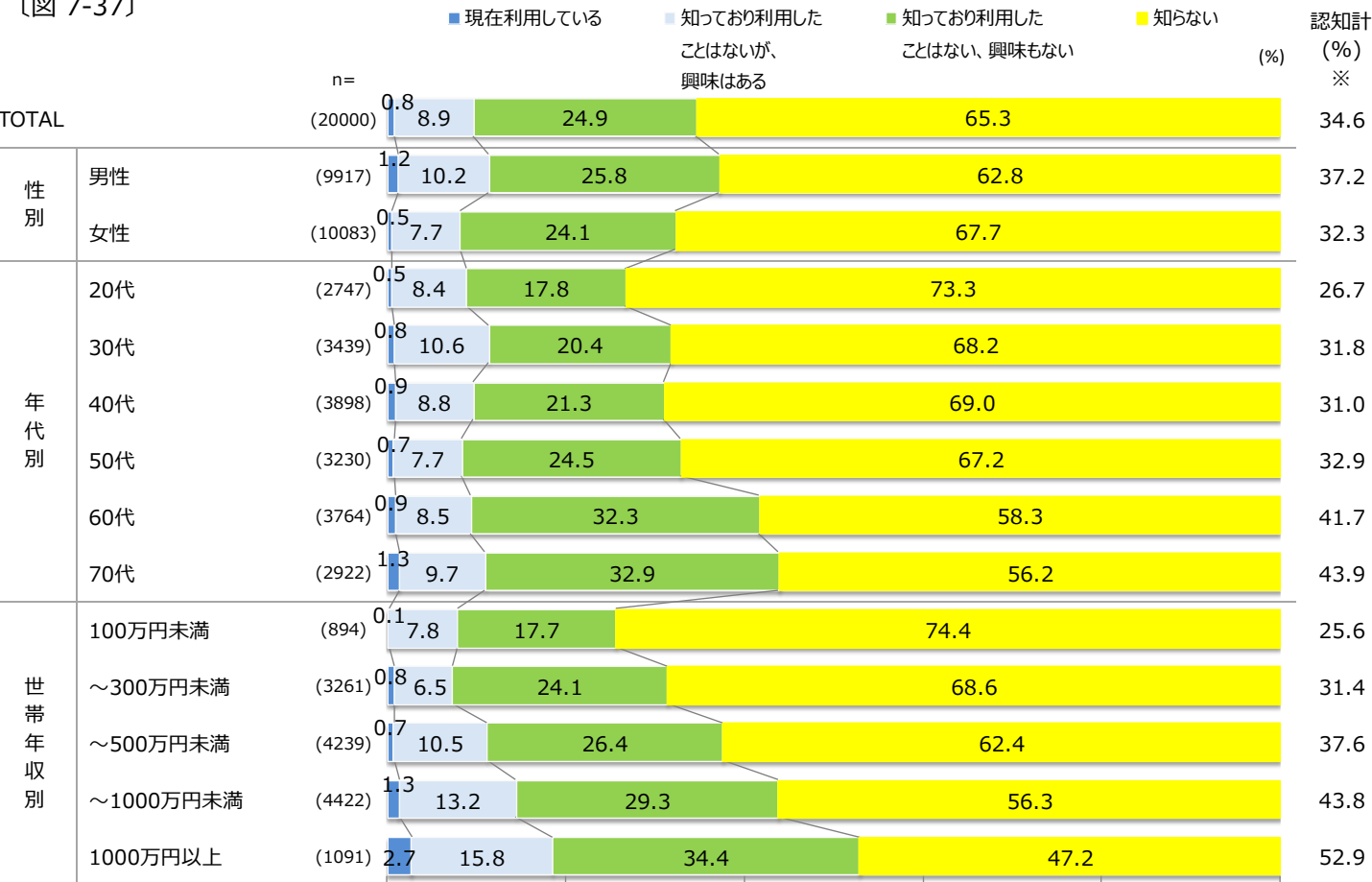
※認知計・・・「現在利用している」「知っており利用したことはないが、興味はある」「知っており利用したことはない、興味もない」の合計

7. 投資信託保有状況（現在保有層）

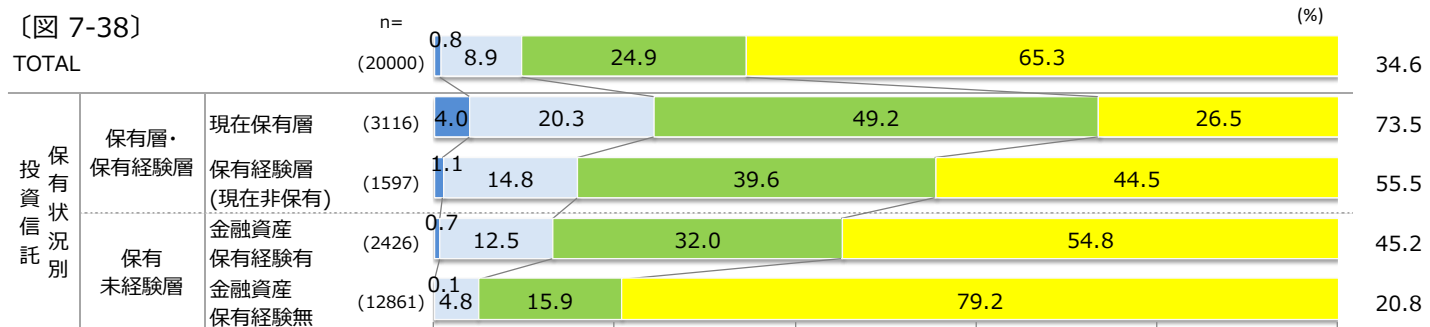
(11) ジュニアNISAの認知状況〔Q26:単数回答〕

- ジュニアNISAの認知率は34.6%。現在利用率は0.8%と1%に満たない状況。「知っており利用したことはないが、興味はある」は8.9%とNISA制度(17%)の半分程度となる。
- 年代が上がるにつれ、認知率は高くなる。一方で「知っており利用したことはないが、興味はある」は年代間で大きな差はみられない。〔図7-37〕

〔図 7-37〕



〔図 7-38〕



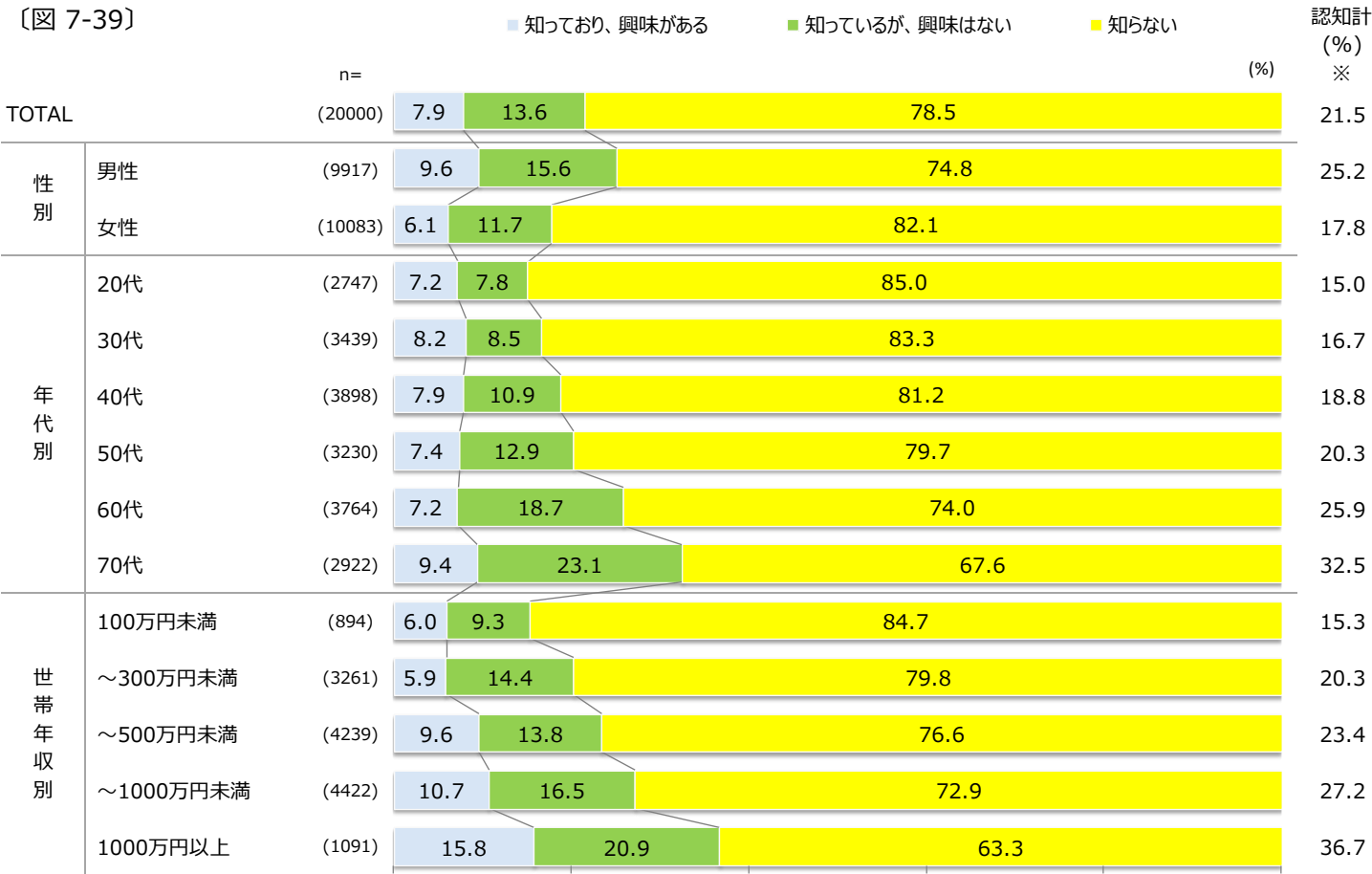
※認知計・・・「現在利用している」「知っており利用したことはないが、興味はある」「知っており利用したことはない、興味もない」の合計

7. 投資信託保有状況（現在保有層）

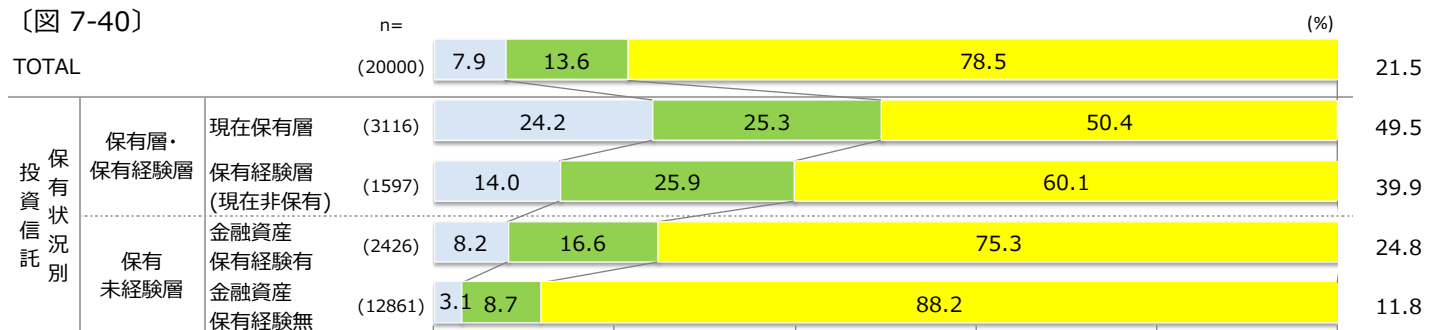
（12） つみたてNISAの認知状況〔Q26:単数回答〕

- つみたてNISAの認知率は21.5%。「知っており、興味がある」は7.9%となる。
- 年代、世帯年収が高くなるほど認知率は増加する。「知っており、興味がある」との反応は、年代別では70代(9.4%)で最も高くなる様子。世帯年収別では高年収層ほど高い。〔図7-39〕

〔図 7-39〕



〔図 7-40〕

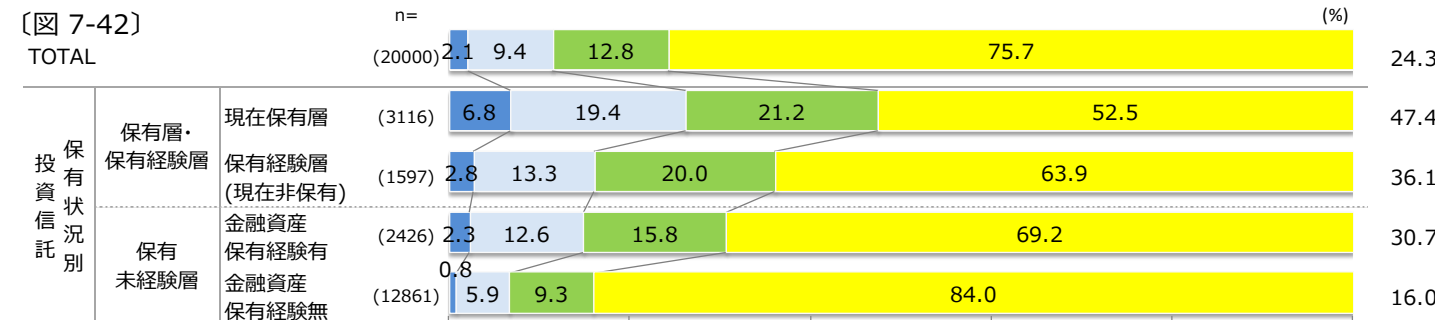
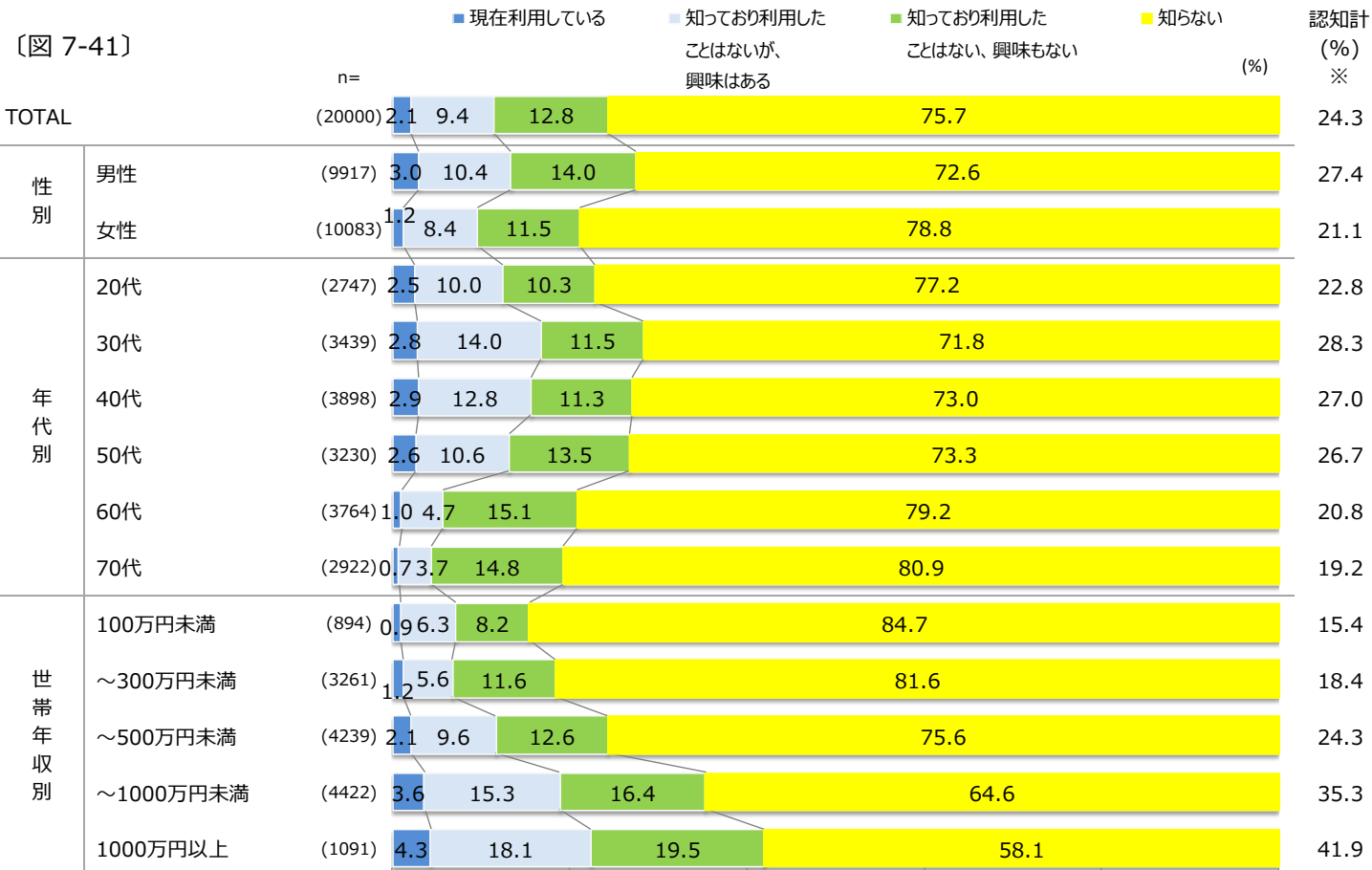


※認知計・・・「知っており、興味がある」「知っているが、興味はない」の合計

7. 投資信託保有状況（現在保有層）

(13) iDeCo(個人型確定拠出年金)の認知状況〔Q26:単数回答〕

- iDeCoの認知率は24.3%、現在利用率は2.1%。「知っており利用したことはないが、興味はある」は9.4%みられた。
- 年代別で見ると、認知率、「知っており利用したことはないが、興味はある」との反応共に、30代をピークに減少。世帯年収別では高年収層ほど、認知率、「知っており利用したことはないが、興味はある」との反応が高くなる。〔図7-41〕



※認知計・・・「現在利用している」「知っており利用したことはないが、興味はある」「知っており利用したことはない、興味もない」の合計

末尾添付資料：調査票



- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q1 あなたはこれまでに「現金・預貯金(円)以外の金融資産」を保有したことがありますか。

※「現金・預貯金(円)以外の金融資産」…外貨預金、株式、債券(国債・公社債など)、投資信託、FX、ETF、REITなど。
土地や不動産、保険は除きます。
(回答は1つ)

1 保有したことがある

2 保有したことはない

<Q2聴取対象：金融資産保有経験者(Q1=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q2 あなたはこれまでに投資信託を保有したことがありますか。

※「投資信託」とは、複数の投資家から出資されたお金を一つの資金としてまとめ、ファンドマネージャーなどの資金運用の専門家が、株式や債券、REITなどに投資し、その成果(利益)を投資家に還元する金融商品のことを指します。
(回答は1つ)

1 現在保有している

2 以前保有していたが、現在は保有していない

3 今まで保有したことがない

<Q3聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q3 現在あなたが保有している投資信託の本数は、全部で何本ですか。

※ 同じ商品でも、コースや型・為替ヘッジの有無などで複数保有している場合は、それぞれを1本としてお答えください。
(回答は1つ)

1 1~2本

2 3~5本

3 6~10本

4 11本以上

5 わからない・答えたくない

<Q4聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q4 あなたが直近で、新しく投資信託商品を購入した時期を教えてください。

※ 既に保有していた投資信託商品の買い増しではなく、これまで保有していなかった商品を新しく購入した時期についてお答えください。
(回答は1つ)

- 1** 1年未満
- 2** 1年以上～2年未満
- 3** 2年以上～5年未満
- 4** 5年以上前
- 5** わからない・答えたくない

<Q5聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q5 現在あなたが保有している投資信託の主な投資対象または種類につきましてお答えください。

(回答は1つでも)

- 1** 国内株式に投資する投資信託
- 2** 外国株式に投資する投資信託
- 3** 外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託
- 4** ETF
(株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの)
- 5** 不動産投信（J-REIT）
(不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの)
- 6** 不動産投信（J-REIT）に投資する投資信託
- 7** 外国の不動産投信に投資する投資信託
- 8** 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託
- 9** わからない・答えたくない

<Q6聴取対象：現在保有している投資信託の種類回答者(Q5=1~8のいずれか回答)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q6 現在あなたが保有している投資信託の、種類ごとの保有金額と、総合での保有金額を教えてください。

(回答は1つ)

	1 100万 円未満	2 100～ 300万 円未満	3 300～ 500万 円未満	4 500～ 800万 円未満	5 800～ 1,000 万円未 満	6 1,000 万円以 上	7 わから ない・ 答えた くない
1 国内株式に投資する投資信託	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 外国株式に投資する投資信託	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 外国債券(国債、ハイイールド債等)に投資する投資信託	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 ETF (株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 不動産投信(J-REIT) (不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 不動産投信(J-REIT)に投資する投資信託	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 外国の不動産投信に投資する投資信託	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 総合計 (保有している投資信託の金額の合計)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<Q7聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q7 あなたは、投資信託を購入した際どのような点を重視しましたか。また今後、投資信託を購入する場合に重視する点はどれでしょうか。それぞれ重視度の高い項目を、最大で3つまでお答えください。

(回答は3つまで)

	1 過去の 運用実 績	2 安全 性の 高さ	3 値上 がり への 期待	4 換金 のし やす さ	5 分配 頻度 の多 さ	6 過去 の分 配金 額	7 手続 料や 運用 管理 費用 (信託 報酬) の水 準	8 純資 産額 の大 きさ	9 評価 会社 による 評価	10 商品 内容 のわ かり やす さ	11 商品 コン セプト (投資 対象 運用 方針 など)	12 その他 具体的に:	13 特 に な い
1 投資信託を購入した際に重視した点	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 今後、投資信託を購入する場合に重視したい点	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q8 次にあげる投資信託の特徴の中で、あなたが知っているものを全てお答えください。

(回答は、いくつでも)

- 1 MRFは投資信託商品である
- 2 国内の投資信託と海外の投資信託がある
- 3 価格の変動があり、その他に外国に投資するものには為替リスクがある
- 4 リスクとリターンは相反する関係にある
- 5 元本の保証はない
- 6 銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる
- 7 投資信託は、信託銀行で分別保管されている
※ 分別保管とは、信託銀行が、自行と顧客の資産を分けて保管することです
- 8 投資信託は、運用会社が運用している
- 9 販売手数料とは別に運用管理費用（信託報酬）がかかる
- 10 投資信託の評価を行う会社がある
- 11 基準価額は新聞や投資信託協会のホームページでも見ることができる
- 12 NISA（少額投資非課税制度）やDC（確定拠出年金）で投資信託が購入できる
- 13 この中で知っているものはない

<Q9聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q9 次にあげる投資信託の「分配金」の特徴について、知っているものを全てお答えください。

(回答は、いくつでも)

- 1 分配金額は、預金の利率のようにあらかじめ決まっているものではなく、運用成績によって変動する
- 2 分配金は投資信託の決算ごとに支払われる
- 3 投資信託の運用成績が良くないときには、分配金が支払われない場合がある
- 4 分配金として元本の一部が払い戻されることもある
- 5 分配金が支払われた額だけ、基準価額（投資信託の価値）が下がる
- 6 この中で知っているものはない

<Q10聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q10 投資信託を売却したり、あるいは償還によって得たお金は、何に使いましたか。あてはまるものを全てお答えください。

(回答は、いくつでも)

<input type="checkbox"/>	1 株式、債券を購入した
<input type="checkbox"/>	2 他の投資信託を購入した
<input type="checkbox"/>	3 預貯金にまわした
<input type="checkbox"/>	4 生活資金にまわした
<input type="checkbox"/>	5 不動産などの購入にあてた
<input type="checkbox"/>	6 その他 具体的に： <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	7 売却したことはない、償還によってお金を得たことはない

<Q11聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q11 あなたは、他の金融商品と比較した場合、どのような面で投資信託が優れていると考えますか。あてはまるものを全てお答えください。また、そのうち特に魅力を感じている点を一つあげてください。

※「他の金融商品」とは、投資信託を除いた株式、債券、FXを指します。**預貯金や不動産は含みません。**

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	少額でも分散投資ができる	少額でも投資の面白味がある	専門知識がなくても投資ができる(専門家が運用してくれる)	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	比較的高利回りが期待できる	積立投資ができる	分配金が自動的に再投資される商品がある	定期的に分金が受け取れる	購入後の運用に関する情報が多い	購入手続きが簡単である	海外投資が手軽にできる	手数料が比較的安い	13 その他	14 わからない/持っていない
1 他の金融商品と比べて投資信託が優れている点(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 その中で特に魅力を感じている点(回答は1つ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<Q12聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1~2)>

Q12 では、他の金融商品と比較した場合、投資信託で不満を感じるのどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	1 元本保証がない	2 仕組みや運用実績がわかりにくい	3 専門知識がないと商品を選びにくい	4 リターン(収益)が低い	5 分配金が少ない	6 株式に比べて面白さ欠ける	7 公社債に比べてリスクが高い	8 購入後の運用に関する情報が少ない	9 手続きがわずらわしい	10 手数料が比較的高い	11 種類が多く選択に迷う	12 クローズド期間(換金・解約できない期間)がある	13 近くに取扱いしている証券会社・銀行などの店舗が少ない	14 その他	15 わからない・特にない
1 他の金融商品と比べて投資信託に不満を感じる点 (回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 その中で特に不満を感じている点 (回答は1つ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

Q13

投資信託は、商品の設定・運用を行う運用会社から委託を受けて、証券会社や銀行などが販売を行っています。投資信託の運用会社について、あなたのお考えに近いものをいくつでもお答えください。

※ 運用会社が直接販売を行っている場合もあります。
 ※ 今までで投資信託を購入したことが無い方は、想定でお答えください。
 (回答はいくつでも)

- 1** 販売会社の系列の運用会社が安心だと思う
- 2** 販売会社の系列とは別の運用会社を選びたい
- 3** 外資系の運用会社に興味がある
- 4** 独立系の運用会社に興味がある ※ 上記（販売会社の系列及び外資系）以外の運用会社
- 5** 運用会社よりも商品内容（投資信託）を重視したい
- 6** 高い運用成績をあげていればどこでも良い
- 7** わからない・特にない

Q14 投資信託を購入する場合、あなたは運用会社のどのような点を重視しますか。

※ 今までに投資信託を購入したことが無い方は、想定でお答えください。
(回答は1つでも)

- 1 運用力
- 2 運用哲学
- 3 知名度
- 4 資本金
- 5 運用体制
- 6 グループ力
- 7 商品開発力
- 8 アフターサービス
- 9 その他
- 10 わからない・特になし

<Q15聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q15 現在あなたは、投資信託の積立投資を利用していますか。

(回答は1つ)

- 1 利用している
- 2 利用していない

Q16 投資信託の買い付け方法の1つとして、ドル・コスト平均法がありますが、どのような内容か知っていますか。

(回答は1つでも)

- 1 投資に伴うリスクを軽減する方法の一つであること
- 2 一定金額で同一の商品を買い付けていく方法であること
- 3 基準価額が高い時には購入口数が少なく、低い時には多くなり、結果として平均買付価額が割安になること
- 4 長い時間をかけて資産形成をしたい人に向いている投資方法であること
- 5 財形貯蓄や確定拠出年金で活用できること
- 6 その他に知っている内容
- 7 ドル・コスト平均法の内容は知らないが、名前は聞いたことがある
- 8 ドル・コスト平均法があることを知らない

<Q17聴取対象：「ドル・コスト平均法」の内容認知者(Q16=1~5)>

Q17 ドル・コスト平均法の効果が得られる投資信託の積立投資プランについて、知っている内容はどのようなことですか。

(回答は1~5つでも)

- 1** 少額から利用できること
- 2** 自動引き落としが利用でき、そのつど申し込む必要がないこと
- 3** ドル・コスト平均法の効果が得られること
- 4** リスクを軽減するための「時間の分散」が図れること
- 5** その他に知っている内容
- 6** 積立投資プランがあることを知らない

<Q18聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

Q18 現在あなたは、毎月分配型の投資信託(1ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する運用方針のもの)を保有していますか。

(回答は1つ)

- 1** 保有している
- 2** 保有していない
- 3** わからない・答えたくない

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q19 あなたは、毎月分配型の投資信託(1ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する運用方針のもの)に魅力を感じますか。

(回答は1つ)

- 1** 魅力を感じる
- 2** やや魅力を感じる
- 3** どちらともいえない
- 4** あまり魅力を感じない
- 5** 魅力を感じない

<Q20聴取対象：毎月分配型投資信託に魅力を感じる層(Q19=1~2)>

Q20 毎月分配型の投資信託に魅力を感じる理由はなんですか。

(回答は、いくつでも)

- 1** 毎月利益を確定したいので
- 2** 分配金を受け取ることで安心できるので
- 3** 元本の一部払戻しの分配金であっても、年金収入を補完する上で活用できると思うので
- 4** 毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった
- 5** その他 具体的に：

<Q21聴取対象：毎月分配型投資信託に魅力を感じていない層(Q19=3~5)>

Q21 毎月分配型の投資信託に魅力を感じない理由はなんですか。

(回答は、いくつでも)

- 1** 分配金は必要ではないので
- 2** 長期投資に合わないので
- 3** 複利効果が得られないので
- 4** 投資額を勘案すると得られる分配金が少ないので
- 5** 分配金の額だけ基準価額が下がるので
- 6** その他 具体的に：

<Q22聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

Q22

2014年12月から、保有している投資信託の投資期間全体の損益(トータルリターン)を書面などで通知する制度がスタートしていますが、あなたはこの制度を知っていますか。

(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない

Q23

次にあげる投資信託の手数料に関する項目の中で、あなたが知っているものを全てお答えください。

(回答は1つでも)

- 1 購入する際に支払う手数料は、証券会社や銀行などの販売会社に支払う費用である
- 2 同じ投資信託でも販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある
- 3 投資信託を保有している期間中は運用管理費用(信託報酬)がかかる
- 4 運用管理費用は投資信託財産から支払われている
- 5 運用管理費用は投資信託の運用を行う運用会社、分配金の支払い業務や交付運用報告書等を発送する販売会社、資産の保管・管理を行う受託銀行の三者に支払われている
- 6 運用管理費用の料率や額は、交付目論見書や交付運用報告書に記載されている
- 7 投資信託を購入または解約の際に、信託財産留保額が徴収されることがある
- 8 信託財産留保額は販売会社や運用会社が受け取るのではなく、信託財産に留保される
- 9 色々な手数料があり、内容がよくわからない/この中で知っているものはない

<Q24聴取対象：投資信託保有未経験者 (Q2=3,Q1=2)>

Q24 あなたが投資信託を購入したことがない理由は何ですか。あてはまるものを全てお答えください。

(回答はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1 投資信託の存在を知らなかったため	<input type="checkbox"/> 12 魅力的な商品がないため
<input type="checkbox"/> 2 投資の知識がないため	<input type="checkbox"/> 13 希望する投資信託を取扱っている金融機関が近くにないため
<input type="checkbox"/> 3 投資信託の仕組みがよくわからないため	<input type="checkbox"/> 14 商品の種類が多く自分では選択できないため
<input type="checkbox"/> 4 元本保証がないため	<input type="checkbox"/> 15 自分に合った投資信託を検討する時間的な余裕がないため
<input type="checkbox"/> 5 株式と同様に値上がり・値下がりが多いため	<input type="checkbox"/> 16 販売員の説明や勧誘の仕方が満足できるものではなかったため
<input type="checkbox"/> 6 値動きに気をとられるのが嫌なため	<input type="checkbox"/> 17 どこで売っているのかわからないため
<input type="checkbox"/> 7 損をしそうで怖い	<input type="checkbox"/> 18 購入するのに手間がかかるため
<input type="checkbox"/> 8 富裕層が実施するもののため	<input type="checkbox"/> 19 既に十分な資産があり、投資は必要ないため
<input type="checkbox"/> 9 まとまった資金がないため	<input type="checkbox"/> 20 なんとなく機会がなかったため
<input type="checkbox"/> 10 少額では購入しづらい	<input type="checkbox"/> 21 そもそも興味がないため
<input type="checkbox"/> 11 手数料など費用が高い	<input type="checkbox"/> 22 その他 具体的に： <input type="text"/>

<Q25聴取対象：投資信託保有未経験者 (Q2=3,Q1=2)>

Q25 あなたが、投資信託の購入を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

(回答はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1 身近な人（家族・友人など）に勧められたら
<input type="checkbox"/> 2 金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらったら
<input type="checkbox"/> 3 初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら
<input type="checkbox"/> 4 金融や投資を勉強して理解できた
<input type="checkbox"/> 5 貯蓄が一定額に達したら
<input type="checkbox"/> 6 手取り収入が増えたら
<input type="checkbox"/> 7 退職金・相続などでの臨時収入があったら
<input type="checkbox"/> 8 低リスクの投資信託商品が充実してきたら
<input type="checkbox"/> 9 手数料の低い投資信託商品が充実してきたら
<input type="checkbox"/> 10 経済が上向きになり、値上がりが期待できる様になったら
<input type="checkbox"/> 11 税制上の優遇措置が、より拡充してきたら
<input type="checkbox"/> 12 その他 具体的に： <input type="text"/>

添付資料：調査票

■投資制度について伺います。

Q26 あなたは、以下の投資制度を知っていますか。また利用したいと思いますか。

(回答は1つ)

	1 現在 利用 して いる	2 知っ てお り利 用し たこ とは ない が、 興味 はあ る	3 知っ てお り利 用し たこ とは ない 、興 味も ない	4 知ら ない	5 知っ てお り、 興 味が ある	6 知っ てい る が、 興味 はな い	7 知ら ない
1 NISA(ニーサ:少額投資非課税制度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA(未成年者少額非課税制度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 つみたてNISA(2018年1月1日から始まる新しい少額投資非課税制度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■投資制度について伺います。

Q27 あなたはiDeCo(イデコ:個人型確定拠出年金)を知っていますか。また、利用したいと思いますか。

(回答は1つ)

- 1 現在利用している
- 2 知っており利用したことはないが、興味はある
- 3 知っており利用したことはない、興味もない
- 4 知らない

Q28 あなたの性別を教えてください。

(回答は1つ)

- 1 男性
- 2 女性

添付資料：調査票

Q29 あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

才

Q30 あなたの職業をお知らせください。

(回答は1つ)

- 1 会社員・非営利団体職員
- 2 会社役員・経営者
- 3 派遣・契約社員
- 4 公務員
- 5 自由業（医師・弁護士など）
- 6 農林漁業
- 7 自営業（農林漁業を除く）
- 8 パート・アルバイト・フリーター
- 9 専業主婦／主夫
- 10 大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生
- 11 無職、定年退職
- 12 その他の職業

Q31 あなたの世帯年収と、個人年収をお知らせください。

(回答は1つ)

	1 100万円未満	2 100～300万円未満	3 300～500万円未満	4 500～800万円未満	5 800～1,000万円未満	6 1,000～1,500万円未満	7 1,500万円以上	8 わからない・答えたくない
1 あなたの世帯年収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 あなたの個人年収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>